

御殿場市新たな観光振興財源検討に伴う
アンケート調査
結果報告書

令和 8 年 7 月
御殿場市
企画戦略部 観光交流課

目 次

第1章 調査の概要	1
第2章 宿泊者及び観光客へのインターネット調査	2
1. 調査概要	2
(1) 調査対象	2
(2) 回答方法	2
(3) 実施時期	2
(4) 有効回収数	2
(5) 主な調査項目	2
2. 調査結果	3
(1) 基本情報	3
(2) 本市への宿泊・観光について	5
(3) 宿泊税について	12
第3章 宿泊者への調査	40
1. 調査の概要	40
(1) 調査対象	40
(2) 回答方法	40
(3) 実施時期	40
(4) 有効回収数	40
(5) 主な調査項目	40
2. 調査結果	41
(1) 基本情報	41
(2) 本市への宿泊・観光について	43
(3) 宿泊税について	50
第4章 宿泊施設への調査	67
1. 調査の概要	67
(1) 調査対象	67
(2) 回答方法	67
(3) 実施時期	67
(4) 有効回収数／有効回収率	67
(5) 主な調査項目	67
2. 集計結果	68
(1) 宿泊事業に関する基本情報について	68
(2) 宿泊税制度に関するご意向について	72
(3) 宿泊税制度に伴う準備や対応について	96
(4) 宿泊税制度に関するご意見について	108
(5) その他のご意見について	111
第5章 調査結果の概要	113

1. 調査の目的	113
2. 調査方法・調査対象・回収数	113
3. 実施期間	113
第6章 調査結果の整理と制度設計の方向性	114
1. インターネット調査	114
2. 宿泊者調査	121
3. 宿泊事業者調査	128
第7章 まとめ	137
1. 宿泊事業者の意見	137
2. 宿泊者が支払っても良いと思える上限額	137
3. 宿泊事業者が考える妥当な金額／宿泊客数に影響すると考える金額	137
4. 宿泊者層	137
5. 宿泊料金帯	137
6. 宿泊税の使途	138
参考資料：使用調査票	139
1. 宿泊者及び観光客への調査	139
2. 宿泊施設への調査	141

第1章 調査の概要

(1) 調査の目的

本市の新たな観光振興財源検討の基礎資料とするため、市内の宿泊施設、宿泊者及び観光客（ともにインバウンドを含む）に対して、「御殿場市新たな観光振興財源検討に伴うアンケート調査」を実施する。

(2) 調査方法・調査対象・回収数

①宿泊者及び観光客へのインターネット調査

調査対象：本市に3年以内に宿泊または観光で訪れたことがある人

回収数：1,000件（うちインバウンド：100件）

②宿泊者への調査（聞き取り調査）

調査対象：市内の宿泊施設7施設*に宿泊した人

回収数：650件（うちインバウンド：165件）

③宿泊施設への調査（郵送配布、インターネット・郵送併用回収）

調査対象：宿泊施設 98施設

回収数：56件

回収率：57.1%

*：ホテル時之栖、ホテルルートイン新御殿場インター、マースガーデンウッド御殿場、ホテルクラッド、レンブラントプレミアム富士御殿場、東横INN御殿場駅前、国際青少年センターYMCA東山荘

(3) 実施期間

①国内旅行者：令和8年6月22日～令和8年6月23日

インバウンド：令和8年6月23日～令和8年6月25日

②令和8年6月18日～令和8年7月10日

③令和8年6月17日～令和8年7月5日

第2章 宿泊者及び観光客へのインターネット調査

1. 調査概要

(1) 調査対象

本市に3年以内に宿泊または観光で訪れたことがある人

(2) 回答方法

WEBモニター

(3) 実施時期

国内旅行者：令和8年6月22日～令和8年6月23日

インバウンド：令和8年6月23日～令和8年6月25日

(4) 有効回収数

1,000件（うちインバウンド100件）

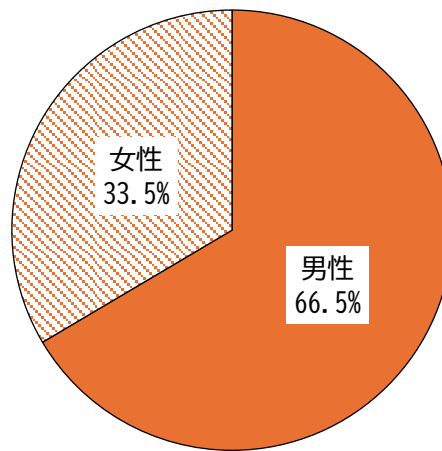
(5) 主な調査項目

- ・基本情報
- ・本市への宿泊・観光について
- ・宿泊税について

2. 調査結果

(1) 基本情報

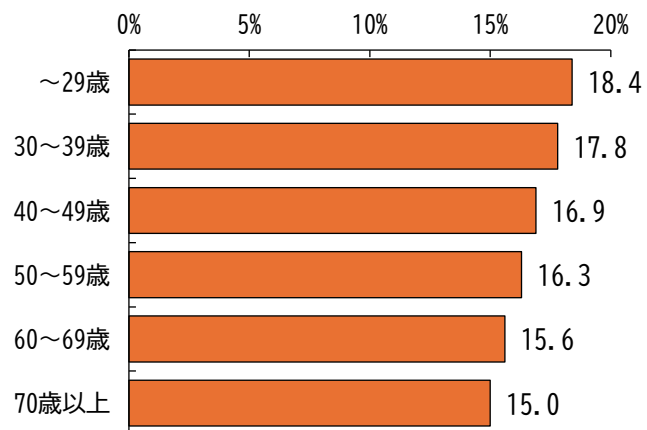
Q 1 性別を教えてください。



(n=1,000)

性別は、「男性」66.5%、「女性」33.5%となっている。

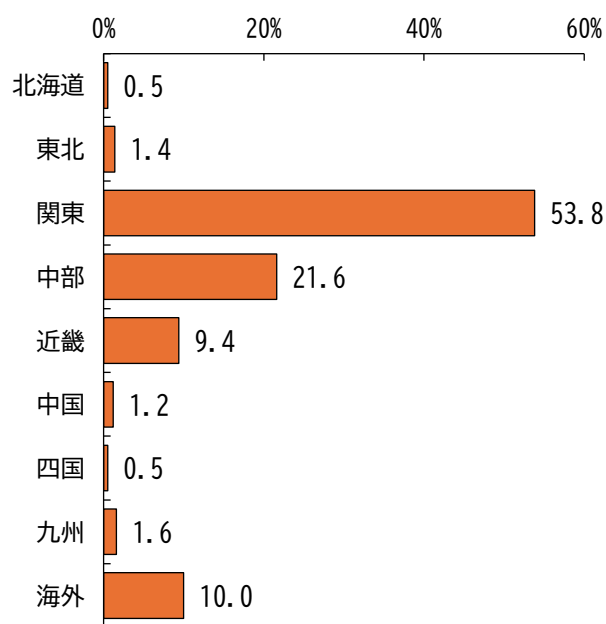
Q 2 年代を教えてください。



(n=1,000)

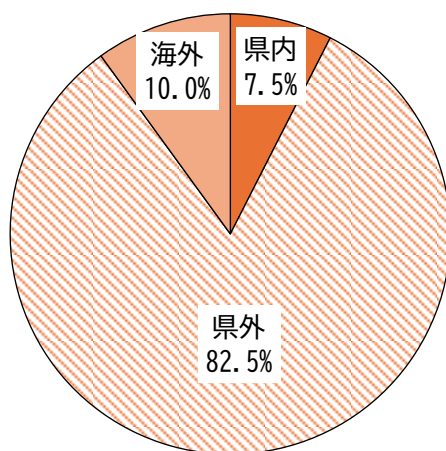
年代は、「～29歳」が18.4%と最も高く、次いで「30～39歳」17.8%、「40～49歳」16.9%と続いている。

Q 3 お住まいの市区町村（インバウンドの方の場合は国籍）を教えてください。



(n=1,000)

居住地は、「関東」が53.8%と最も高く、次いで「中部」21.6%、「海外」10.0%と続いている。

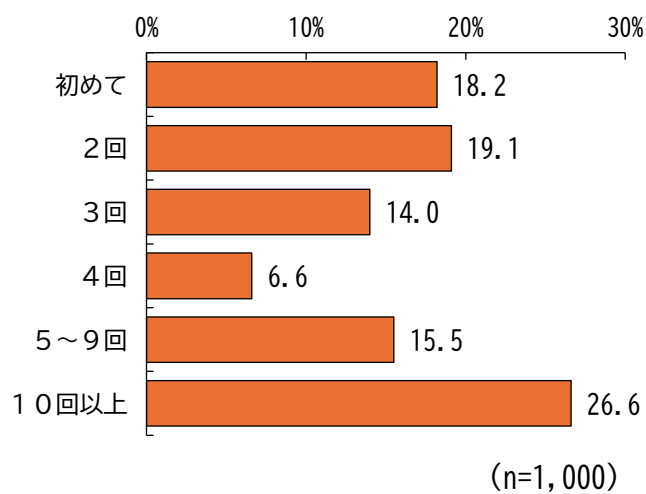


(n=1,000)

大別してみると、「県外」が82.5%と最も高く、次いで「海外」10.0%、「県内」7.5%となっている。

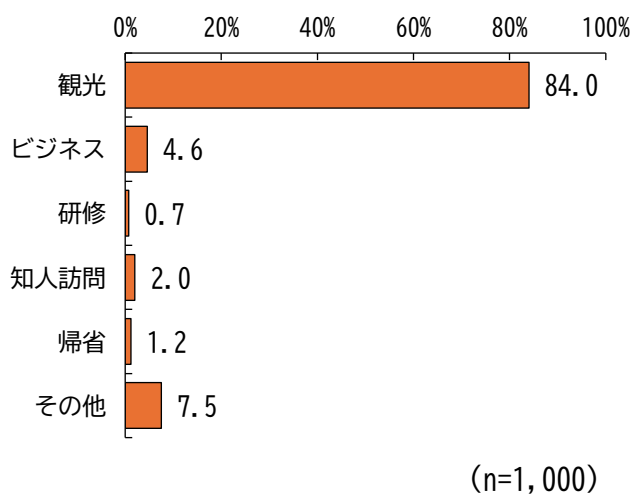
(2) 本市への宿泊・観光について

Q 4 本市への来訪回数を教えてください。



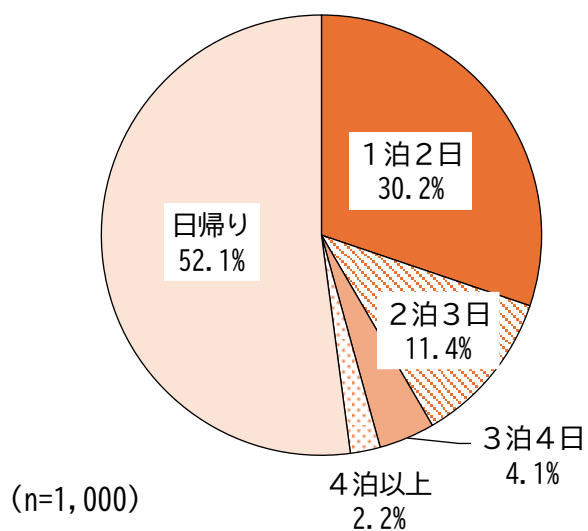
本市への来訪回数は、「10回以上」が26.6%と最も高く、次いで「2回」19.1%、「初めて」18.2%と続いている。

Q 5 本市での滞在目的を教えてください。



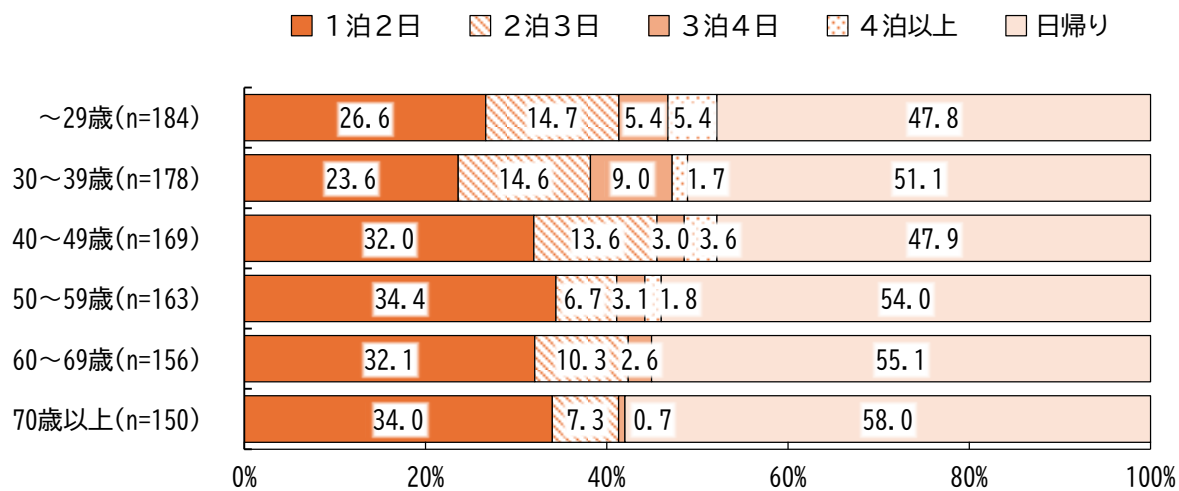
本市での滞在目的は、「観光」が84.0%と最も高く、次いで「ビジネス」4.6%、「知人訪問」2.0%と続いている。

Q 6 本市での滞在日数を教えてください。



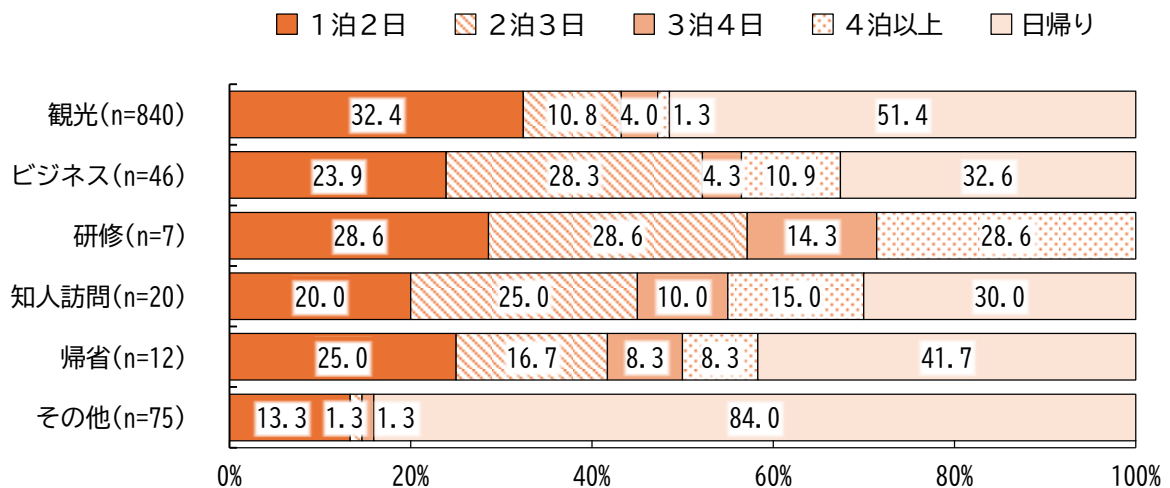
本市での滞在日数は、「日帰り」が52.1%と最も高く、次いで「1泊2日」30.2%、「2泊3日」11.4%と続いている。

【年代別】



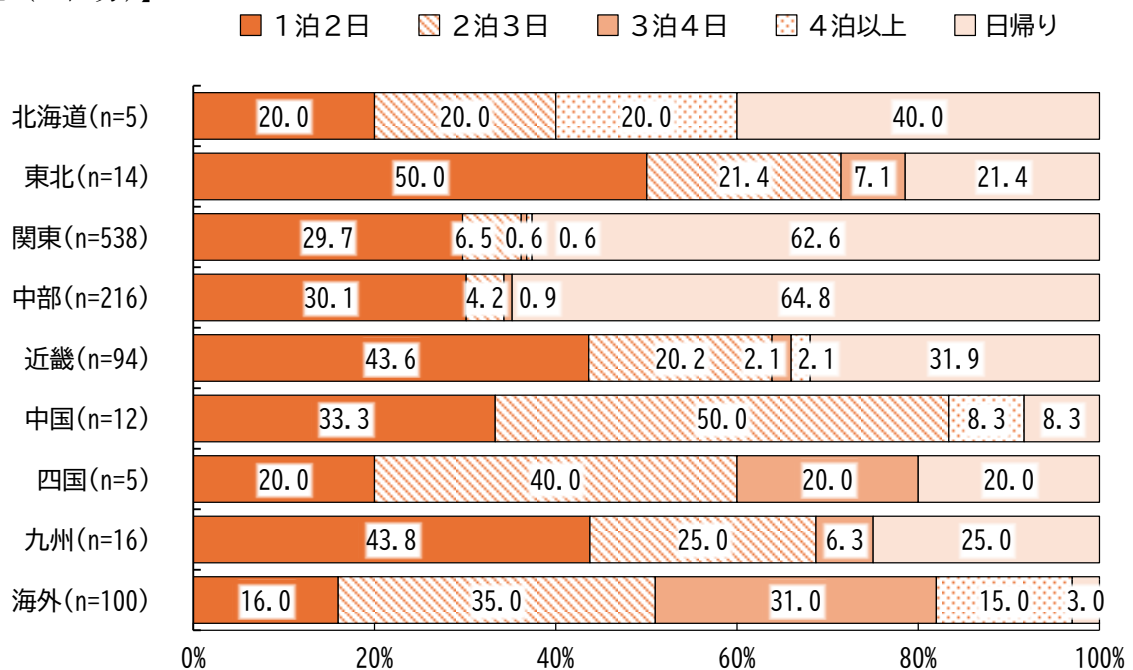
年代別でみると、年代があがるほど「日帰り」が高くなる傾向にある。

【滞在目的別】



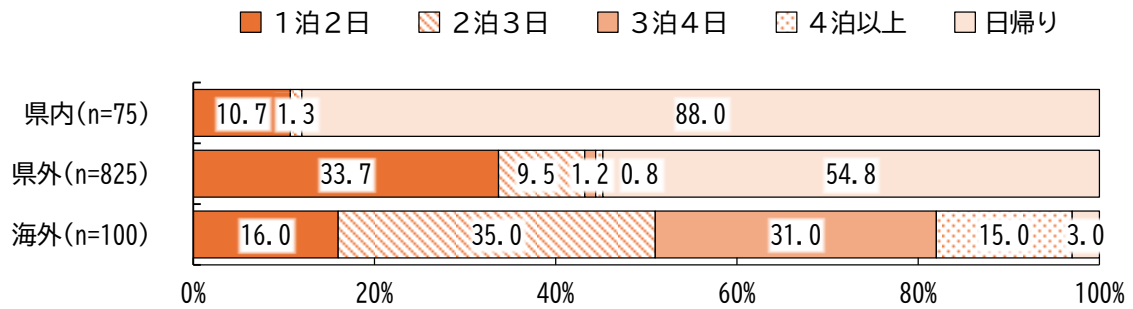
滞在目的別でみると、観光の人は「日帰り」、ビジネスの人は「2泊3日」がほかの目的と比べて高くなっている。

【居住地（9区分）】



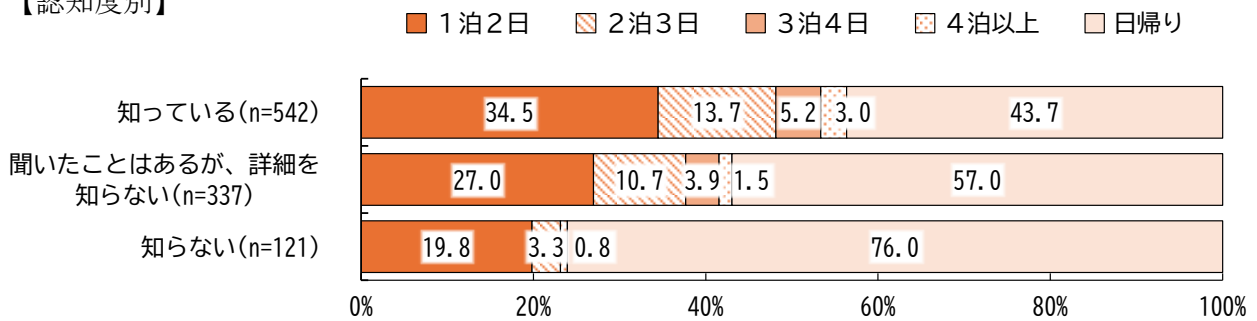
居住地方別でみると、関東・中部は「日帰り」、近畿は「1泊2日」、海外は『2泊以上』がほかの地方と比べて高く、距離が離れるほど滞在日数も長くなる傾向にある。

【居住地（3区分）】



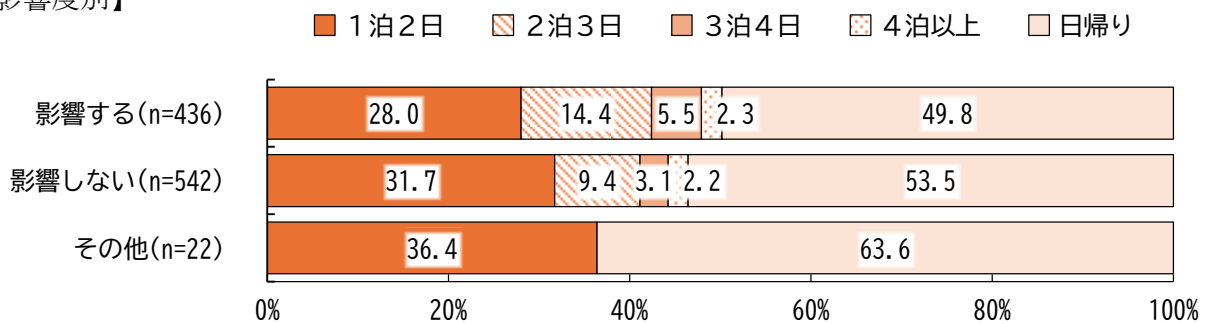
居住地別でみると、県内は「日帰り」、県外は「1泊2日」が高くなっている。

【認知度別】



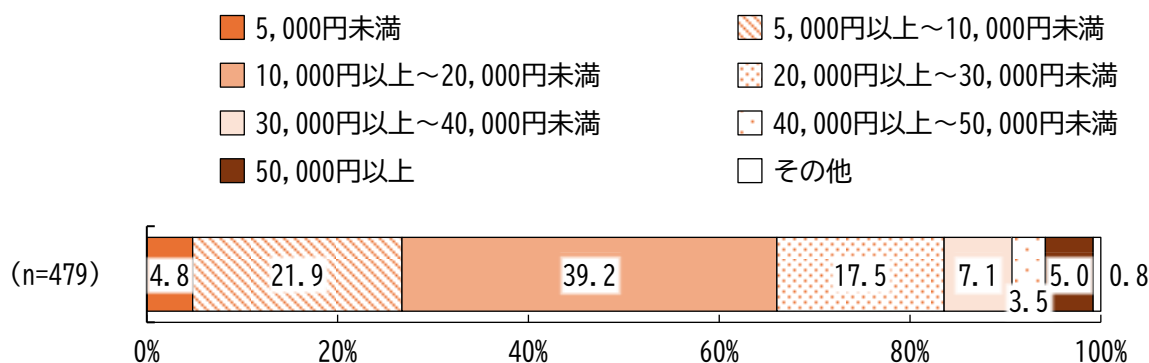
認知度別でみると、認知度が高いほど滞在日数も長い傾向にある。

【影響度別】



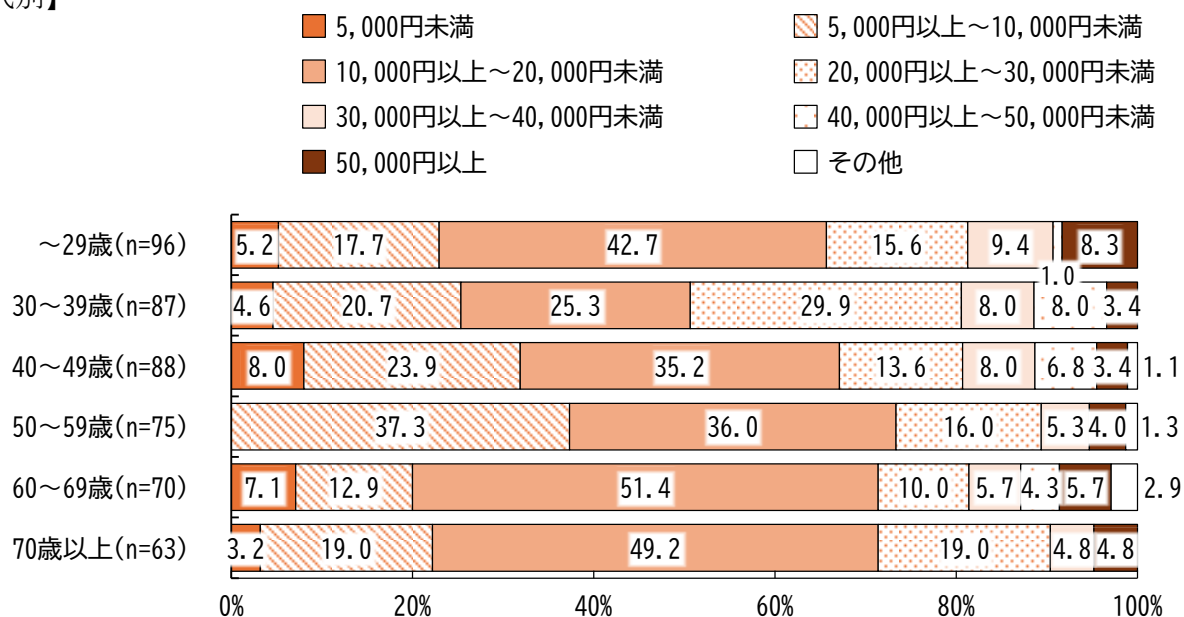
影響度別でみると、影響する人はしない人よりも滞在日数が長い傾向にある。

Q 7 本市での1人1泊あたりの宿泊費を教えてください。



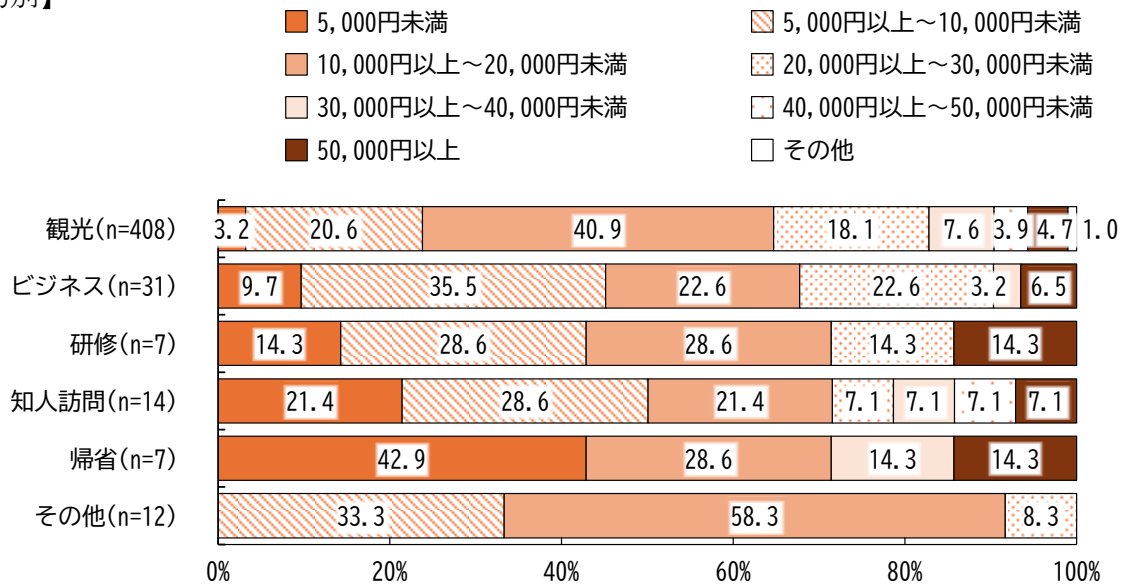
本市での宿泊費は、「10,000円以上～20,000円未満」39.2%が最も高く、次いで「5,000円以上～10,000円未満」21.9%、「20,000円以上～30,000円未満」17.5%と続いている。

【年代別】



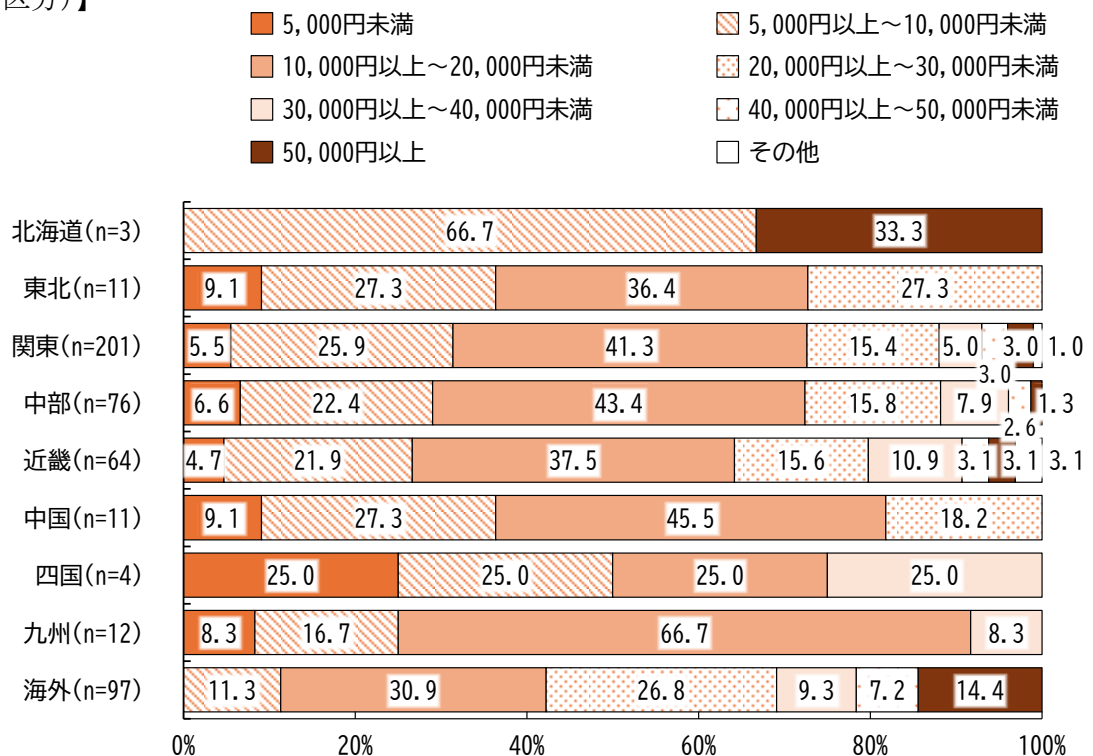
年代別でみると、30～39歳は「20,000円以上～30,000円未満」、50～59歳は「5,000円以上～10,000円未満」がほかの年代と比べて高くなっている。

【滞在目的別】



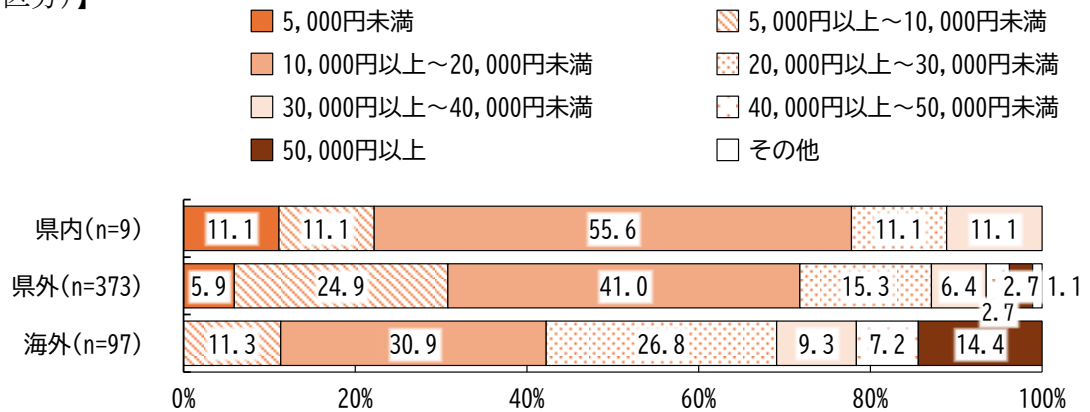
滞在目的別でみると、観光は「10,000円以上～20,000円未満」、ビジネスは「5,000円以上～10,000円未満」が高くなっている。

【居住地（9区分）】



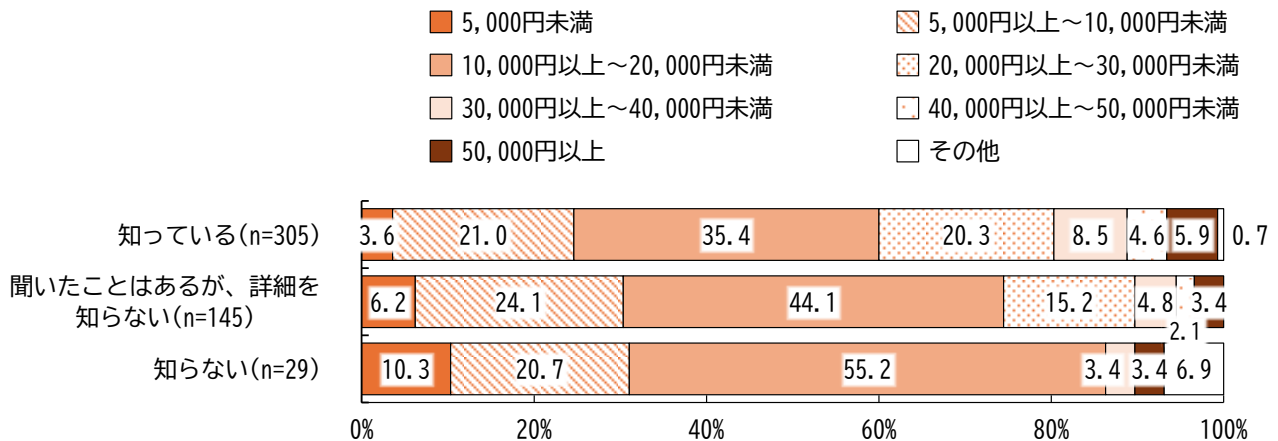
居住地方別でみると、距離が離れるほど宿泊費も高くなる傾向にある。

【居住地（3区分）】



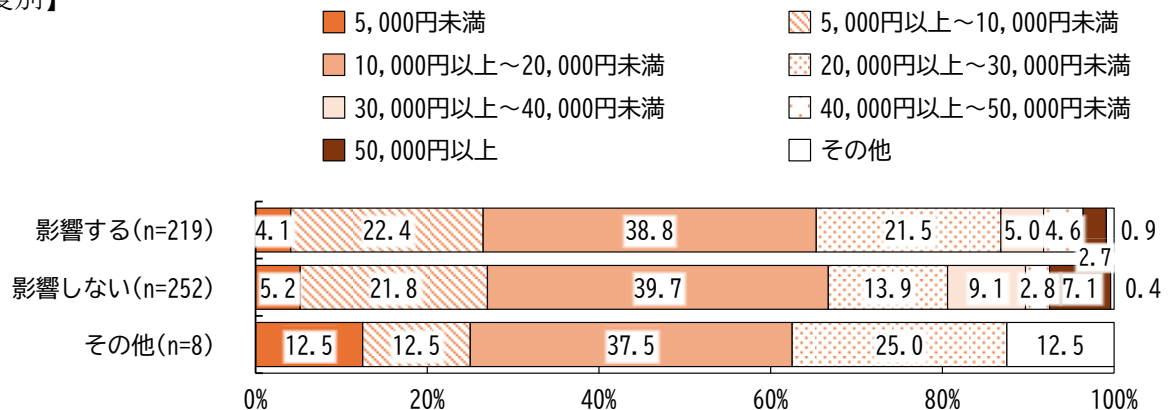
居住地別でみると、海外は「50,000円以上」が高くなっている。

【認知度別】



認知度別でみると、認知度が高いほど宿泊費も高くなる傾向にある。

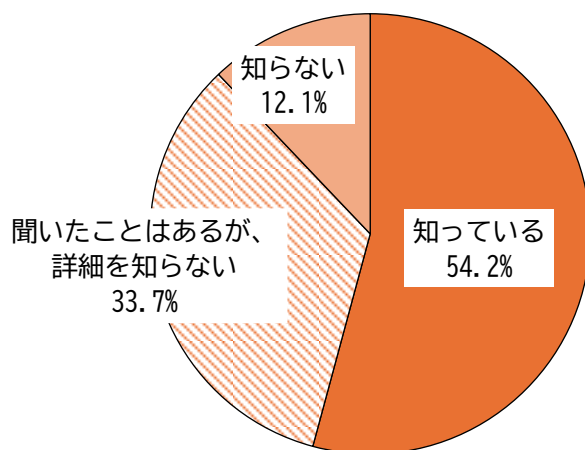
【影響度別】



影響度別でみると、影響するは「20,000円以上～30,000円未満」が影響しないと比べて高くなっている。

(3) 宿泊税について

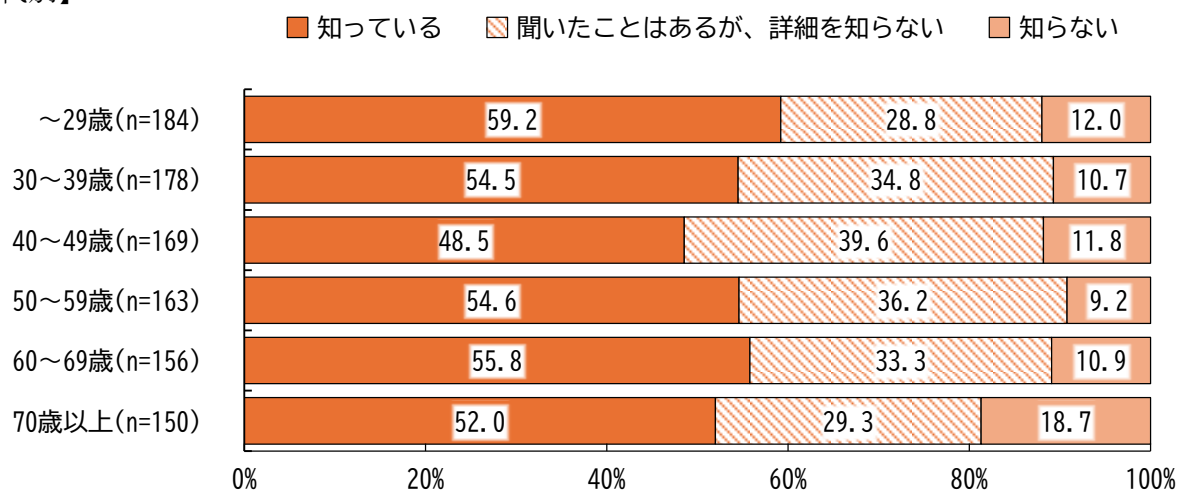
Q 8 宿泊税について知っていますか。



(n=1,000)

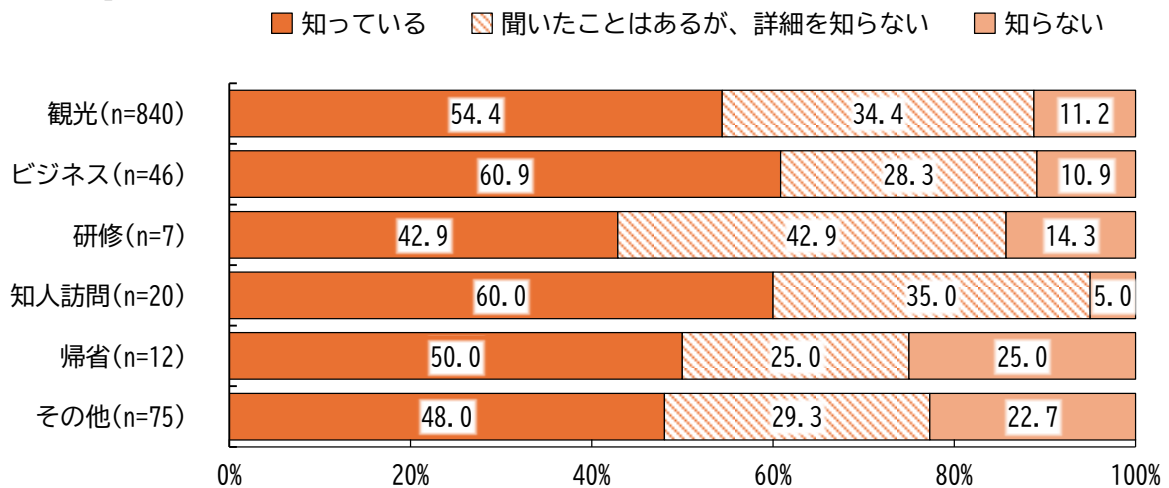
宿泊税の認知度は、「知っている」が54.2%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、詳細を知らない」33.7%、「知らない」12.1%となっている。

【年代別】



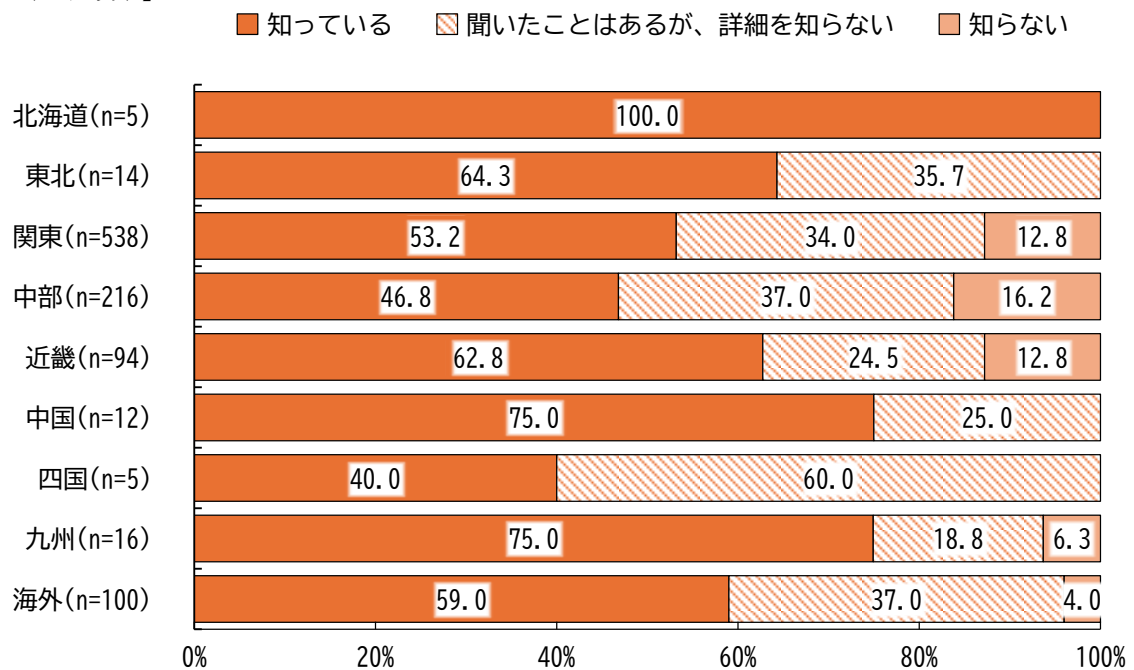
年代別でみると、70歳以上で「知らない」が高くなっている。

【滞在目的別】



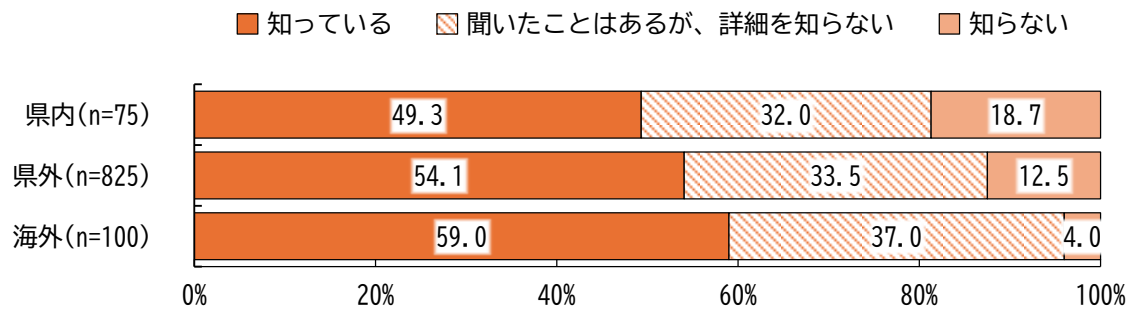
滞在目的別でみると、観光は「知っている」がほかの目的と比べて低くなっている。

【居住地（9区分）】



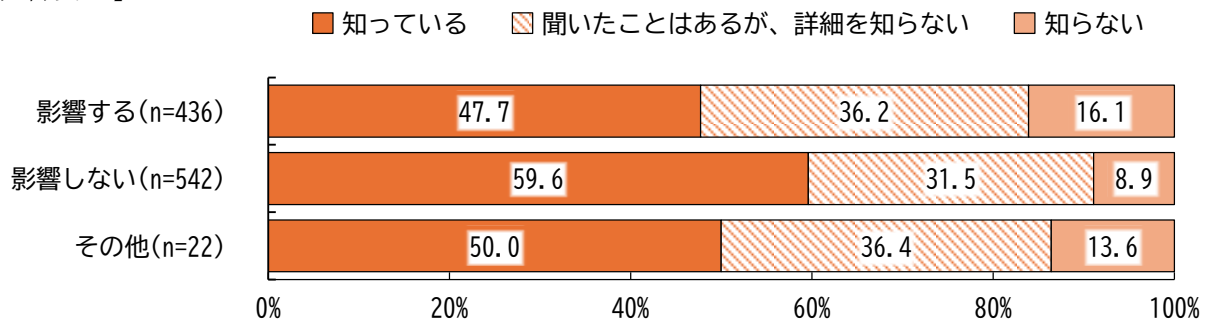
居住地方別でみると、中部は「知っている」がほかの地方と比べて低くなっている。

【居住地（3区分）】



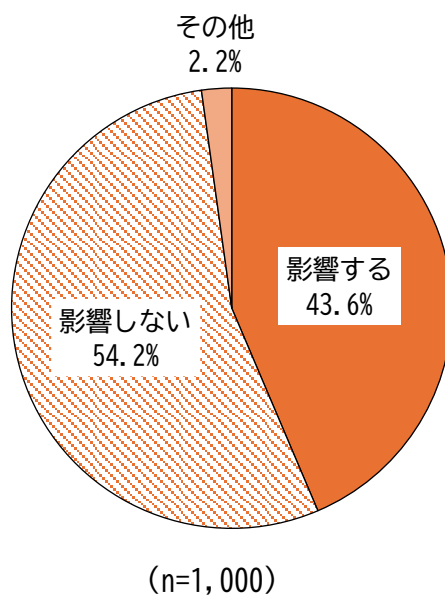
居住地別でみると、県外は「知っている」が県内と比べて高くなっている。

【影響度別】



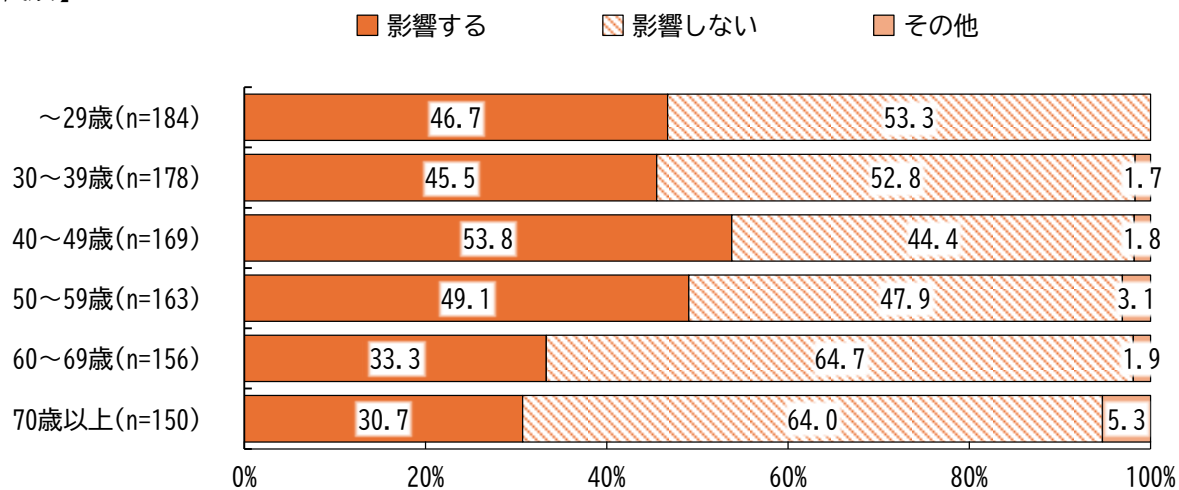
影響度別でみると、影響しないは「知っている」が影響すると比べて高くなっている。

Q 9 宿泊税が導入された場合、宿泊先の選定に影響しますか。



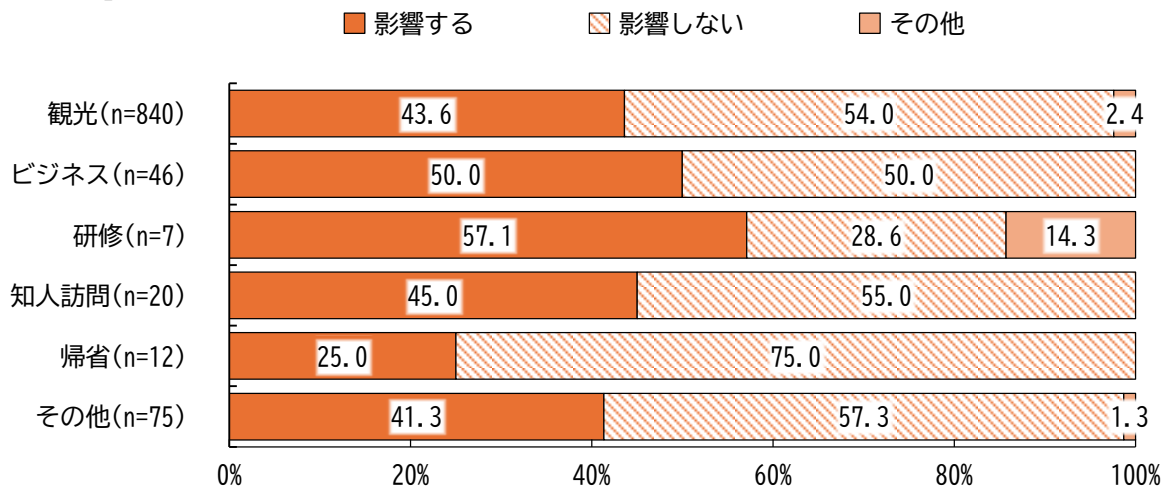
宿泊税の宿泊先選定への影響度は、「影響しない」が54.2%と最も高く、次いで「影響する」43.6%、「その他」2.2%となっている。

【年代別】



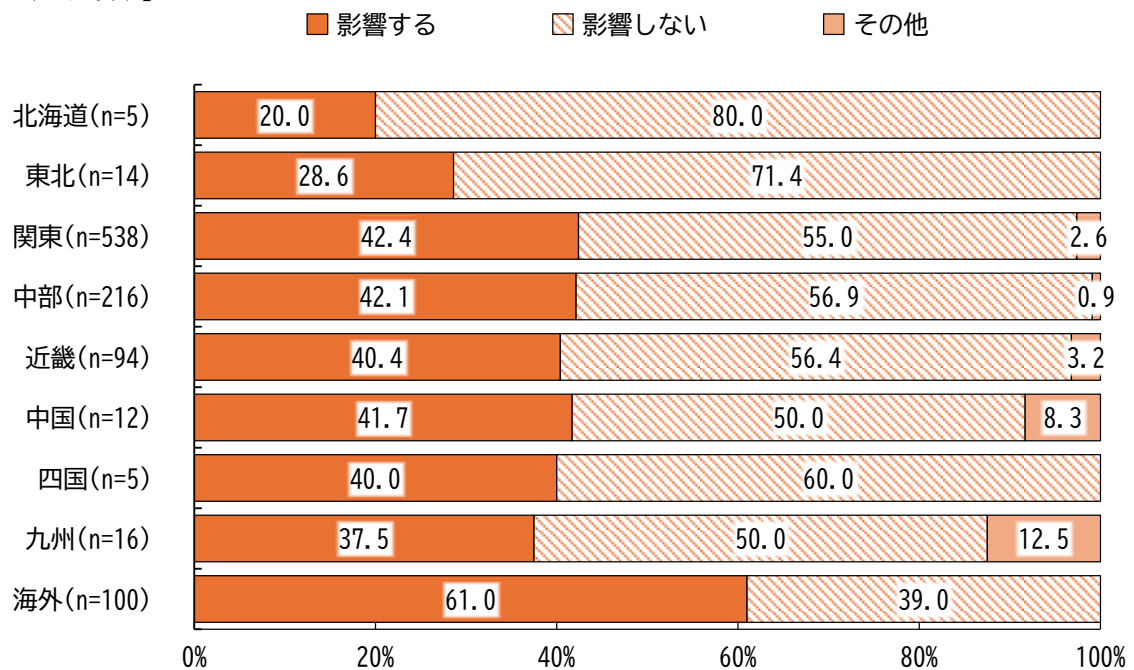
年代別でみると、40～49歳・50～59歳は「影響する」が「影響しない」よりも高くなっている。

【滞在目的別】



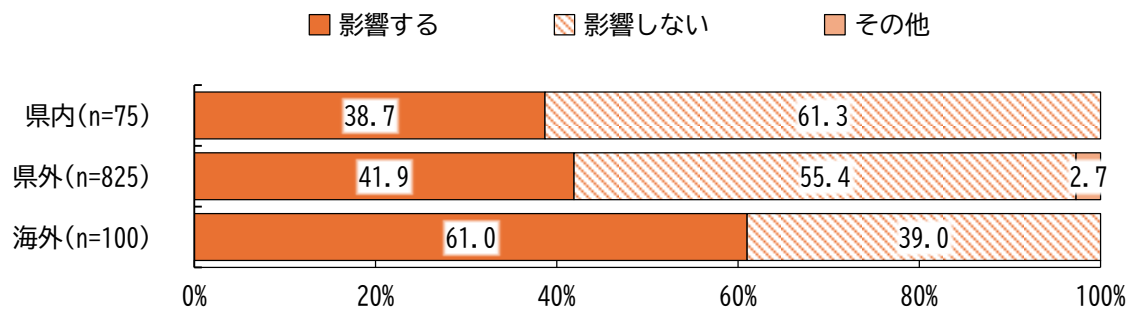
滞在目的別でみると、ビジネスは「影響する」が高くなっている。

【居住地（9区分）】



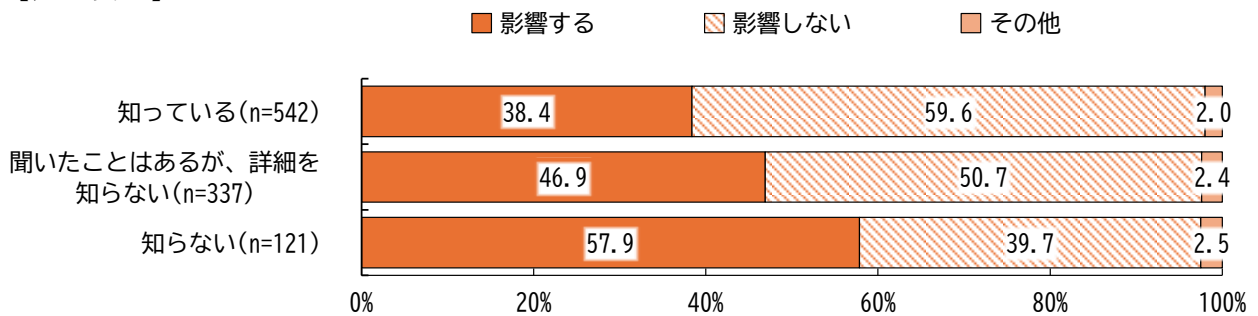
居住地方別でみると、海外は「影響する」が高くなっている。

【居住地（3区分）】



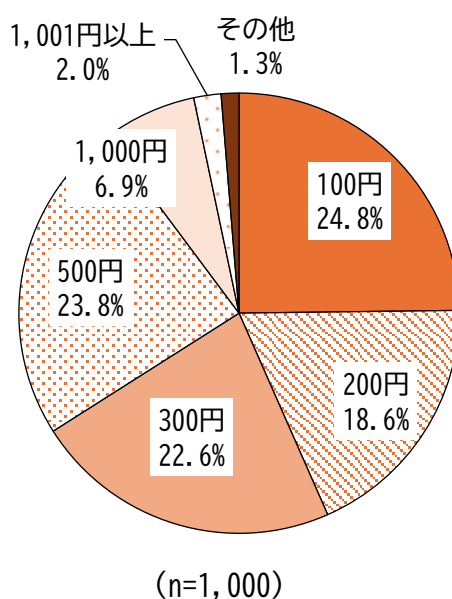
居住地別でみると、県内は「影響しない」が県外よりも高くなっている。

【認知度別】



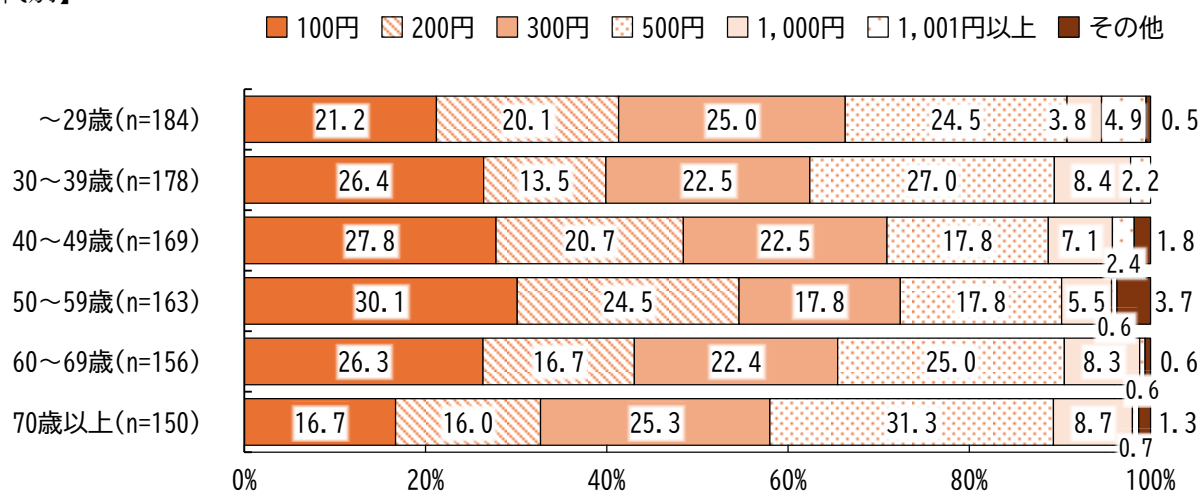
認知度別でみると、認知度が高くなるほど「影響しない」が高くなっている。

Q10 支払っても良いと思える1泊あたりの宿泊税の上限額を教えてください。



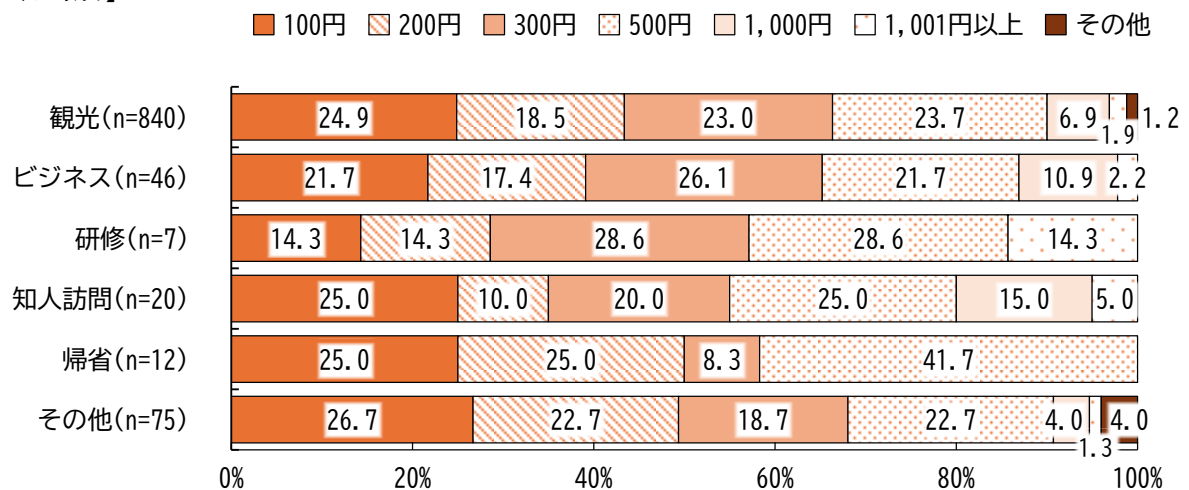
支払っても良い1泊あたりの宿泊税は、「100 円」が24.8%と最も高く、次いで「500 円」23.8%、「300 円」22.6%と続いている。

【年代別】



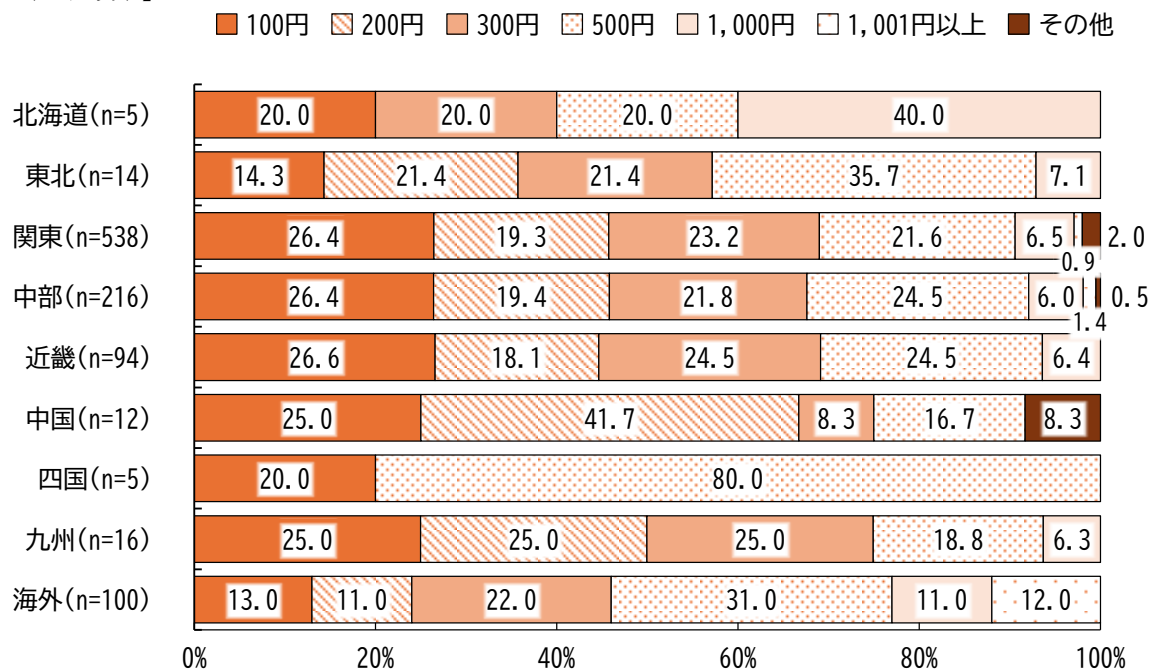
年代別でみると、50～59歳は「100円」、70歳以上は「500円」が高くなっている。

【滞在目的別】



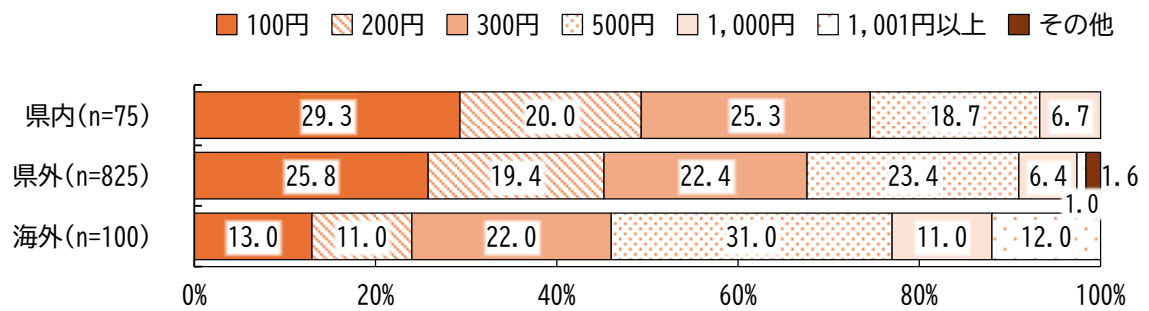
滞在目的別でみると、ビジネスは「300円」が高くなっている。

【居住地（9区分）】



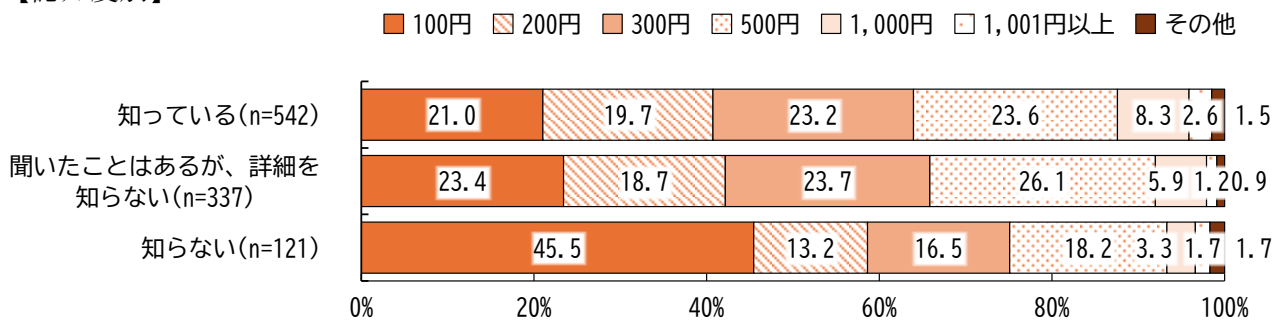
居住地方別でみると、海外は『500円以上』が高くなっている。

【居住地（3区分）】



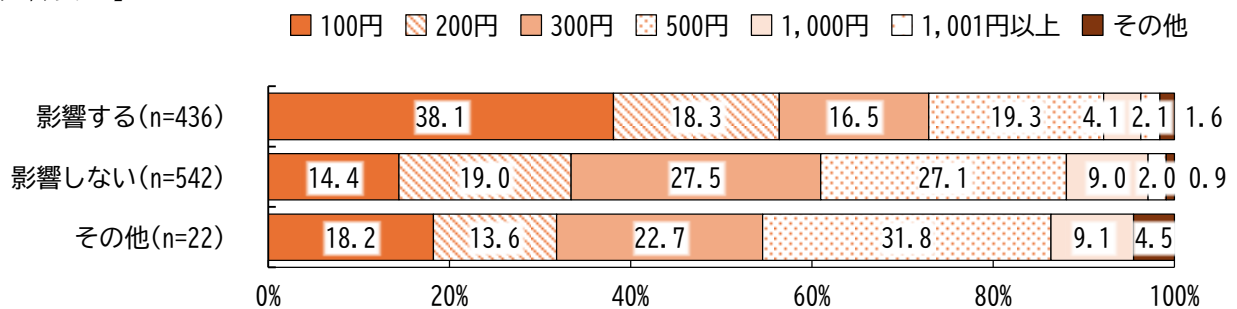
居住地別でみると、県外は「500円」が県内と比べて高くなっている。

【認知度別】



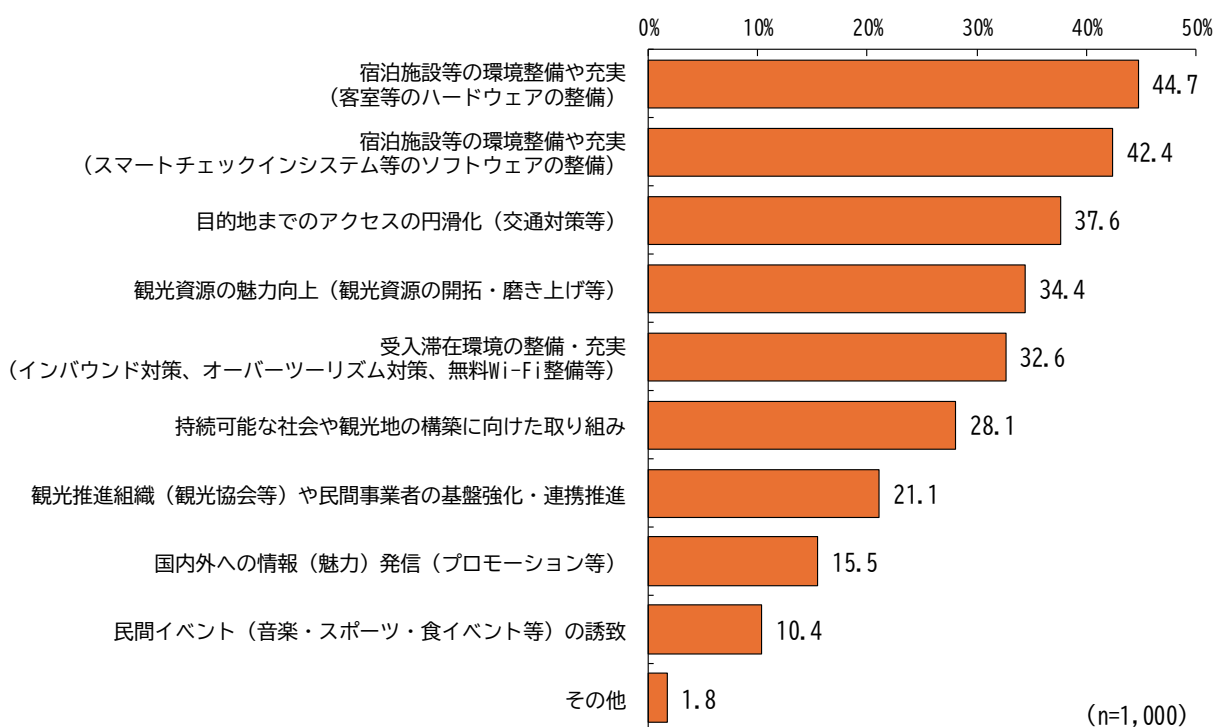
認知度別でみると、知らないは「100円」が高くなっている。

【影響度別】



影響度別でみると、影響するは「100円」が高くなっている。

Q11 宿泊税の使い道として望ましいものを選んでください。



宿泊税の望ましい使い道は、「宿泊施設等の環境整備や充実（客室等のハードウェアの整備）」が44.7%と最も高く、次いで「宿泊施設等の環境整備や充実（スマートチェックインシステム等のソフトウェアの整備）」42.4%、「目的地までのアクセスの円滑化（交通対策等）」37.6%と続いている。

【年代別】

	調査数 (n)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	宿泊施設等の環境整備や充実 (スマートチェックインシステム 等のソフトウェアの整備)	目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)	観光資源の魅力向上（観光資源の 開拓・磨き上げ等）	受入滞在環境の整備・充実 (インバウンド対策、無料Wi-Fi 整備等)	持続可能な社会や観光地の構築に 向けた取り組み	観光推進組織（観光協会等）や 民間事業者の基盤強化・連携推進	国内外への情報（魅力）発信 (プロモーション等)	民間イベント（音楽・スポーツ・ 食イベント等）の誘致	その他
～29歳	184	48.4	57.1	39.1	35.3	29.3	29.9	22.3	25.5	15.2	0.5
30～39歳	178	43.8	46.1	33.7	33.1	29.2	24.2	20.8	20.2	11.2	0.6
40～49歳	169	45.0	40.8	36.1	33.1	27.2	22.5	23.7	17.2	11.2	1.2
50～59歳	163	44.2	34.4	43.6	35.0	36.8	30.1	17.2	7.4	7.4	4.3
60～69歳	156	40.4	32.7	36.5	32.7	37.8	27.6	16.0	10.3	6.4	2.6
70歳以上	150	46.0	40.7	36.7	37.3	36.7	35.3	26.7	10.0	10.0	2.0

年代別でみると、～29歳は「宿泊施設等の環境整備や充実（スマートチェックインシステム等のソフトウェアの整備）」がほかの年代と比べて高くなっている。

【滞在目的別】

【滞在目的別】

	調査数 (n)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)		宿泊施設等の環境整備や充実 (スマートチェックインシステム 等のソフトウェアの整備)		目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)		観光資源の魅力向上(観光資源の 開拓・磨き上げ等)		受入滞在環境の整備・充実 (インバウンド対策、オーバー ツーリズム対策、無料Wi-Fi 整備等)		持続可能な社会や観光地の構築に 向けた取り組み		観光推進組織(観光協会等)や 民間事業者の基盤強化・連携推進		国内外への情報(魅力)発信 (プロモーション等)		民間イベント(音楽・スポーツ・ 食イベント等)の誘致		その他	
観光	840		44.5		43.2		38.5		35.4		32.0		28.5		20.5		15.4		10.2		1.4
ビジネス	46		58.7		41.3		34.8		28.3		34.8		19.6		30.4		17.4		15.2		2.2
研修	7		42.9		28.6		28.6		42.9		28.6		42.9		57.1		28.6		14.3		-
知人訪問	20		50.0		45.0		55.0		35.0		40.0		20.0		25.0		25.0		5.0		-
帰省	12		50.0		50.0		33.3		25.0		16.7		16.7		16.7		33.3		25.0		-
その他	75		36.0		33.3		26.7		28.0		38.7		32.0		18.7		9.3		8.0		6.7

滞在目的別でみると、ビジネスは「宿泊施設等の環境整備や充実（客室等のハードウェアの整備）」、知人訪問は「目的地までのアクセスの円滑化（交通対策等）」が高くなっている。

【居住地（9区分）】

	調査数 （n）	宿泊施設等の環境整備や充実 （客室等のハードウェアの整備）	宿泊施設等の環境整備や充実 （スマートチェックインシステム 等のソフトウェアの整備）	目的地までのアクセスの円滑化 （交通対策等）	観光資源の魅力向上（観光資源の 開拓・磨き上げ等）	受入滞在環境の整備・充実 （インバウンド対策、オーバー ツーリズム対策、無料Wi-Fi 整備等）	持続可能な社会や観光地の構築に 向けた取り組み	観光推進組織（観光協会等）や 民間事業者の基盤強化・連携推進	国内外への情報（魅力）発信 （プロモーション等）	民間イベント（音楽・スポーツ・ 食イベント等）の誘致	その他
北海道	5	60.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-	-	-
東北	14	35.7	35.7	35.7	50.0	42.9	28.6	35.7	28.6	7.1	-
関東	538	43.5	39.8	38.5	33.1	31.4	27.9	19.5	12.8	9.7	2.0
中部	216	40.7	42.6	36.1	31.5	25.5	26.9	17.6	12.0	10.2	1.9
近畿	94	42.6	45.7	38.3	27.7	26.6	25.5	14.9	12.8	4.3	1.1
中国	12	33.3	50.0	25.0	25.0	33.3	8.3	25.0	8.3	-	8.3
四国	5	20.0	40.0	20.0	40.0	40.0	-	-	20.0	-	-
九州	16	56.3	56.3	18.8	18.8	37.5	18.8	18.8	31.3	6.3	6.3
海外	100	63.0	52.0	42.0	56.0	58.0	39.0	42.0	37.0	24.0	-

居住地方別でみると、海外は全体的に回答率が高くなっている。

【居住地（3区分）】

	調査数 (n)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	宿泊施設等の環境整備や充実 (スマートチェックインシステム 等のソフトウェアの整備)	目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)	観光資源の魅力向上(観光資源の 開拓・磨き上げ等)	受入滞在環境の整備・充実 (インバウンド対策、オーバー ツーリズム対策、無料Wi-Fi 整備等)	持続可能な社会や観光地の構築に 向けた取り組み	観光推進組織(観光協会等)や 民間事業者の基盤強化・連携推進	国内外への情報(魅力)発信 (プロモーション等)	民間イベント(音楽・スポーツ・ 食イベント等)の誘致	その他
県内	75	37.3	42.7	37.3	34.7	22.7	32.0	20.0	18.7	13.3	2.7
県外	825	43.2	41.2	37.1	31.8	30.4	26.4	18.7	12.6	8.5	1.9
海外	100	63.0	52.0	42.0	56.0	58.0	39.0	42.0	37.0	24.0	-

居住地別でみると、県内は「持続可能な社会や観光地の構築に向けた取り組み」「国内外への情報（魅力）発信（プロモーション等）」、県外は「宿泊施設等の環境整備や充実（客室等のハードウェアの整備）」「受入滞在環境の整備・充実（インバウンド対策、オーバーツーリズム対策、無料Wi-Fi整備等）」がそれぞれ高くなっている。

【認知度別】

	調査数 (n)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	宿泊施設等の環境整備や充実 (スマートチェックインシステム 等のソフトウェアの整備)	目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)	観光資源の魅力向上(観光資源の 開拓・磨き上げ等)	受入滞在環境の整備・充実 (インバウンド対策、オーバー ツーリズム対策、無料Wi-Fi 整備等)	持続可能な社会や観光地の構築に 向けた取り組み	観光推進組織(観光協会等)や 民間事業者の基盤強化・連携推進	国内外への情報(魅力)発信 (プロモーション等)	民間イベント(音楽・スポーツ・ 食イベント等)の誘致	その他
知っている	542	50.0	44.5	36.5	36.7	36.2	32.7	25.8	17.9	11.1	2.4
聞いたことはあるが、 詳細を知らない	337	42.1	40.7	39.5	34.4	30.6	23.7	16.6	14.2	9.2	0.9
知らない	121	28.1	38.0	37.2	24.0	22.3	19.8	12.4	8.3	10.7	1.7

認知度別でみると、「目的地までのアクセスの円滑化（交通対策等）」「民間イベント（音楽・スポーツ・食イベント等）の誘致」を除いたすべての項目で認知度が高くなるほど割合も高くなっている。

【影響度別】

	調査数 (n)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	宿泊施設等の環境整備や充実 (スマートチェックインシステム 等のソフトウェアの整備)	目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)	観光資源の魅力向上(観光資源の 開拓・磨き上げ等)	受入滞在環境の整備・充実 (インバウンド対策、オーバー ツーリズム対策、無料Wi-Fi 整備等)	持続可能な社会や観光地の構築に 向けた取り組み	観光推進組織(観光協会等)や 民間事業者の基盤強化・連携推進	国内外への情報(魅力)発信 (プロモーション等)	民間イベント(音楽・スポーツ・ 食イベント等)の誘致	その他
影響する	436	43.1	45.6	35.8	32.3	30.5	25.9	19.7	17.9	9.2	2.3
影響しない	542	46.5	40.8	38.7	35.2	33.2	28.2	21.8	14.0	11.4	0.9
その他	22	31.8	18.2	45.5	54.5	59.1	68.2	31.8	4.5	9.1	13.6

影響度別でみると、影響するは「宿泊施設等の環境整備や充実（スマートチェックインシステム等のソフトウェアの整備）」、影響しないは「宿泊施設等の環境整備や充実（客室等のハードウェアの整備）」が高くなっている。

Q12 宿泊税に関するご意見等があれば、ご記入ください。

・国内旅行者

滞在目的	宿泊税に関するご意見
観光	キャンプするから無関係。
観光	出来れば払いたくない。
観光	あまり希望しない。
観光	使用目的による。
観光	とくに無いですが、御殿場にそこまでの魅力は感じない。
観光	むやみに設けないでほしい。
観光	日本国民は税率を低くしてほしい。
観光	外国人には高く二重価格で良い。
観光	導入してもいいが使い道を明確化してほしい。
観光	払うことに特に抵抗はないが、領収書の清算が面倒。
観光	外国人と日本人と二重価格にすべき。
観光	観光投資として使われるならば賛成。
観光	なくても良いと思う。
観光	非居住者に限り適用とすべきです。
観光	外国人対策ならいいと思います。
観光	外国人から取るべき。
観光	まあ仕方ないものなら。
観光	何のための宿泊税なのか、使途目的を明確にしてから導入すべき。
観光	日本人には減額してほしい。
観光	宿泊金額に組み込めば納得しやすいのでは。
観光	取らないでほしい。
観光	公共の福祉、観光行政の充実化に役立てて欲しい。
観光	なくしてほしい。
観光	使い道用途を明確にする。
観光	インバウンドからのみ徴収すべき。
観光	昨今の物価に加えて宿泊税のような税金や増税が増えた場合、日本国民は旅行に行くのを控える人が多いと感じる。税金ばかり増えていくが給料は上がらないと言う悪循環はいつまで続くのだろうか国への不満が募るばかりだと感じる。
観光	観光資源が充実することを願っている。
観光	外国人観光客のみ対象にして欲しい。
観光	わからない。
観光	宿泊施設での体験がより良いものになるように活用してほしい。
観光	取れるところから取るのは変だと思う。

滞在目的	宿泊税に関するご意見
観光	導入している地域も多くなっていると思う。 人口の減少は税収入にも大きく影響するので、維持するためには仕方ないと思う。 反面、御殿場だけでなく周辺地域と連携して、観光客の導線を向上して欲しい。
観光	導入される自治体が増えているように感じる。 より良い環境整備に使ってほしい。
観光	より観光客にとって魅力的で洗練されたサービスの投資に使われるなら、支払っても良いと考える。
観光	日本人と外国人で分けてほしい。一律の価格ではなく宿泊費に対するパーセントが良い。
観光	温泉付きのホテルに限って税を掛けて欲しい。
観光	施設は宿泊税込みの宿泊代を載せてほしい。 1000円以上になったら行くのを躊躇うかもしれない。 宿泊代金に応じて宿泊税を変動にしてほしい。 一泊につきかかるなら、連泊の場合は割安にしてほしい。
観光	有効活用してもらいたい。
観光	できればない方がよい。
観光	現状で「宿泊税を徴収する」理由が分からないので、まだ賛同できない。
観光	海外の観光客から取るべきだと思います。 そこに住んでる人が観光客のせいで困らないように何か対策として使って欲しい。
観光	全宿泊費の1%以内が払ってもいい金額かな。
観光	ない方がいい。
観光	やめてほしい。
観光	できるだけ安いと嬉しいです。
観光	低額にしてほしい。
観光	税ではないのに「～税」というネーミングは違和感。
観光	その地域の観光資源や環境維持に使用され、その地域の良さが保たれることを期待。
観光	宿泊そのものの料金も上がっているのに、宿泊税が高いと足がのびなくなる。
観光	宿泊代の10%以上は高いと思うかも。
観光	地域によって税率をある程度変えてもいいと思う。
観光	取り組みとして理解できる。
観光	使い道を明確に公表すること。
観光	外国人に対するためだけでなく、日本人のために使うべき。
観光	その地域にちゃんと還元されていることの証明を確実に行ってほしい。
観光	役立ててほしい。
観光	宿泊料金と一緒に払いたい。別とかではなく。オンラインで決済しても、現地で宿泊税を別に払うとかは嫌だ。
観光	いらなくない。
観光	ないほうが良い。

滞在目的	宿泊税に関するご意見
観光	取るなら有効活用で。
観光	効果を感じる使い方ならよいですが、何に消えたか分からない(国の税金のように)なら払いたくありません。 温泉宿の入湯税も結構な総額になっていると思いますが、なぜ一律？地域によって金額差が殆ど無いのは不思議です。
観光	地域の観光客のために使用されるなら、特に異論はない。
観光	クラブ部活の大会の開催予定。
観光	収支の公開。
観光	無料にして欲しい。
観光	とるのであれば、見える化してほしい。
観光	いらない。
観光	なんで全てのことは税金に関わっていますか？
観光	高いと考えてしまうかもしれない。
観光	いらない。
観光	できれば無い方がいいけど、アピールできるなら少しなら払っても良い。
観光	取るのはしょうがないかも。
観光	入湯税とセットで、割引しないと税金ばかり取るというイメージ。
観光	金額が妥当であればよいと思う。入湯税もあるのだから。
観光	しっかり意味のあるものにしてほしい。目的がはっきりするとその税が正しいのかも見えてくる。
観光	なるべく取られない宿泊先を探して泊まっています。 都内の宿泊税を30%くらいにしたらどうでしょう？
観光	一緒に精算させて。
観光	必要なことだと思います。
観光	できれば払いたくない。
観光	サービスの向上があれば賛成。
観光	本当に観光に使われるか疑問。
観光	出来れば払いたくないのが正直なところです。
観光	導入しないで欲しい。
観光	宿泊費用も高くなっているからちょっと不満。
観光	多額の支払いは不可。
観光	日本人は安く200円程度まで、外国人は2000円程度に差をつけるべき。
観光	日本人と外国人で徴収額が違ってよいと思う（外国人の方が高額）。
観光	高すぎは困る。
観光	宿泊税の導入によって観光への足が遠のくのは本末転倒なので制度設計をしっかりとすべきだと思います。
観光	数百円までなら構わない。

滞在目的	宿泊税に関するご意見
観光	あまり取られると宿泊しにくくなるが、その観光地に貢献できるのであればある程度支払っても良い。
観光	宿泊税なんか取るな！
観光	インバウンドの影響で宿泊料が値上がりしており、その上で宿泊税が導入されるのは、国内旅行をする日本人にとって如何なものかと思うが、国内の景気が良くなれば導入は良いと思う。
観光	外国人には高くとる。
観光	有効利用されるなら大いに結構です。
観光	なくしてほしい。
観光	高すぎるのは訪問に影響する。
観光	日本円が安くて海外観光客が来ている現状であれば外国人観光客には税を高くした方がい。オーバーツーリズムで外国人だらけなのにコスト負担は日本人の税じゃ報われない。日本人は旅行行くにも物価高で使える金額が減っているので日本人観光は税を少なめにしたい。円高になったら海外観光客も少なくなるので客数が減ったら外国人観光客の税も減らせばいいと思う。とにかく円が安いから日本に来る海外の観光客が多いので安い日本円の数百円なんて何のコストにもならないはず。現状を把握して柔軟に対応してほしい。
観光	有意義な使い方をしてください。
観光	税金が欲しいだけとしか思えない。
観光	税の目的を明確に示してほしい。税収額と収支の公表。
観光	なんでも税をかければ良いというものではない。他に方法があるか熟考してほしいもの。値上げでよいのではないか。
観光	宿泊税は当たり前。
観光	宿泊税の徴収するのであれば何に支出したか明確にして公表もして頂きたい。
観光	絶対にそのようなことはしてはダメだと思いますけどもね。
観光	うれしくない。
観光	取ってもいいが、値段が1000円以上にはしない方がいい。
観光	有意義な使い方をしてもらえらるなら払うべき。
観光	なるべく安くしてほしい。
観光	廃止してほしい。
観光	適切な徴収と使途の明確化。
観光	無しが良い。
観光	しょうがない。
観光	オーバーツーリズム対策に使われると日本国民として助かります。自分が住んでいる地域も観光だけじゃない外国人が多くマナーも悪いので辟易します。
観光	安くして。

滞在目的	宿泊税に関するご意見
観光	海外でも多くありますが日本人と外国人とは差をつけるべきです。宿泊費も同様にすべきなのでは？
観光	便乗値上げにつながらないようにしてほしい。
観光	あまり払いたくはないが、導入されるのは致し方ないと思う。
観光	使途の明確化。
観光	有効活用に期待します。
観光	特に導入に違和感ありません。
観光	出来れば導入して欲しくない。
観光	よく理解していない。
観光	使途の明瞭化がされているのであれば納得できる。
観光	できれば無いほうがいい。
観光	有効に使って欲しい。
観光	見合う満足感があればいい。
観光	ある程度必要。地域活性化に使って欲しい。
観光	現状の率でよい。
観光	御殿場市は、箱根に宿泊する途中で立ち寄る買い物や食事、観光の場所なので、これまでに宿泊したことがなく、イメージが湧かない。高額の手は回らないが、ある程度の範囲であれば致し方ないと思う。
観光	税金がかかるなら泊まらずに日帰り旅行が増えると思う。
観光	観光資源の保持のためには仕方ないとは思いますが、正直なところ、無かった税金が増えるのは苦しいと感じてしまう。
観光	街の魅力に繋がる使い方なら歓迎です！
観光	行方なら、使い方をきちんと表示し、有効に使って欲しい。
観光	やめた方がいい。
観光	公平なら良いと思う。
観光	取るならしっかり使い道を考えてほしい。
観光	一部屋単位ならいいですが一人当たりに課税されると行きたくなる。
観光	使途不明にならないようにしてほしい。
観光	宿泊費の値上げだけではなく、用途が明確化された宿泊税であれば導入には賛成です。
観光	わかりません。
観光	宿泊税が高いとその都市での宿泊を避ける。
観光	税を徴収するのであれば、どのような目的で徴収するのかを、周知してほしい。
観光	うれしくない。
観光	ない方が嬉しい。
観光	ない方がいいが有効に使われるのなら良いと思う。
観光	オンラインでクレジットカードなどを使って支払った宿泊代の他に、別途宿泊税だけを現地で払わねばならないのは面倒。
観光	安く。

滞在目的	宿泊税に関するご意見
観光	あっても仕方がない。
観光	各地で導入されていますが、外国人観光客のゴミ対策だけに使われているような気がします。
観光	納得のいくものなら、かまわない。
観光	あまり高くない範囲でお願いします！
観光	国として考えたらよいと思う。
観光	外国人のみから取るといいと思う。
観光	やってみないと分からないけど、導入したら廃止できないのがお役所仕事。情け無い。
観光	訪れる人に良いものはもちろん、訪れられる人にも良い使い方をしてほしい（道を整備するなど）。
観光	消費税と被らないでほしい。
観光	300円くらいまでなら払っても良いと思います。
観光	宿泊料金に沿って累進性を持たせて欲しい。
観光	ためになる使用を期待しています。
観光	高いと旅行に行けなくなる。
観光	何に使われている？
観光	基本的には反対。税を課すなら目的、使途を明確にして下さい。それでもなお、この種の税は疑問が残る。
観光	有意義に使ってほしい。
観光	問題なし。
観光	日本国籍と外国国籍で違いを設けてほしい。
観光	気持ちよく、観光地で過ごせるためのトイレなどの増設。
観光	何でも税金を取ればいいってもんじゃない。外国人から観光税を取れば良い。
観光	わからない。
観光	支払うものとしては、次に来る時に有効に活用されていることの一つでも感じられたら嬉しい。
観光	金額や徴収方法を宿泊施設や観光関連のWebサイト、冊子等到大々的に表示するようにしてほしい。
観光	無い方がいい。
観光	有意義に使って欲しい。
観光	有効活用して欲しい。
観光	使い道の透明性が重要。
観光	しっかりその用途と使った結果を示せば特に問題ないと思う。後は宿泊税があるかないかで利用者が御殿場で宿泊するのか判断されると思うので。
観光	東京都で導入されており、あまり違和感はない。
観光	利用内容を公表して欲しい。
観光	消費税を取るのに宿泊税もとるのは2重課税ではないのか。

滞在目的	宿泊税に関するご意見
観光	少し高いかな。
観光	ないほうがいい。
観光	宿泊客に還元できるように活用してほしい。
観光	導入しないでほしい。
観光	観光地を守るために、少額(薄く広く)の宿泊税を取ることには賛成です。
観光	宿泊費に組み込む。
観光	わからない。
観光	地域の環境整備に使われるのであれば無理のない範囲で支払うことに抵抗はない。
観光	かかるなら行きたくない。外国人からとるべき。
観光	必要経費だと理解する。
観光	分かりやすくアピールしてほしい。あとから知らされるのは嫌だと思う。
観光	インバウンド旅行者対象とすればなお良い。
観光	オーバーツーリズムになっているようなところは、積極的に取り入れて、そのために困っているところを優先的に使っていけば良いと思う。観光地も競争です。
観光	できればないほうがいい。
観光	より良い観光地になるならばOK。
観光	致し方ないと思います。
観光	過大な金額で無いならば徴収には問題無い。宿泊の目的で観光と出張で双方に不満が無い使途が明確ならそれほど問題にならないと思います。
観光	いらない。
観光	使い道を明記してほしい。
観光	宿泊したいと思う観光客が減らないと良い。
観光	何に使われるのかいまいち不明確。
観光	特になし、必要性があるのであれば支払います。
観光	払うのに、使い道が開示させていない。
観光	宿泊利用者が納得する施策に活用することを望む。
観光	オーバーツーリズムの功罪～観光で人が来ればいいってもんじゃないと近年、ますます感じる。御殿場は富士山の麓、大事な自然遺産が有る場所。湧水の素晴らしさ、美味しい食べ物、忍野八海（ここは御殿場じゃないかも）に行って最高の時間でした。交通がややこしいことを除けば、また、行きたいと考えている～そういった諸々に税金が使われることは、観光客一人一人に「ビジターの義務と責任」を自覚してもらう大事なことだと言える。
観光	出来ればやめてほしい。
観光	日本人には取るのをやめてほしい。
観光	やめてほしい。
観光	有効に使われるなら致し方ない。
観光	ネット予約時に、宿代とあわせて払えるように(クレジット引き落とし)してほしい。
観光	税金ばかりとられ辟易している。

滞在目的	宿泊税に関するご意見
観光	できればなくしてほしい。
観光	外国人対象に限る。
観光	できれば課税しないほうが好ましい。
観光	可もなく不可もなし。
観光	外国人だけにしてほしい。
観光	観光施設の充実化やインフラ整備、観光地の魅力発信などに、宿泊税を徴収して充てるのは賛成。ただし、住民税を支払っているその県に住んでいる人は対象外とするほうが良いと思う。
観光	外国人から多く徴収してほしいです。
観光	今は全国どこでもそうだが、こういう宿泊税や入浴税みたいなのは、好ましくないと思う。それ込みで、ホテルの料金を決めれば良いと思う。
観光	泊まりやすくなるなら支払うには構わないが必要なところにちゃんと必要なだけ届くようにしてほしい。
観光	オーバーツーリズム対策に役立つと思う。ただし、どのようなことに使用しているのか、ちゃんと説明が不可欠だとも思う。
観光	ない方がいい。
観光	宿泊税を払っても行きたいと思わなければマイナス効果になると思う。
観光	オーバーツーリズム対策なら仕方が無いけど、閑散期繁忙期で分けた方が効果的だと思う。
観光	いいことだ。
観光	よく理解していないのでありません。
観光	あくまでも来県した人限定にしてほしい。
観光	オーバーツーリズム対策として一定額の負担は仕方ないと思う。
観光	外国人観光客からは日本人観光客より多く取ってもいいと思います。
観光	観光客が多いので、浅く広くでかなりの財源になるのでは。
観光	インバウンドと分けて欲しい。
観光	多少の宿泊税がついても観光そのものをやめようとは思わないが、近郊ならばわざわざ泊まることなく日帰りでもいいと思うようになると思う。
観光	ただでさえ税金だらけなのでのんびり旅行ぐらい世知辛いことしないで頂きたい。痛くも痒くもない富裕層や、一泊一人10万以上の高額な宿泊費なら0.5%くらい課税してもいいのでは。
観光	現在の観光客が増えている中では仕方がない。 観光の環境が整備されることと市民の負担が減ればよいと思う。
観光	事実上値上げ。
観光	ネット予約で宿泊先を決めるのだが入湯税や宿泊税込みの値段になってないのがすごく不便なのでそこをなんとかしてもらいたい。
観光	宿泊費とは別に現地で支払うのではなく予約時に料金に含めて欲しい。
観光	必ず2食付きにして欲しい。

滞在目的	宿泊税に関するご意見
観光	宿泊して訪れたい魅力的な観光資源があればよいが、そうでなければ宿泊税の掛からない近隣エリアで宿泊施設を探すように思います。
観光	反対
観光	情報公開が必要。 どこに使われているのか不明なら払いたくない。 富士山の環境問題に使ってほしい。
観光	日本人と外国籍とで金額を変える。
観光	何に使われているのかハッキリしているのなら、どんどん取ったほうが良いと思います。
観光	無いに越したことはない。
観光	地方再生のためなら納得である。
観光	使い道が透明で納得できるもの、かつ観光地の魅力を高めることに資するものであれば賛成。
観光	有効に使って欲しい。
観光	いらない無駄。
観光	有意義に活用してほしい。
観光	数百円程度なら、それほど気にならない。ステッカーとか配るとちょっとお得感がでるかも。
観光	払いたくないが仕方ない。
観光	京都を筆頭に導入されれば、できるだけその都市での宿泊は避けている。
観光	無駄にしないように。
観光	必要だとは思いますが、500円以上だと躊躇する。
観光	導入の目的が推進なのか、抑制なのかがよくわからない。
観光	地元住民の基本生活の安定のために使っていただけるとありがたいです。
観光	目的が明確であり、利用者に伝わるのであれば導入して頂いて構わない。
観光	明白性
観光	あまり印象は良くない。
観光	ちゃんと使われれば問題ないと思います。
観光	あまり高いと行き先から敬遠される。外国人からより多く徴収すべき。
観光	交通網の充実。
観光	当然ながら、観光、宿泊地の整備、改善、促進ということを、念頭に置いていれば、宿泊税を多少なりとも支払うことには賛成である。
観光	外国人から沢山取るのが良いと思います。
観光	致し方ないのかなと思う。
観光	ま、仕方ないのでは…。
観光	不用
観光	外国人と日本人で差をつけて。
観光	駐車場とか渋滞対策。

滞在目的	宿泊税に関するご意見
観光	外国人の宿泊客だけ多く分捕ればいいと思う。
観光	使い道などを明確にして頂けるなら協力しやすい。
観光	主に観光地までのインフラ整備に使って欲しい。
観光	インバウンドの宿泊者の方を国内在住の宿泊者より高く設定するなど徴収額を分けて欲しい。
観光	必要ないと思う。
観光	積極的に取ってもいいと思っている。海外ではけっこうある。海外のお客からたくさん取って欲しい。
観光	インバウンドが増えて困るなら徴収していいと思うが、一般人としてそこまでインバウンドが来ているか伝わってない。
観光	国内の日本人と国外からの外国人で宿泊税の差別化すべきである。
観光	宿泊税を徴収するなら、その使途をきちんと公表してもらいたい。
観光	オーバーツーリズム対策に活用して欲しい。 使用目的をはっきりさせて、目的以外には使用しないことが大前提。
観光	日本人は不要。
観光	いらない。
観光	外国人にだけ課税してほしい。
観光	宿泊税はいろいろな自治体で導入済みです。抵抗感は少ないし、使い方をはっきりしてもらえれば納得できる税だと思います。一泊数百円なら全然アリです。
観光	導入する自治体が増加しており、数百円程度であれば、やむを得ない。
観光	税と言われると抵抗がある。
観光	ガンガン取ったらいいと思う。
観光	国で一律の税率にしてほしい。 あるいは、累進課税性にしてほしい。
観光	廃止にしてほしい。
観光	外国人との差をつけたほうがいい。
観光	オーバーツーリズムの阻止や外国人観光客による利用マナー低下を防ぐために利用してほしい。
観光	使い道を明確にすべき。全国で統一した仕組みとするべき。
観光	税金はきちんと使ってほしい。色々と税金に名前を付けていてもきちんと地域のためとかに使っているとは思えない。
観光	仕方ないと思うけど、有効活用していただきたいです。
ビジネス	当該地の発展に真に使ってもらえるならば、増額も許容します。明確な事前説明と効果検証をお願いします。
ビジネス	オーバーツーリズム
ビジネス	インバウンドには必要だけど、日本人の宿泊に必要なと思う。
ビジネス	有効活用されるのであれば良いかと思う。
ビジネス	インバウンド対策に使うのであれば致し方ない。

滞在目的	宿泊税に関するご意見
ビジネス	海外の人だけ徴収して欲しい。
ビジネス	何に使われているか不明。
ビジネス	一律ではなく、宿泊料金の1%とか
研修	用途が有意義であれば、若干ならば納税してもよいと思う。
研修	取らないでほしい。
研修	またいずれ。
研修	県により金額が違うのはおかしい。
研修	その地域のためになることに使って欲しい。
知人訪問	宿泊税でその地域や宿泊施設等が潤うことを望みます。
知人訪問	使用目的が明快ならば、仕方がない。 用途が職員の給料に使われるなら、反対。
知人訪問	全て税金、どうにかして欲しい。
知人訪問	仕方がないかと思います。
知人訪問	オーバーツーリズムの是正など快適な滞在を確保できるようにしてほしい。
知人訪問	差別化して取るなり、邦人と外国人は分けた方が良い。
帰省	特にないが、正しく使う。
帰省	使い道を明確にさせていただけたら、快く払いやすいと思う。簡単な内容ではなくできる限り明確に使い道を知りたい。
帰省	旦那の帰省で毎回御殿場に帰るが、アウトレット渋滞がひどい。 家の前もひどいため、宿泊施設にもたどり着くのが遅くなることが多い。
帰省	総税収額と何に幾ら使ったか、定期的に関示すること。 取られっぱなしでは納得出来ない。
その他	宿泊金額に比例した金額が望ましい。
その他	観光関係に使って下さい。
その他	無ければ、その方がありがたい。何に使っているかがわかればうれしい。
その他	あって良い。
その他	外国人は高くすればいいと思う。
その他	何故払うのかが分からない。
その他	何に使うのか明確にして欲しい。
その他	日本人と外国人の宿泊税を変える。
その他	税を取るのは良いが、用途、効果判定等の公表することを含め利権化しないで。
その他	日本国民から取るべきでない。
その他	業者ではなく宿泊者の利益になることに使うべし。
その他	外国人向けでお願いします。
その他	外国人にのみ適用したらいい。
その他	宿泊税は各市町村で導入しているので、目的がはっきりしていたら良いと思います。
その他	様々なサービス改善に向けて必要であれば、やむを得ないと思う。

滞在目的	宿泊税に関するご意見
その他	オーバーツーリズムが問題になっている昨今、昨年京都に行ったが海外の観光客で押すな押すなの人込み。観光どころではなかった。できれば海外観光客対策として海外観光客とは税別で設定して欲しい。
その他	仕方がない。
その他	消費税の代わりに宿泊税を導入して欲しい。
その他	高額にならないよう低額で抑えてほしい。
その他	有効な使用を望むのみ。
その他	役に立つ使い道なら導入はやむを得ない。
その他	訪日外国人から取るべきで有って日本の国民から取るべきでは無いと思う。
その他	公共の観光地などの整備に必要と思う。
その他	安価で有効活用。
その他	それで宿泊地が良くなっていくのであれば大賛成です。
その他	税金は正しい使用先を希望します。
その他	オーバーツーリズム対策として、外国人の宿泊税を日本人に比べて割高にしてほしい。
その他	何に使われるか、利用実績と効果の見える化。
その他	良いことだと思う。
その他	目的によって宿泊税は問題ないのですが、値上げで一部の業者が儲けのためなら実施反対です。その辺を行政がどのような目的で実施するのかを周知する義務があると思います。
その他	特にインバウンドに適用。
その他	こんなものばかりを進んで導入するなど愚の骨頂。

・インバウンド

滞在目的	宿泊税に関するご意見
観光	あまり良くない。
観光	税金の還付を受けられるはずだ。
観光	開発と進歩のためなら、すべての観光客が宿泊税を受け入れるべき。
観光	アジア人向けの新たな税制調整。
観光	適正価格に抑えてほしい。
観光	観光客向けの税控除
観光	グローバルアプリで宿泊予約をし、クレジットカードで全額支払ったにもかかわらず、ホテルのカウンターに到着すると、一人あたり数百円の追加料金を現金で請求された。予約前に細かい利用規約をよく読まないと、「騙された」ような、あるいは透明性の欠如を感じる。
観光	あまり税金を徴収しない方がよい。
観光	良いと思う。日本の宿泊施設に泊まるのだから、何らかの費用がかかるのは当然だ。
観光	問題ない。
観光	宿泊税は観光客にとって適切なものであるべき。
観光	税率が妥当で、かつ基本額に10%の手数料が課される場合を除き、この方法は効率的だと思う。
観光	必要であれば構わないが、妥当な範囲であるべき。
観光	日本の宿泊税は非常に手頃です。不明な料金は一切ありません。
観光	最高の体験
観光	観光業の発展のために、宿泊費に税金を課するのは良いことだと思う。
観光	観光客向けの通常の商品やサービスの質や価格に影響が出ない限りは良いのですが、それが国の発展のためであれば全く問題ない。
観光	国の観光にとって好ましい。
観光	宿泊税は妥当な範囲内であるべき。
観光	日本を訪れた際、宿泊税は妥当だと感じた。少額で透明性が高く、観光の質の向上に明らかに再投資されているので。私の体験に悪影響を与えることはなく、むしろ日本が誇る清潔で効率的、そして旅行者に優しい環境を支えていると思う。
観光	日本の宿泊税は、観光インフラの整備に使われるのであれば妥当だと思う。
観光	税金が高すぎず、適度で良いと思う。
観光	きれいにまとめられた宿泊施設。
観光	できれば安くしてもらいたい。
観光	適切に使用されれば不満はない。
観光	透明であればいい。
観光	宿泊自体がその地域に利益をもたらすのに、宿泊税が必要な理由が気になる。
観光	宿泊税が変なことに使われず、観光地の開発にしっかり活用されるのであれば問題ないと思う。

滞在目的	宿泊税に関するご意見
観光	負担になるほどならあまりにも惜しい感じが多いと思われる。なければいいのに。最小限の費用で宿泊施設や宿泊サービスのクオリティが良くなればある程度理解できる。
観光	宿泊施設と観光資源への投資だけが検証されれば、一定部分の宿泊税には肯定的。
観光	宿泊施設改善のために宿泊税導入。
観光	宿泊税が効果的に活用されれば。
観光	私は反対。
観光	導入自体は賛成で、観光資源保護などに使われてほしい。
観光	税金が訪問した観光客のために使われるなら、税金を追加で支払うことについて不満はない。
観光	価格調整
観光	値下げと痴漢問題。
観光	よく分からない。
観光	宿泊税が引き上げられたら日本への旅行について再考する。
観光	金額を下げてほしい。
観光	日本は自治体が透明だと思うので、否定的ではない。
観光	きちんと観光のために使われてほしい。
観光	観光地開発へ再投資してほしい。
観光	無名の税
観光	宿泊税導入不要。
観光	観光客が宿泊税を負担するだけに観光客が感じることができる好ましい変化があってほしい。
観光	あまりにも過度に受け取らなければ観光客数の調節にも役立つのでは。
ビジネス	タイの役人とは違って連絡が取りにくい。
ビジネス	税金をきちんと使う限りは問題ない。
ビジネス	魅力的で効果的。
ビジネス	観光地開発に役立ち、より有益であるため、税制関連制度を奨励したい。
ビジネス	日本の宿泊税に関する私の意見は、観光客とその安全にとって良いことだと思う。
ビジネス	手頃な価格にする。
ビジネス	提供されるサービスに見合った料金だと思う。
ビジネス	宿泊者一人当たり、一泊当たりに課される地方自治体が管理する宿泊税。
研修	地方自治体が承認した税金。
研修	日本の宿泊税は、国税ではなく、地方自治体が徴収する料金。
知人訪問	社会の向上に役立ち、かつ一般の人々が負担できるほど高額でなければ、良い決定だと思う。
知人訪問	より多くのビジネスチャンスが生まれる。
知人訪問	旅行者の立場では追加費用が負担する場合、税金の使用先が透明であれば肯定的に思える。

滞在目的	宿泊税に関するご意見
知人訪問	高すぎると負担になります。
帰省	観光インフラに使ってほしい。
帰省	非常にリーズナブルな価格で、最高のご飯が食べられます。
その他	日本の宿泊税が観光インフラの改善に使われるのであれば、問題ない。

第3章 宿泊者への調査

1. 調査の概要

(1) 調査対象

市内の宿泊施設7施設に宿泊した人

(2) 回答方法

調査員による聞き取り

(3) 実施時期

令和8年6月18日～令和8年7月10日

(4) 有効回収数

650件（うちインバウンド：165件）

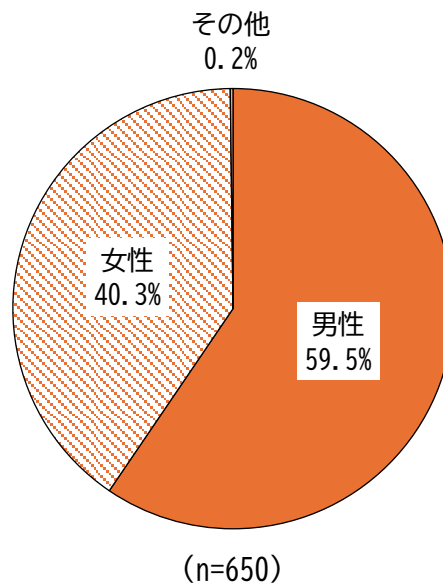
(5) 主な調査項目

- ・ 基本情報
- ・ 本市への宿泊について
- ・ 宿泊税について

2. 調査結果

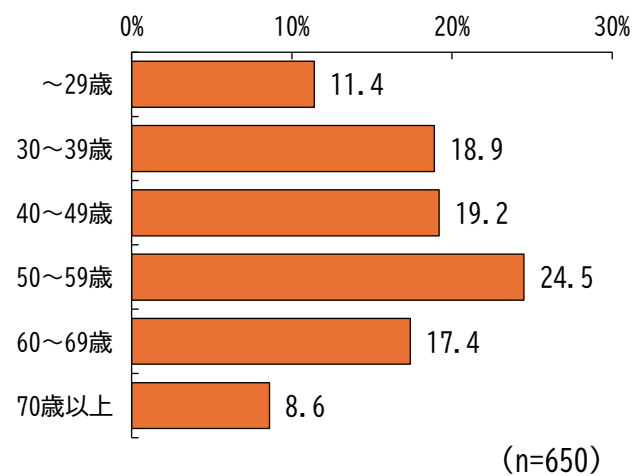
(1) 基本情報

Q 1 性別を教えてください。



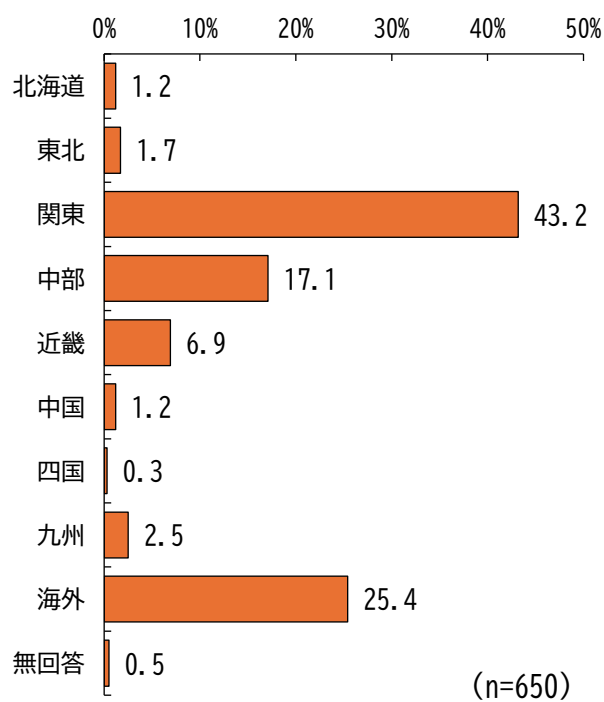
性別は、「男性」が59.5%と最も高く、次いで「女性」40.3%、「その他」0.2%となっている。

Q 2 年代を教えてください。

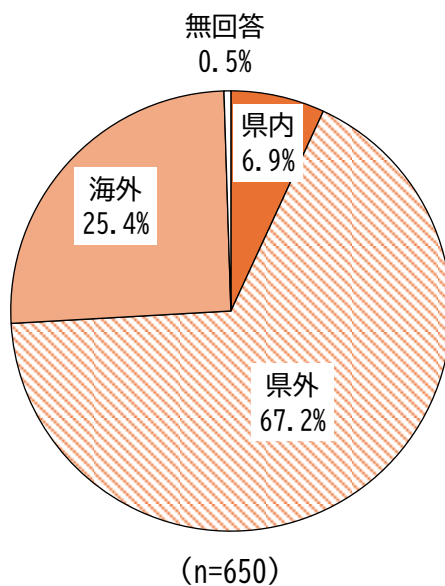


年代は、「50～59歳」が24.5%と最も高く、次いで「40～49歳」19.2%、「30～39歳」18.9%と続いている。

Q 3 お住まいの市区町村（インバウンドの方の場合は国籍）を教えてください。



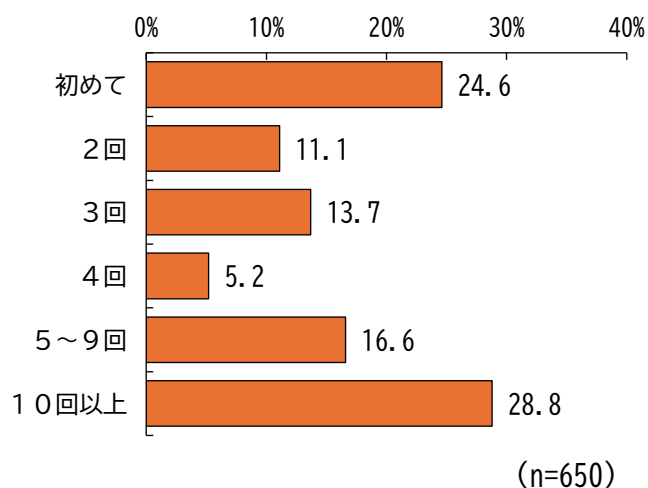
居住地は、「関東」が43.2%と最も高く、次いで「海外」25.4%、「中部」17.1%が続いている。



大別してみると、「県外」が67.2%と最も高く、次いで「海外」25.4%、「県内」6.9%となっている。

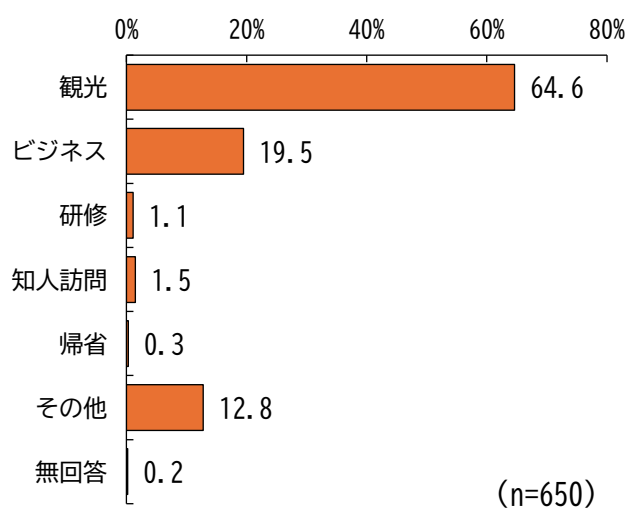
(2) 本市への宿泊・観光について

Q 4 本市への来訪回数を教えてください。



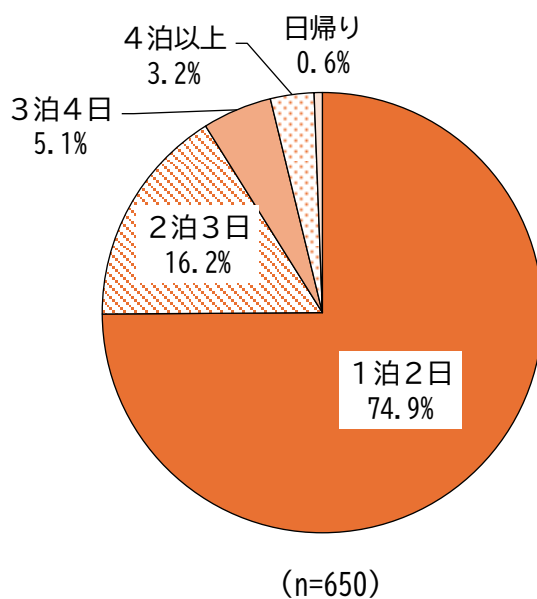
本市への来訪回数は、「10回以上」が28.8%と最も高く、次いで「初めて」24.6%、「5～9回」16.6%と続いている。

Q 5 本市での滞在目的を教えてください。



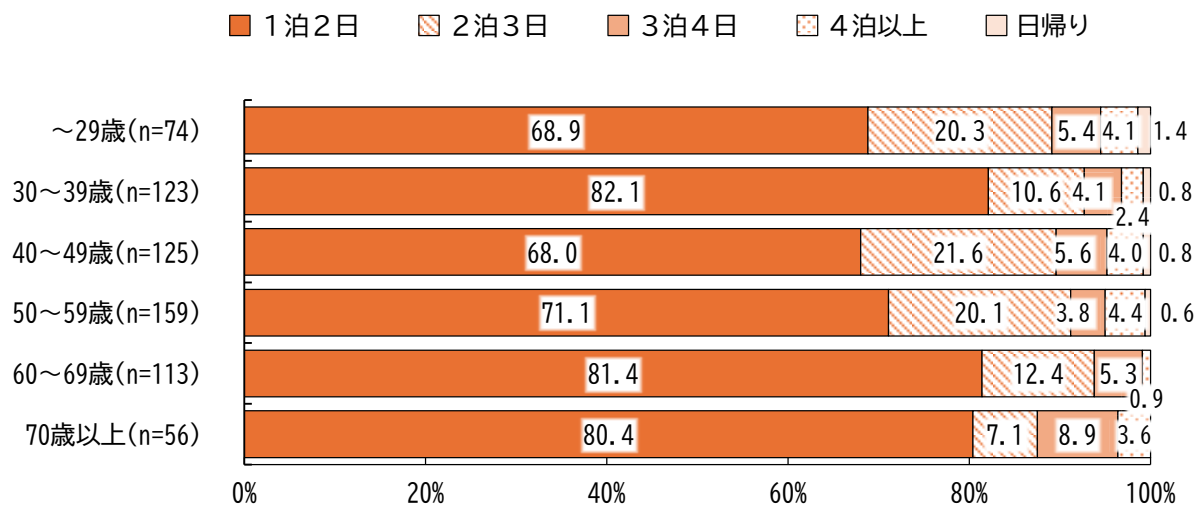
本市での滞在目的は、「観光」が64.6%と最も高く、次いで「ビジネス」19.5%、「その他」12.8%と続いている。

Q 6 本市での滞在日数を教えてください。



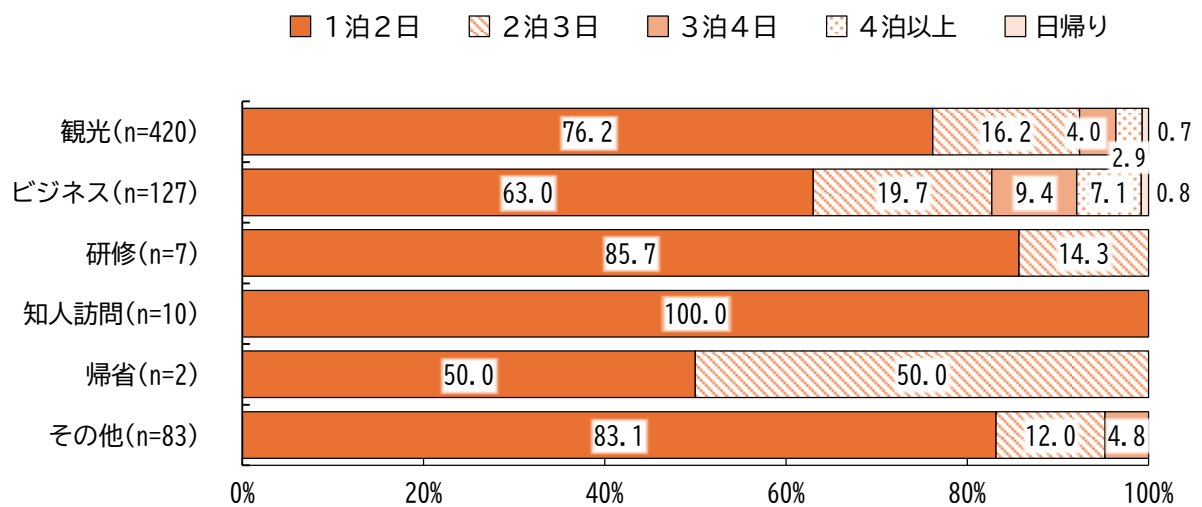
本市での滞在日数は、「1泊2日」が74.9%と最も高く、次いで「2泊3日」16.2%、「3泊4日」5.1%と続いている。

【年代別】



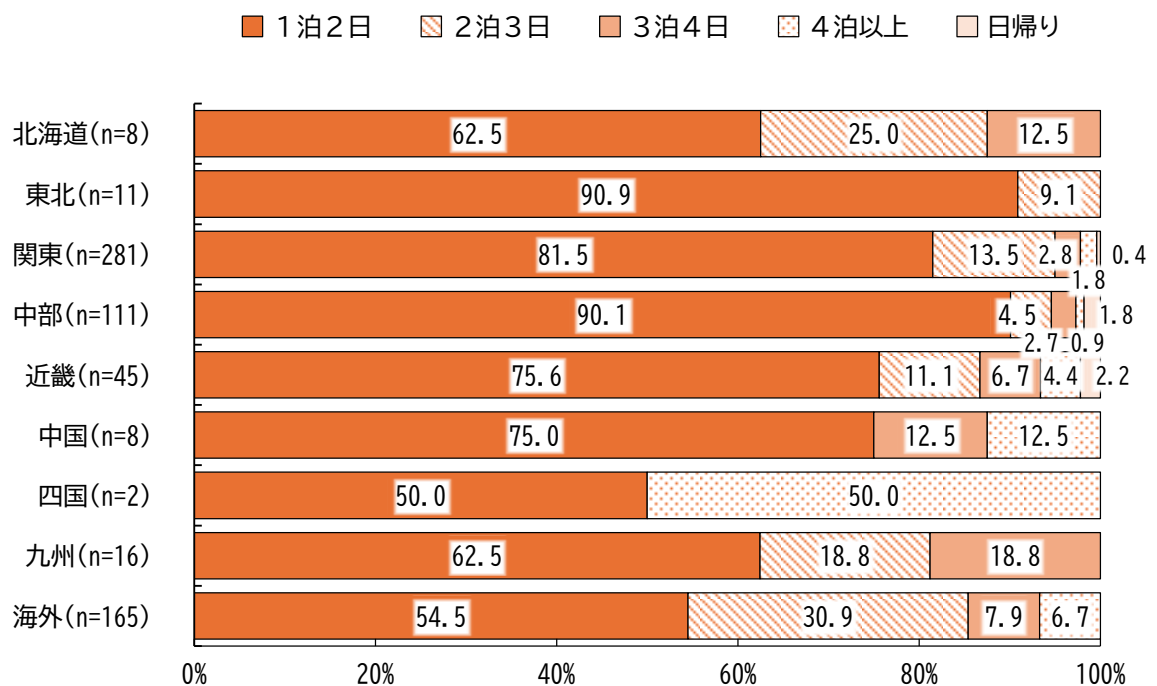
年代別でみると、30～39歳・60～69歳・70歳以上は「1泊2日」が高くなっている。

【滞在目的別】



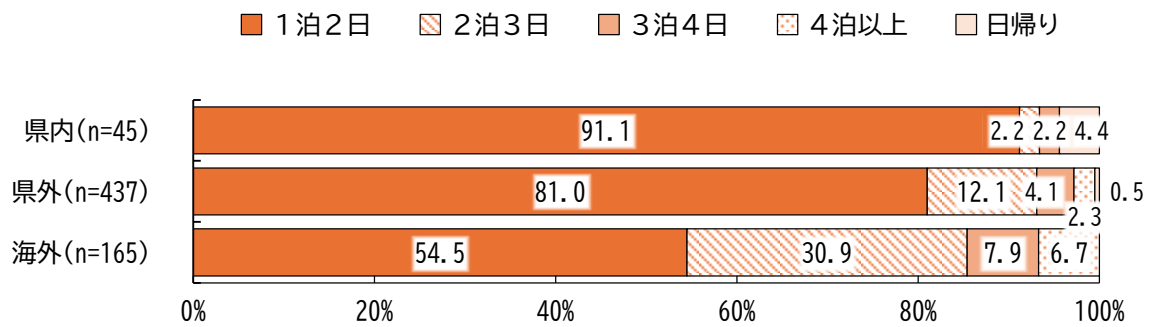
滞在目的別でみると、ビジネスの人は「2泊3日」がほかの目的と比べて高くなっている。

【居住地（9区分）】



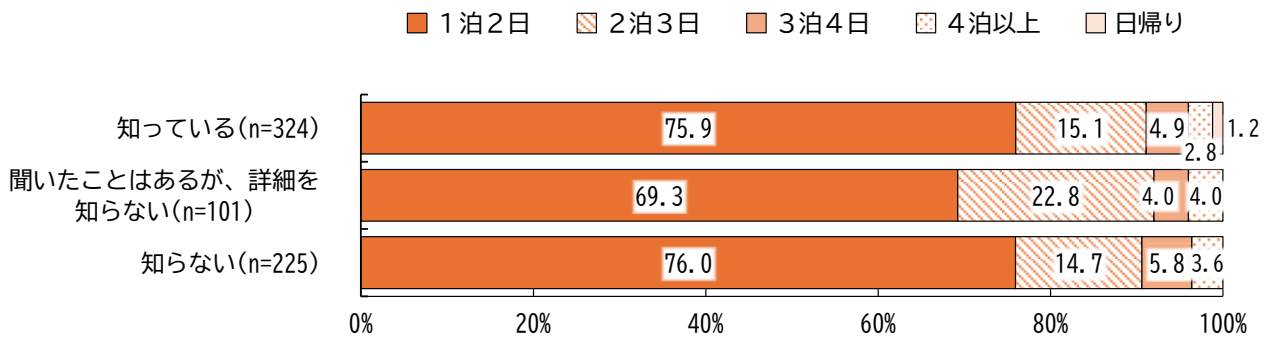
居住地方別でみると、中部は「1泊2日」がほかの地方と比べて高く、距離が離れるほど滞在日数も長くなる傾向にある。

【居住地（3区分）】



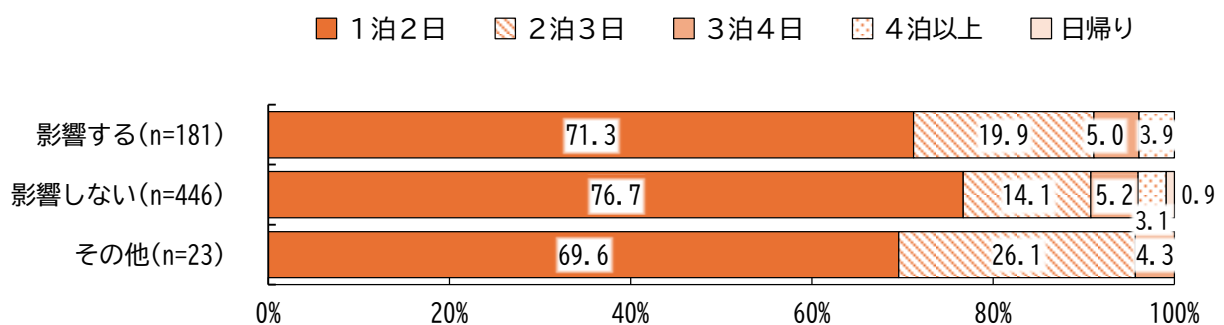
居住地別でみると、県内は「2泊3日」が県外と比べて高くなっている。

【認知度別】



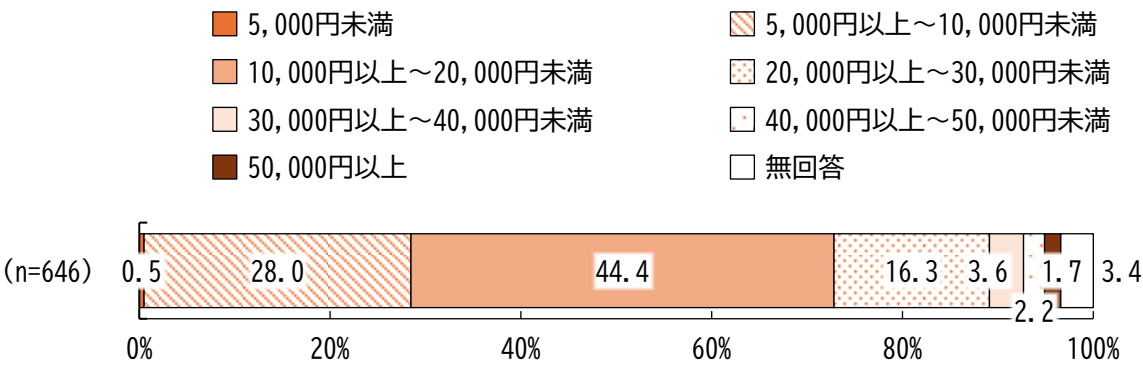
認知度別でみると、聞いたことはあるが、詳細を知らないは「2泊3日」がほかの認知度と比べて高くなっている。

【影響度別】



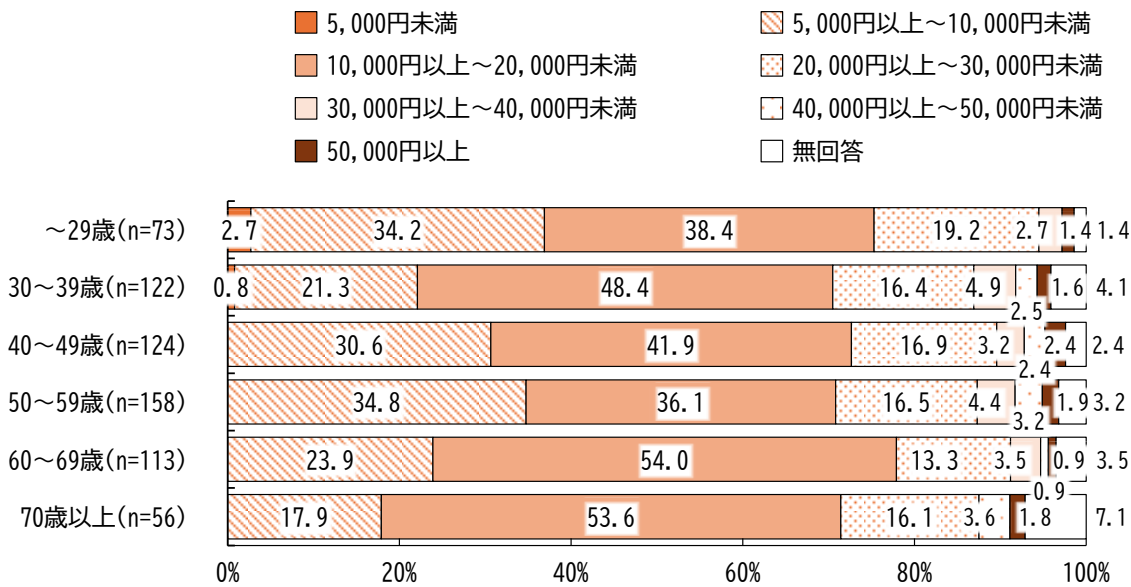
影響度別でみると、影響しないは「1泊2日」が影響すると比べて高くなっている。

Q 7 本市での1人1泊あたりの宿泊費を教えてください。



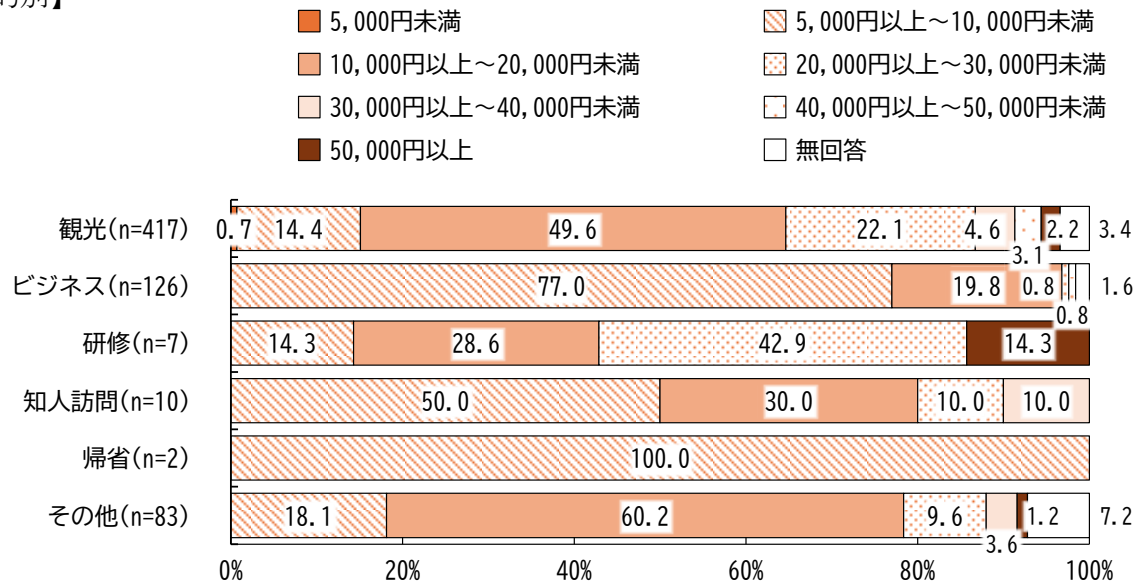
本市での宿泊費は、「10,000円以上～20,000円未満」が44.4%と最も高く、次いで「5,000円以上～10,000円未満」28.0%、「20,000円以上～30,000円未満」16.3%と続いている。

【年代別】



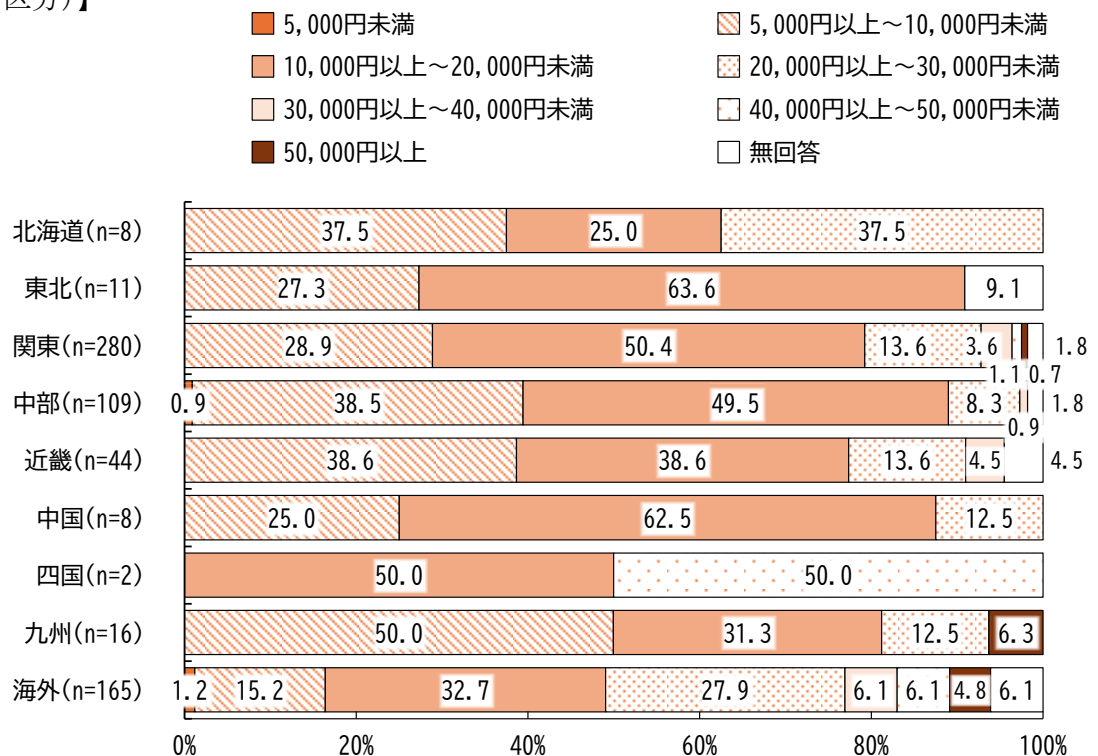
年代別でみると、～29歳・50～59歳は「5,000円以上～10,000円未満」、60～69歳・70歳以上は「10,000円以上～20,000円未満」がほかの年代と比べて高くなっている。

【滞在目的別】



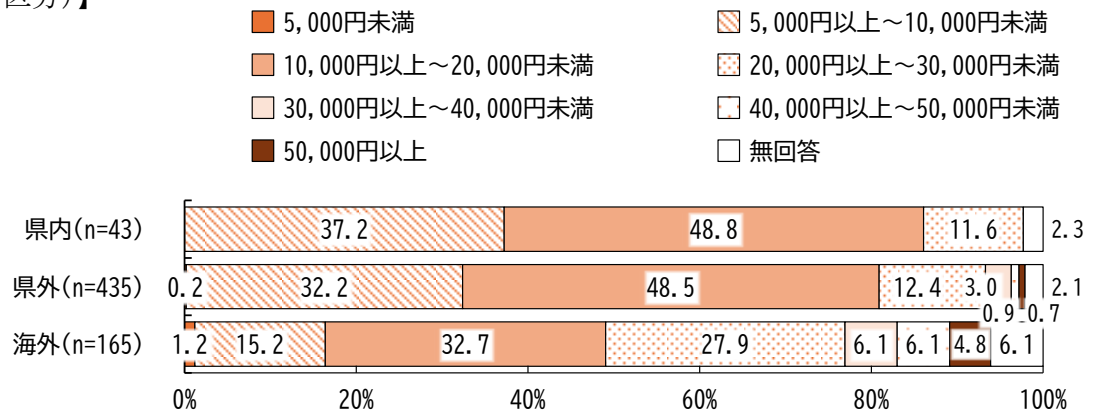
滞在目的別でみると、観光は「10,000円以上～20,000円未満」、ビジネスは「5,000円以上～10,000円未満」が高くなっている。

【居住地（9区分）】



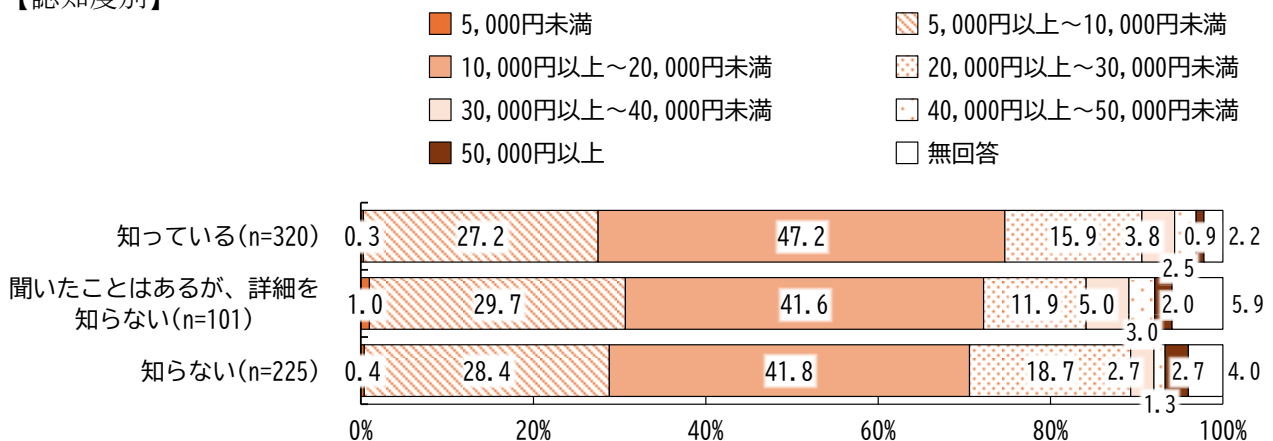
居住地方別でみると、距離が離れるほど宿泊費も高くなる傾向にある。

【居住地（3区分）】



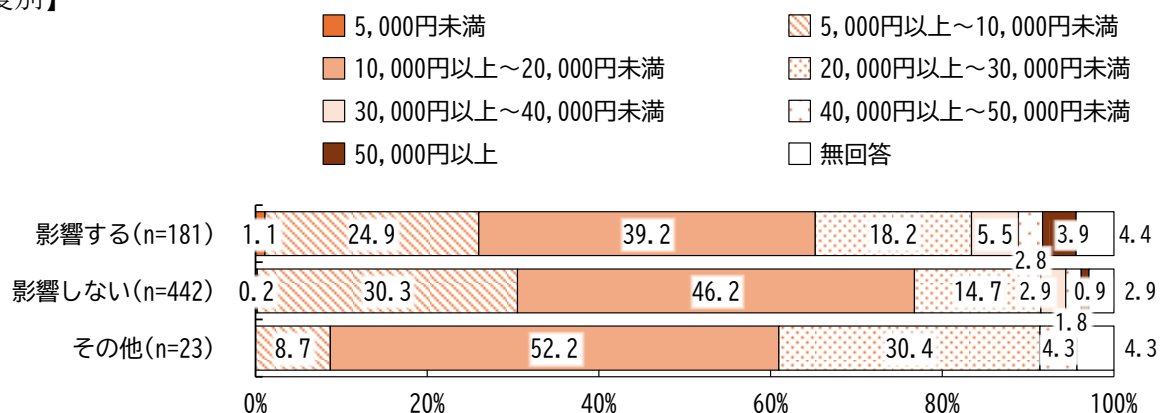
居住地別でみると、県内は「5,000円以上～10,000円未満」が県外と比べて高くなっている。

【認知度別】



認知度別でみると、知っているは「10,000円以上～20,000円未満」がほかの認知度と比べて高くなっている。

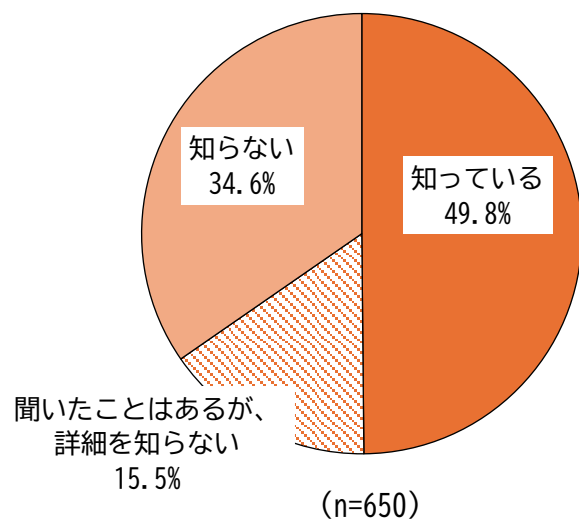
【影響度別】



影響度別でみると、影響しないは「10,000円以上～20,000円未満」が影響すると比べて高くなっている。

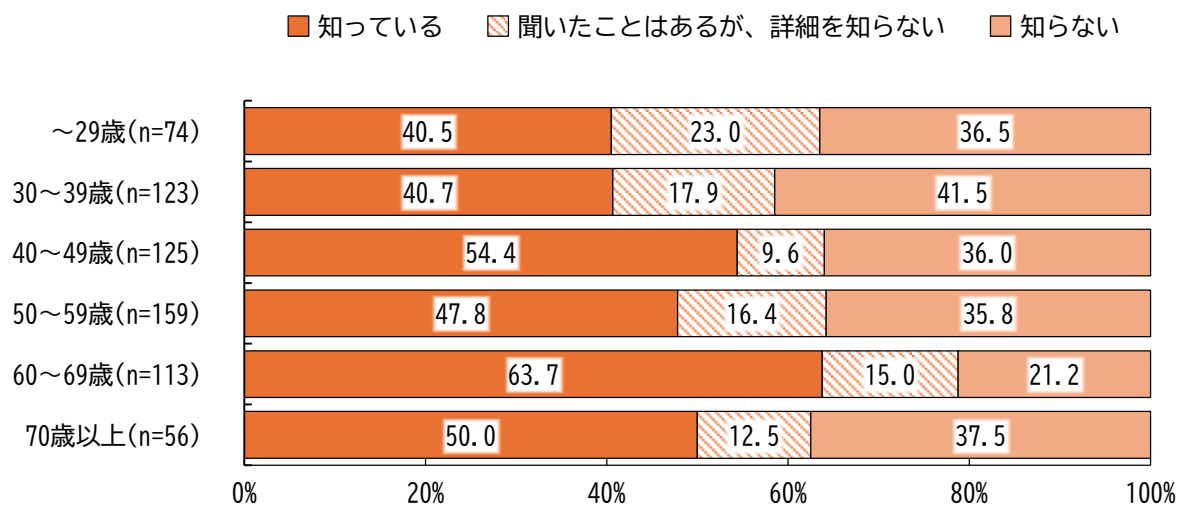
(3) 宿泊税について

Q 8 宿泊税について知っていますか。



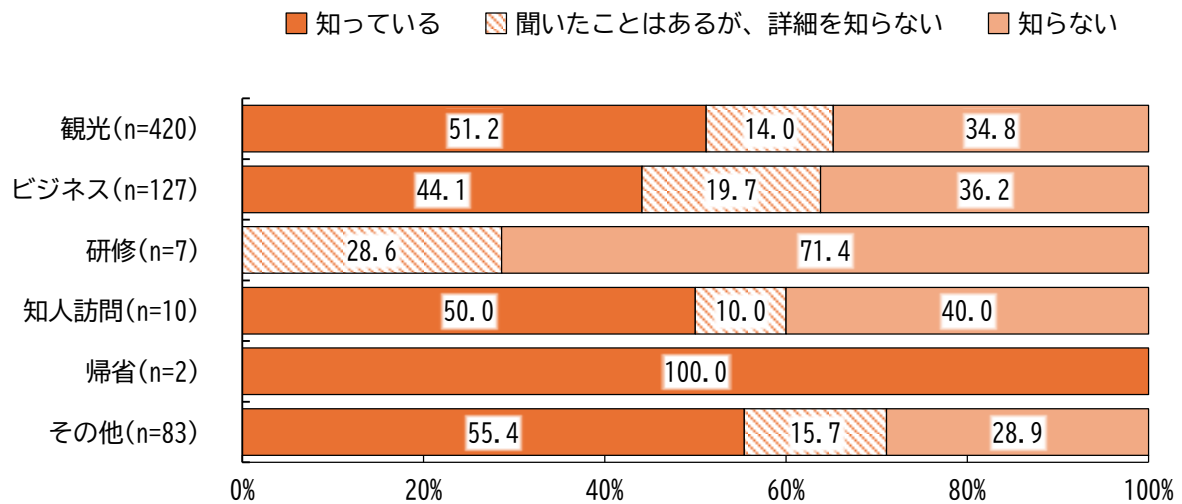
宿泊税の認知度は、「知っている」が49.8%と最も高く、次いで「知らない」34.6%、「聞いたことはあるが、詳細を知らない」15.5%となっている。

【年代別】



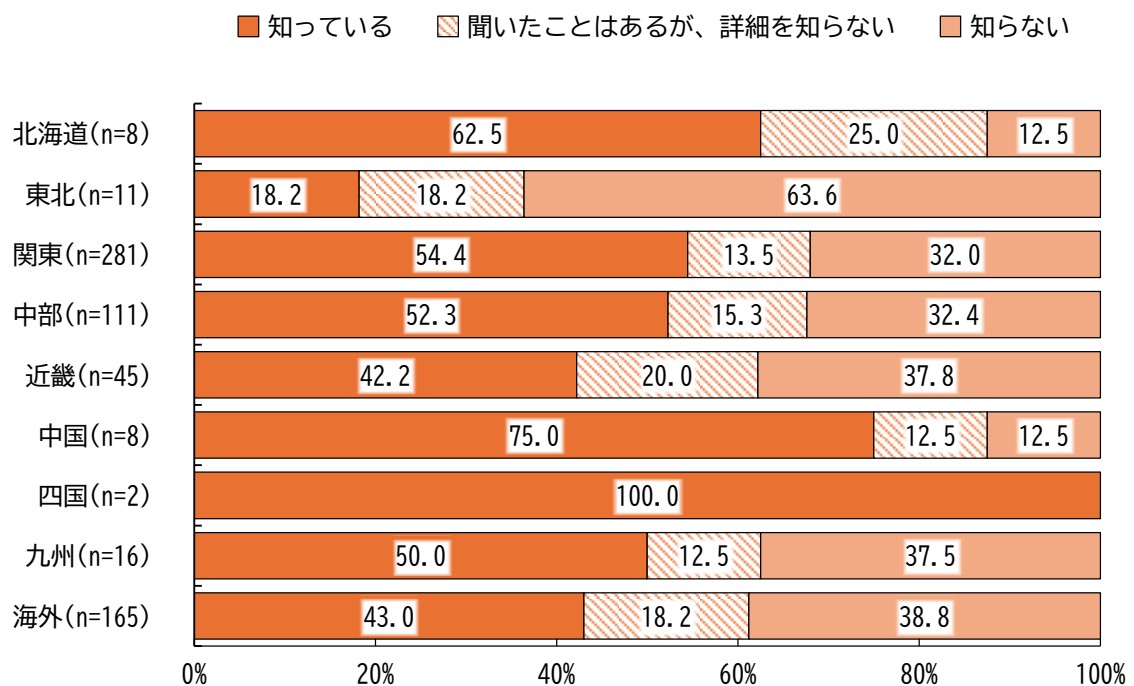
年代別でみると、60～69歳で「知っている」がほかの年代と比べて高くなっている。

【滞在目的別】



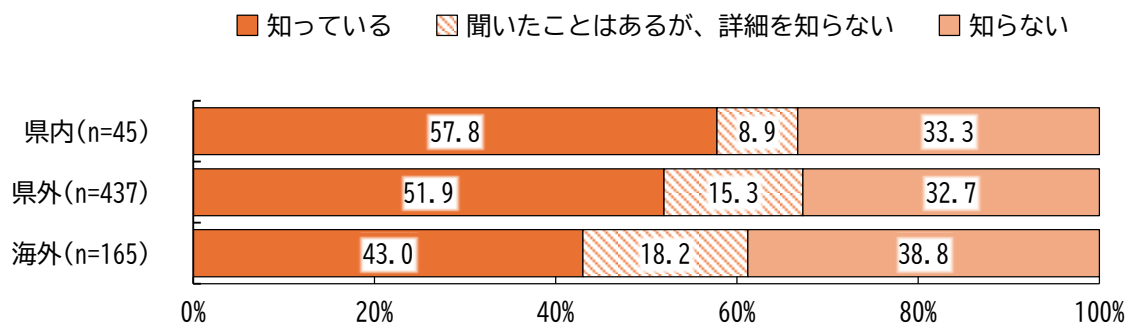
滞在目的別でみると、観光は「知っている」がビジネスと比べて高くなっている。

【居住地（9区分）】



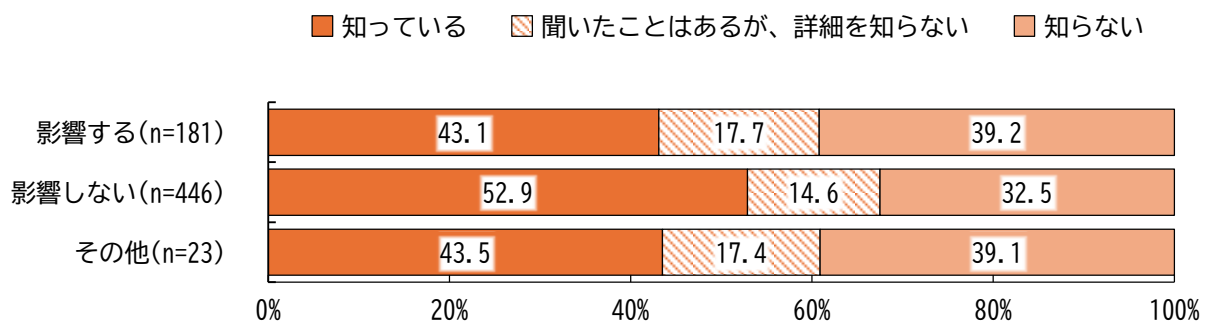
居住地方別でみると、「知っている」が関東・中部・近畿の順に高くなっている。

【居住地（3区分）】



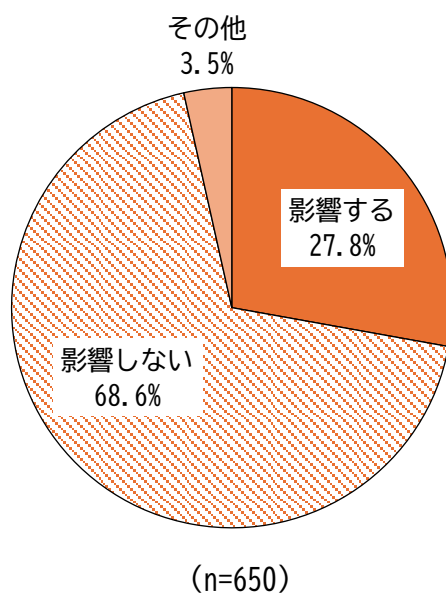
居住地別でみると、県内は「知っている」が県外と比べて高くなっている。

【影響度別】



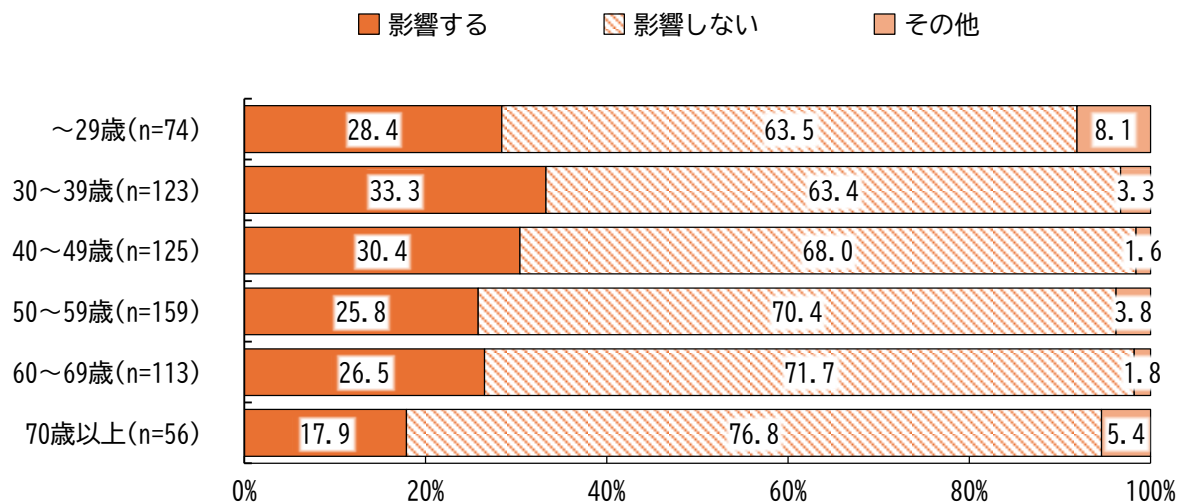
影響度別でみると、影響しないは「知っている」が影響すると比べて高くなっている。

Q 9 宿泊税が導入された場合、宿泊先の選定に影響しますか。



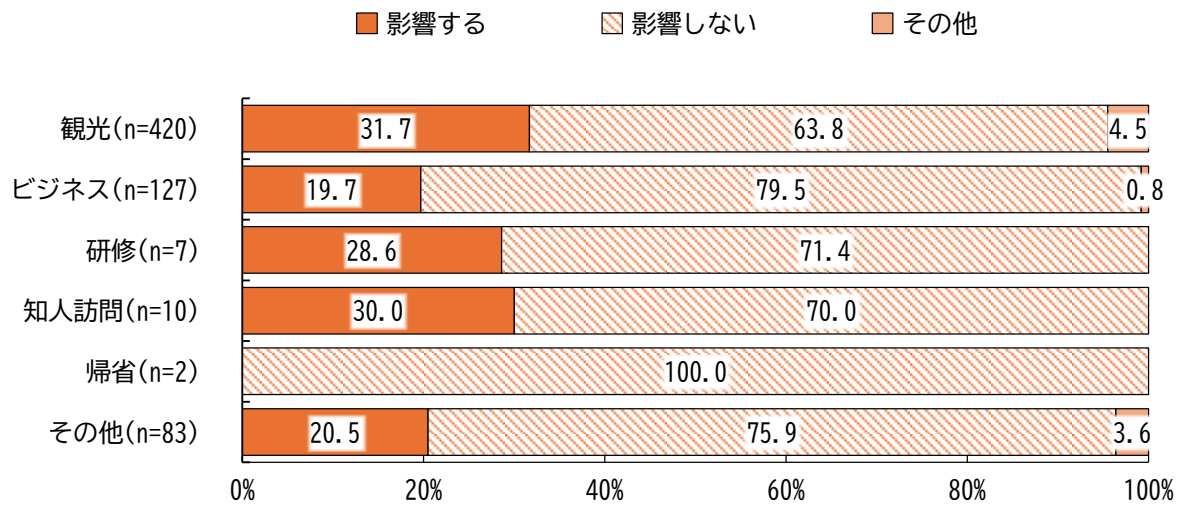
宿泊税の宿泊先選定への影響度は、「影響しない」が68.6%と最も高く、次いで「影響する」27.8%、「その他」3.5%となっている。

【年代別】



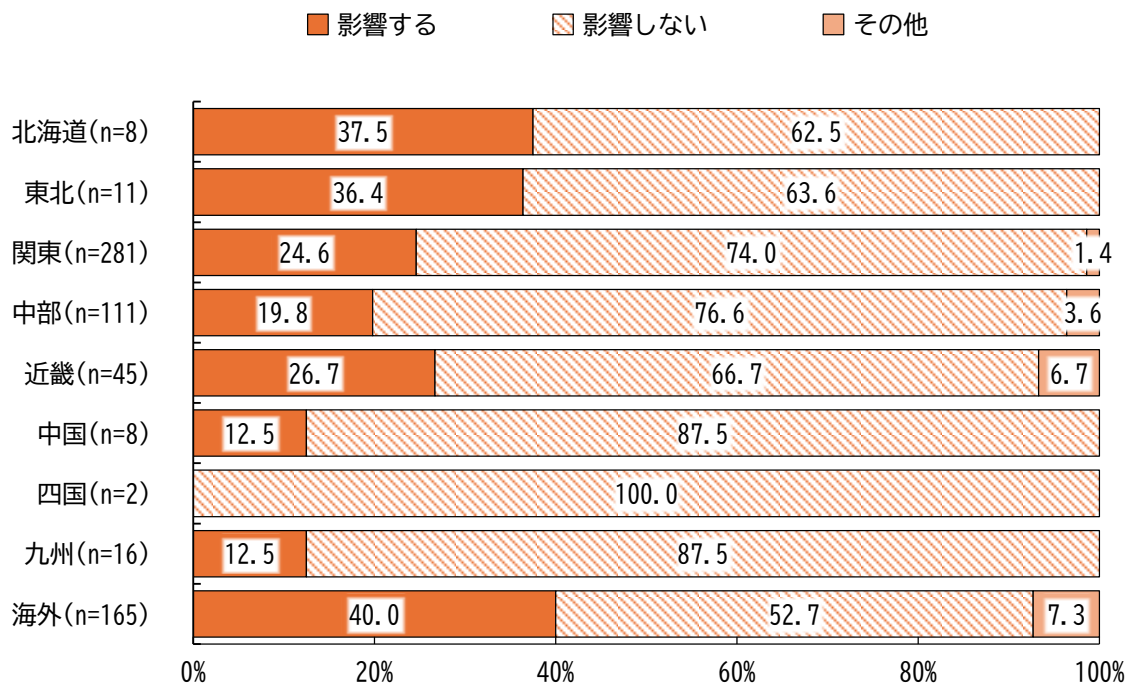
年代別でみると、70歳以上は「影響する」がほかの年代と比べて低くなっている。

【滞在目的別】



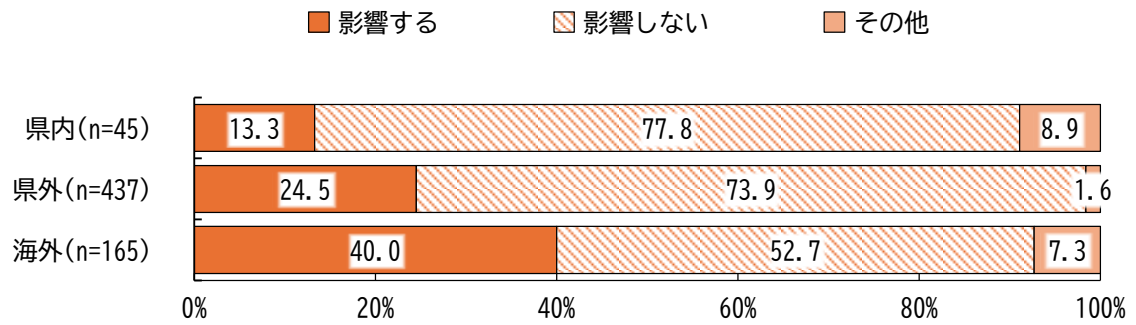
滞在目的別でみると、観光は「影響する」がビジネスと比べて高くなっている。

【居住地（9区分）】



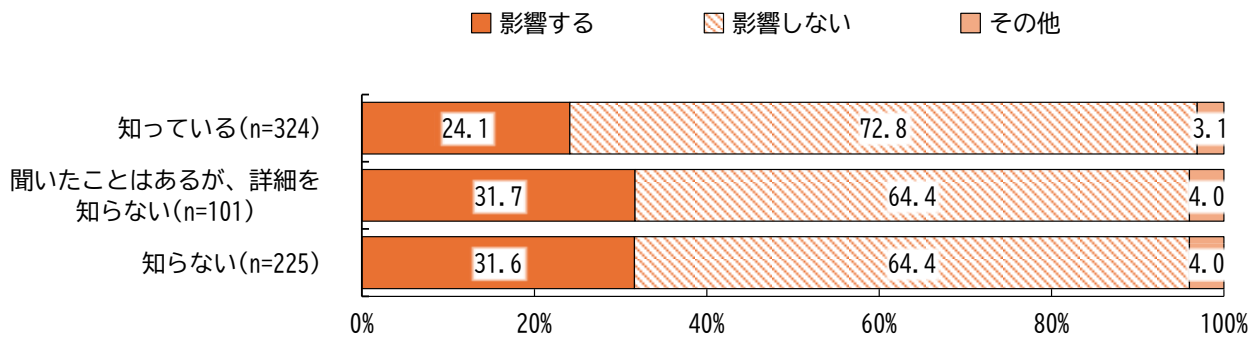
居住地方別でみると、距離が離れるほど「影響する」が高くなっている。

【居住地（3区分）】



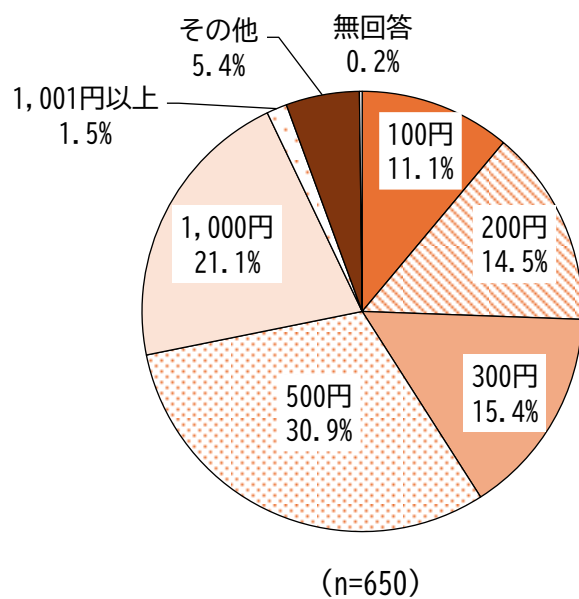
居住地別でみると、県内は「影響しない」が県外よりも高くなっている。

【認知度別】



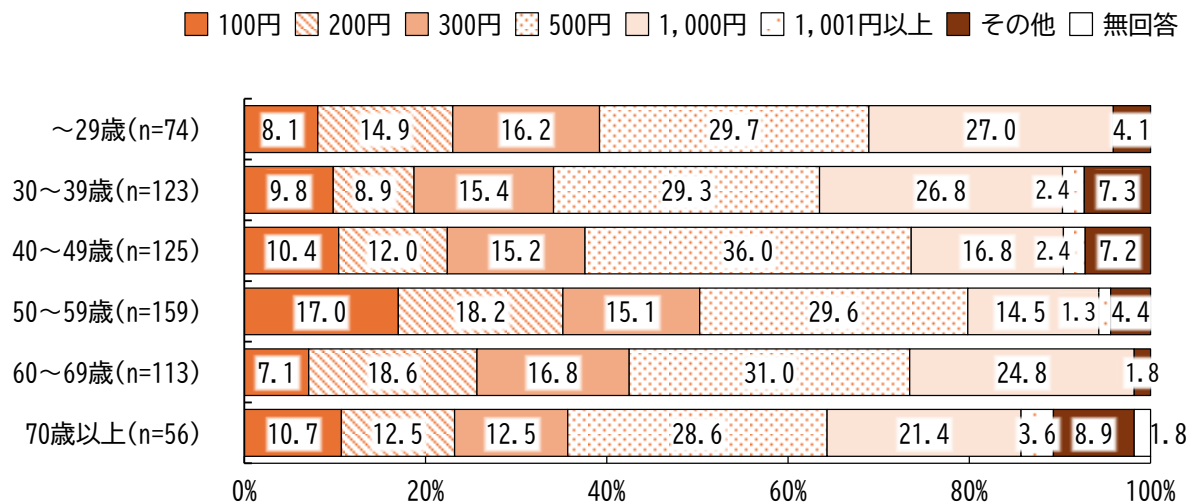
認知度別でみると、知っているは「影響しない」がほかの認知度と比べて高くなっている。

Q10 支払っても良いと思える1泊あたりの宿泊税の上限額を教えてください。



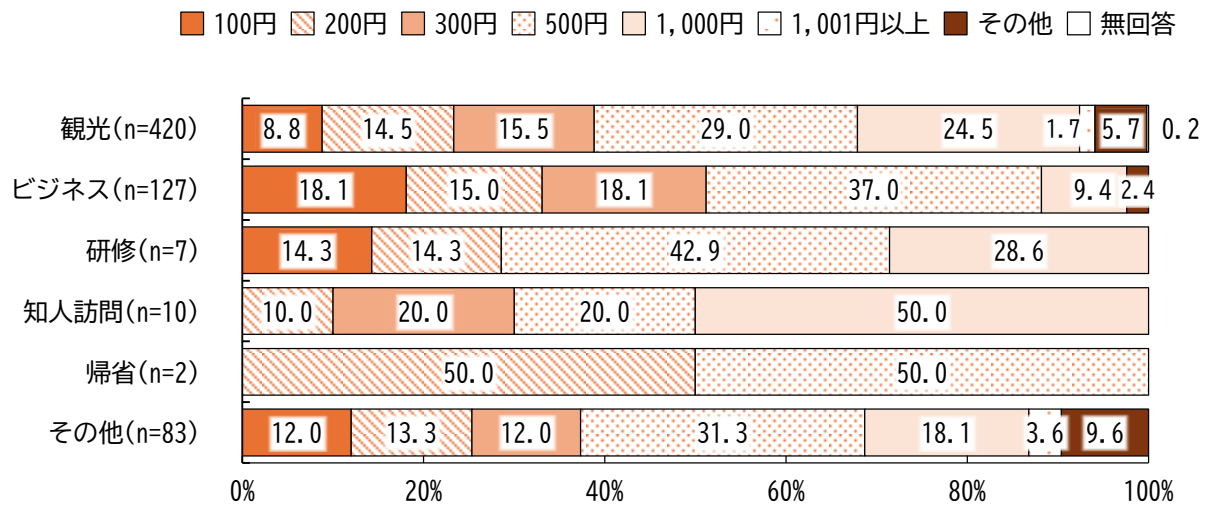
支払っても良い1泊あたりの宿泊税は、「500 円」が30.9%と最も高く、次いで「1,000 円」21.1%、「300 円」15.4%と続いている。

【年代別】



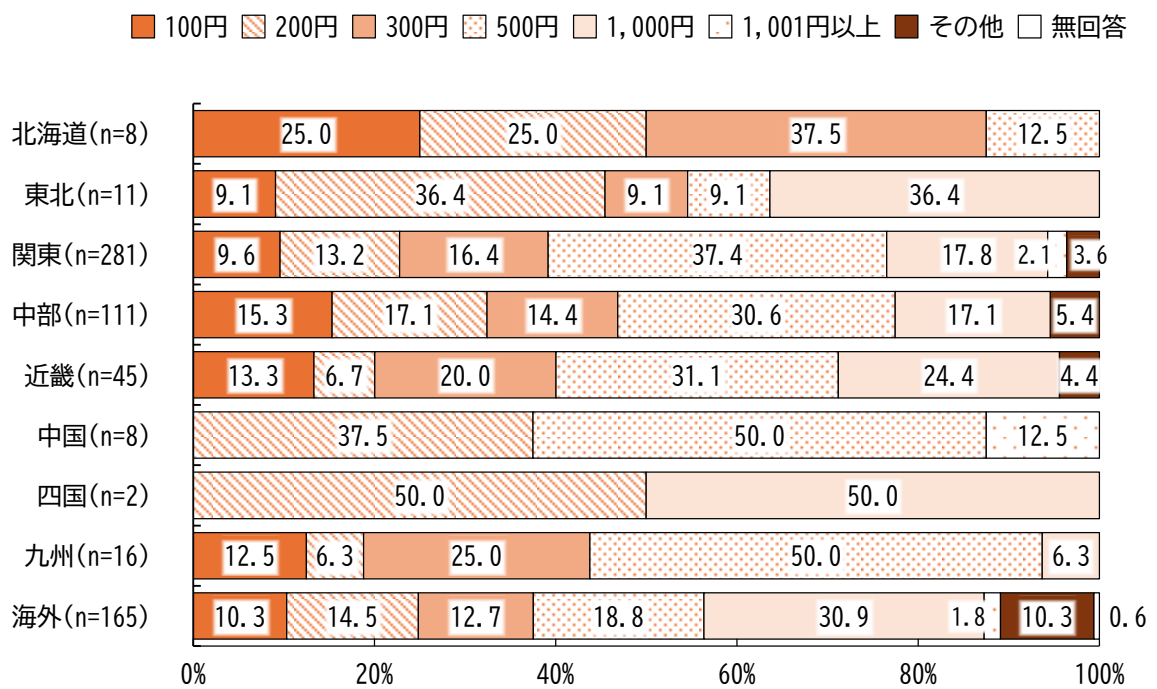
年代別でみると、50～59歳は「100円」がほかの年代と比べて高くなっている。

【滞在目的別】



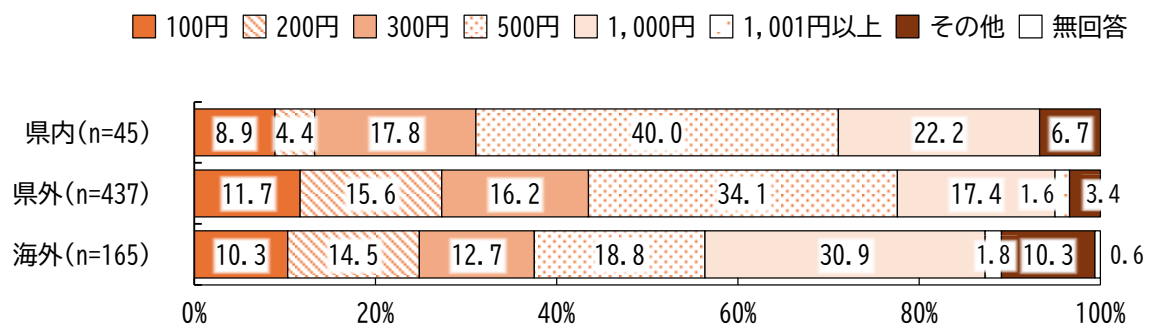
滞在目的別でみると、観光は「1,000円」がビジネスと比べて高くなっている。

【居住地（9区分）】



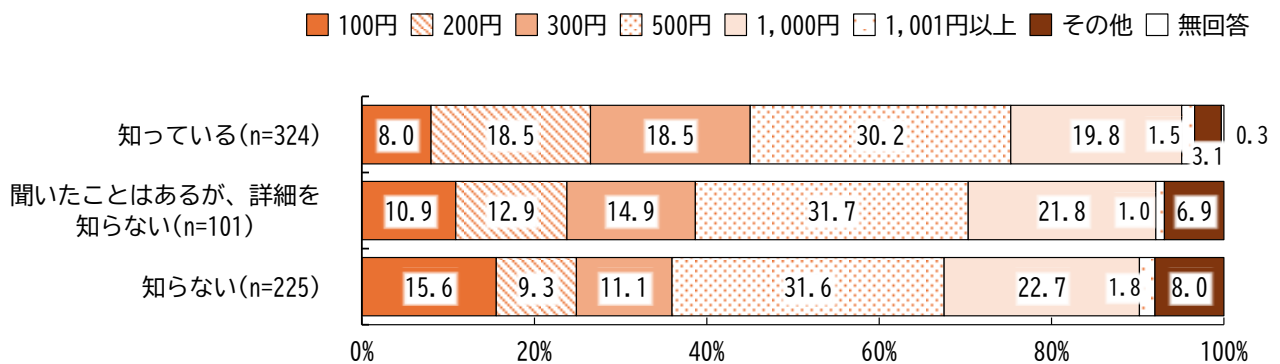
居住地方別でみると、距離が離れるほど「1,000円」が高くなっている。

【居住地（3区分）】



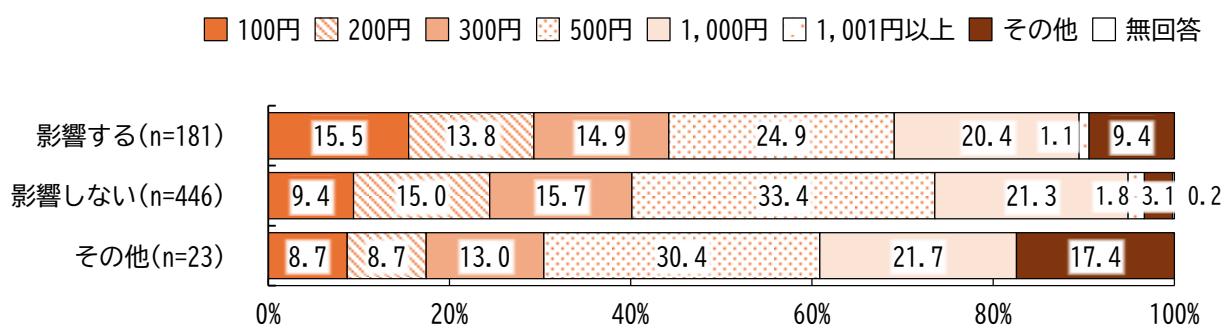
居住地別でみると、県外は「200円」が県内と比べて高くなっている。

【認知度別】



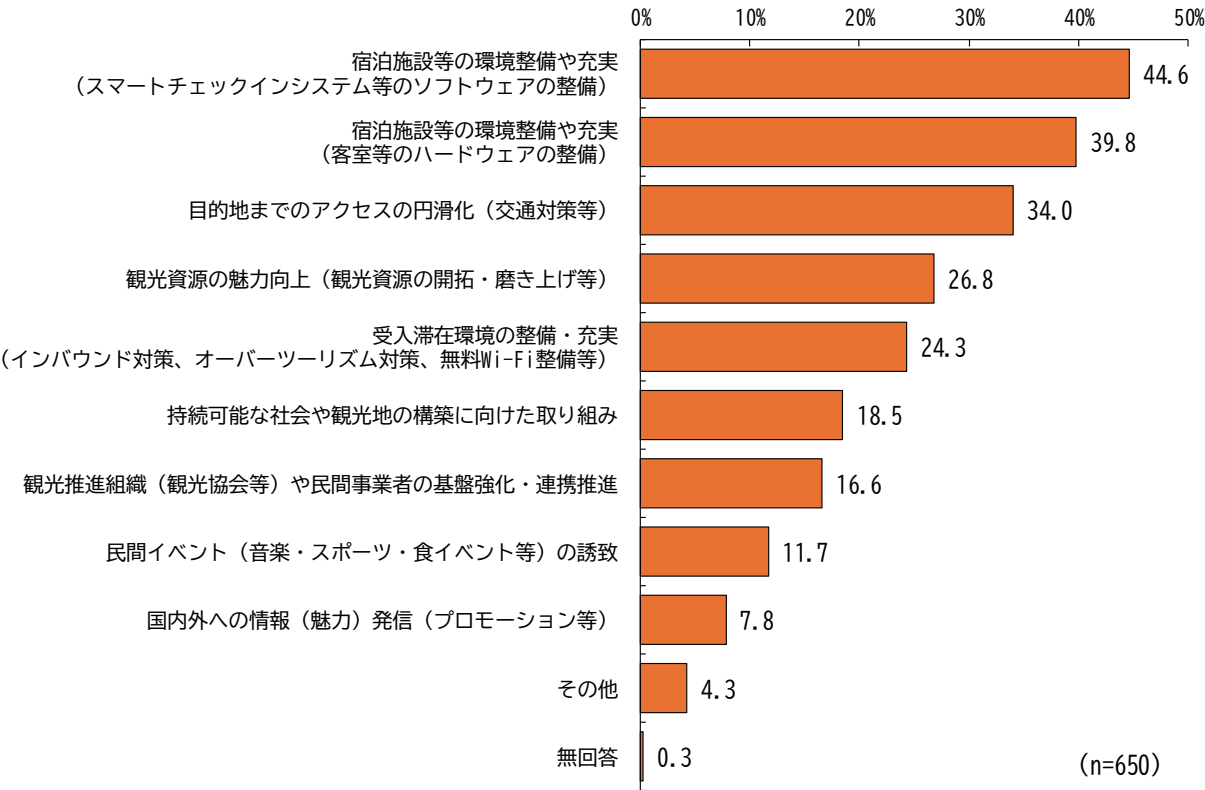
認知度別でみると、認知度が高くなるほど「100円」が低く、「200円」「300円」が高くなっている。

【影響度別】



影響度別でみると、影響しないは「500円」が影響すると比べて高くなっている。

Q11 宿泊税の使い道として望ましいものを選んでください。



宿泊税の望ましい使い道は、「宿泊施設等の環境整備や充実 (スマートチェックインシステム等のソフトウェアの整備)」が44.6%と最も高く、次いで「宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)」39.8%、「目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)」34.0%と続いている。

【年代別】

	調査数 (n)	宿泊施設等の環境整備や充実 (スマートチェックインシステム 等のソフトウェアの整備)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)	観光資源の 魅力向上 (観光資源の 開拓・磨き上げ等)	受入滞在環境の整備・充実 (インバウンド対策、オーバー ツーリズム対策、無料Wi-Fi 整備等)	持続可能な社会や観光地の構築に 向けた取り組み	観光推進組織 (観光協会等) や 民間事業者の基盤強化・連携推進	民間 イベント (音楽・スポーツ・ 食イベント等) の誘致	国内外への情報 (魅力) 発信 (プロモーション等)	その他	無 回 答
～29歳	74	48.6	39.2	45.9	24.3	14.9	16.2	8.1	10.8	2.7	6.8	-
30～39歳	123	49.6	43.9	37.4	18.7	24.4	16.3	14.6	21.1	12.2	2.4	0.8
40～49歳	125	41.6	38.4	27.2	31.2	28.8	19.2	16.0	11.2	9.6	4.8	-
50～59歳	159	48.4	35.8	29.6	27.7	27.7	18.9	17.6	6.3	6.9	5.0	-
60～69歳	113	38.9	45.1	34.5	26.5	19.5	15.9	21.2	8.8	8.0	1.8	-
70歳以上	56	35.7	35.7	37.5	35.7	26.8	28.6	21.4	14.3	3.6	7.1	1.8

年代別でみると、～29歳は「目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)」がほかの年代と比べて高くなっている。

【滞在目的別】

	調査数 (n)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)	観光資源の魅力向上(観光資源の 開拓・磨き上げ等)	受入滞在環境の整備・充実 (インバウンド対策、オーバー ツーリズム対策、無料Wi-Fi 整備等)	持続可能な社会や観光地の構築に 向けた取り組み	観光推進組織(観光協会等)や 民間事業者の基盤強化・連携推進	民間イベント(音楽・スポーツ・ 食イベント等)の誘致	国内外への情報(魅力)発信 (プロモーション等)	その他	無回答
観光	420	44.5	41.2	37.1	29.5	27.1	16.9	16.2	12.1	9.3	3.8	0.5
ビジネス	127	52.0	38.6	29.1	18.9	16.5	19.7	18.9	7.1	7.1	3.1	-
研修	7	28.6	42.9	42.9	28.6	28.6	42.9	14.3	-	14.3	-	-
知人訪問	10	40.0	-	20.0	10.0	20.0	30.0	20.0	10.0	-	10.0	-
帰省	2	-	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-
その他	83	36.1	39.8	26.5	25.3	21.7	21.7	14.5	18.1	2.4	8.4	-

滞在目的別でみると、観光は「観光資源の魅力向上(観光資源の開拓・磨き上げ等)」「受入滞在環境の整備・充実(インバウンド対策、オーバーツーリズム対策、無料Wi-Fi整備等)」がビジネスと比べて高くなっている。

【居住地(9区分)】

	調査数 (n)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)	観光資源の魅力向上(観光資源の 開拓・磨き上げ等)	受入滞在環境の整備・充実 (インバウンド対策、オーバー ツーリズム対策、無料Wi-Fi 整備等)	持続可能な社会や観光地の構築に 向けた取り組み	観光推進組織(観光協会等)や 民間事業者の基盤強化・連携推進	民間イベント(音楽・スポーツ・ 食イベント等)の誘致	国内外への情報(魅力)発信 (プロモーション等)	その他	無回答
北海道	8	12.5	25.0	37.5	25.0	12.5	37.5	37.5	12.5	-	-	-
東北	11	36.4	27.3	27.3	18.2	9.1	9.1	9.1	-	9.1	-	9.1
関東	281	44.1	40.2	32.4	23.1	23.8	16.7	14.2	10.3	4.6	5.3	0.4
中部	111	45.0	33.3	30.6	24.3	19.8	14.4	22.5	15.3	9.9	1.8	-
近畿	45	51.1	48.9	33.3	22.2	17.8	17.8	13.3	2.2	4.4	4.4	-
中国	8	50.0	37.5	50.0	-	12.5	37.5	25.0	-	12.5	-	-
四国	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-
九州	16	37.5	50.0	37.5	18.8	12.5	25.0	25.0	18.8	-	6.3	-
海外	165	46.7	42.4	38.8	38.2	33.9	22.4	15.2	14.5	13.9	4.8	-

居住地方別でみると、近畿は「宿泊施設等の環境整備や充実(スマートチェックインシステム等のソフトウェアの整備)」「宿泊施設等の環境整備や充実(客室等のハードウェアの整備)」がほかの地方と比べて高くなっている。

【居住地（3区分）】

	調査数 (n)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)	観光資源の魅力向上(観光資源の 開拓・磨き上げ等)	受入滞在環境の整備・充実 (インバウンド対策、オーバー ツーリズム対策、無料Wi-Fi 整備等)	持続可能な社会や観光地の構築に 向けた取り組み	観光推進組織(観光協会等)や 民間事業者の基盤強化・連携推進	民間イベント(音楽・スポーツ・ 食イベント等)の誘致	国内外への情報(魅力)発信 (プロモーション等)	その他	無回答
県内	45	42.2	33.3	33.3	22.2	26.7	11.1	24.4	26.7	13.3	2.2	-
県外	437	44.2	39.6	32.3	22.9	20.6	17.6	16.2	8.9	5.0	4.3	0.5
海外	165	46.7	42.4	38.8	38.2	33.9	22.4	15.2	14.5	13.9	4.8	-

居住地別でみると、県内は「観光推進組織（観光協会等）や民間事業者の基盤強化・連携推進」「民間イベント（音楽・スポーツ・食イベント等）の誘致」が県外と比べて高くなっている。

【認知度別】

	調査数 (n)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)	観光資源の魅力向上(観光資源の 開拓・磨き上げ等)	受入滞在環境の整備・充実 (インバウンド対策、オーバー ツーリズム対策、無料Wi-Fi 整備等)	持続可能な社会や観光地の構築に 向けた取り組み	観光推進組織(観光協会等)や 民間事業者の基盤強化・連携推進	民間イベント(音楽・スポーツ・ 食イベント等)の誘致	国内外への情報(魅力)発信 (プロモーション等)	その他	無回答
知っている	324	44.1	41.7	34.3	28.1	26.9	20.1	21.9	9.3	7.1	3.1	0.3
聞いたことはあるが、 詳細を知らない	101	42.6	38.6	42.6	39.6	32.7	22.8	14.9	16.8	10.9	4.0	-
知らない	225	46.2	37.8	29.8	19.1	16.9	14.2	9.8	12.9	7.6	6.2	0.4

認知度別でみると、聞いたことはあるが、詳細を知らないは「目的地までのアクセスの円滑化（交通対策等）」「観光資源の魅力向上（観光資源の開拓・磨き上げ等）」「受入滞在環境の整備・充実（インバウンド対策、オーバーツーリズム対策、無料Wi-Fi整備等）」がほかの認知度と比べて高くなっている。

【影響度別】

	調査数 (n)	宿泊施設等の環境整備や充実 (スマートチェックインシステム 等のソフトウェアの整備)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)	観光資源の魅力向上(観光資源の 開拓・磨き上げ等)	受入滞在環境の整備・充実 (インバウンド対策、オーバー ツーリズム対策、無料Wi-Fi 整備等)	持続可能な社会や観光地の構築に 向けた取り組み	観光推進組織(観光協会等)や 民間事業者の基盤強化・連携推進	民間イベント(音楽・スポーツ・ 食イベント等)の誘致	国内外への情報(魅力)発信 (プロモーション等)	その他	無回答
影響する	181	35.4	37.0	34.8	32.0	23.2	15.5	17.1	9.9	9.9	6.6	-
影響しない	446	49.1	40.6	33.9	24.7	24.2	19.5	17.0	11.9	7.2	2.2	0.4
その他	23	30.4	47.8	30.4	26.1	34.8	21.7	4.3	21.7	4.3	26.1	-

影響度別でみると、影響しないは「宿泊施設等の環境整備や充実（スマートチェックインシステム等のソフトウェアの整備）」が影響すると比べて高くなっている。

Q12 宿泊税に関するご意見等があれば、ご記入ください。

・国内旅行者

滞在目的	宿泊税に関するご意見
観光	適切に使ってもらえるのなら導入することはいいと思う。
観光	どこに反映するかが見えない。明確な使い方を示してほしい。
観光	観光を楽しくして、役に立てるなら導入には賛成。
観光	基本的に有効に使用していただければ賛成。
観光	観光の環境が良くなれば200円ぐらいなら問題ない。
観光	制度の導入をするのなら、各自治体個別ではなく、全国、国レベルでやってほしい。
観光	今の流れとしては、宿泊税は必要と考える。
観光	導入に関しては、世の中の流れとして仕方がないと考える。
観光	宿泊税導入には理解できると思う。あるところ、ないところだと多少考えることもある（全国统一なら仕方がない）。
観光	TV等で宿泊税のことを知っており、個人的には導入は仕方がないと思う。一番には京都市での宿泊税問題が強く頭にある。
観光	外国人と共生する環境づくりとしては導入賛成。
観光	使い道を正確にしてほしいことと、制度設計・計画をしっかりと立ててほしい。
観光	各自治体が大変苦労しているのは理解している。色々と旅行したが、宿泊税を導入しているところ、していないところまちまちと思う。入湯税もあるので、500円ぐらいが妥当ではないか。
観光	何でも値上がり値上がりを感じる昨今、導入の理解もあるが、利用する側としては支払いは最小限にしてほしい。
観光	日本人（こちらが安い）と訪日外国人（こちらが高い）とは宿泊税は分けて差別化を希望。
観光	導入の場合、猶予期間（1年ぐらい）をおいて推進してほしい。
観光	各地で問題定義されているのは理解しているので、基本は導入賛成。但し、あまり高いと困る。
観光	昨今の論評からして導入には仕方がないが、使い道ははっきり示してもらいたい。
観光	宿泊税という別の形にするよりも、ホテル代に項目なしに入れ込む。
観光	導入には賛成するが、はっきりした使用目的内容を明示してほしい。
観光	宿泊者が快適に過ごせるように使ってください。
観光	ふるさと納税のような選択肢がある考え。何に使うか選択肢がある。
観光	個人的には、民間でできることは民間で。民間できないところは自治体で。Q11の宿泊税の使い道として望ましいものについても、自治体がやるべきところに○を付けた。

滞在目的	宿泊税に関するご意見
観光	基本的には導入は時の流れで仕方がない考える。
観光	どちらかというに関心は薄いですが、導入するのなら200円ぐらいが程度ではないか。
観光	宿泊税という枠にははめずに、ホテル代の中に自然に入れる方がいいのでは。
観光	200円程度なら導入可。
観光	ご高齢のお母様のように外国人が増えて嫌な（集団での圧など）人もいる。インバウンドばかり求めるのはいかなものか。
観光	時代なので仕方がない。
観光	ホテル代の総額として最初から表示してほしい。
観光	京都のバス料金のように日本人は無料など、外国人の金額と日本人の金額を分けてほしい。
観光	結局は満足して帰るので問題はないと思う。
観光	導入した方が良い。
観光	小田急のことだが、ロマンスカーを増便してほしい。
観光	仕方がない。
観光	検討しているなら早い方が良い。
観光	飲食の充実。
観光	財源不足ならやむを得ない。
観光	あっても良いと思います。地震など緊急の際、アナウンスなどをしてほしい。
観光	県外の方からたくさんとった方がいいのでは。
観光	国籍によって差（インバウンド高く）を付けてほしい。
観光	ある程度はやむを得ないと思う。
観光	知らなかったです。
観光	税は5%以内にしてほしい。使い道を明確にしてほしい。
観光	しっかり使ってほしいです。
観光	明確な使い道であってほしい。
観光	使い方をはっきりしてほしい。
観光	外国人からたくさんとってほしい。汚すので、それできれいに掃除をしてほしい。
観光	日本の方と外国の方の税を分けてほしい。外国の方をちょっと高めで。
観光	インバウンド多めに払ってもらおう。
観光	有効に使っていただければOK。
観光	地元の方が暮らしやすいように使ってほしい。
観光	観光地がきれいになればうれしいです。
観光	宿泊先で使ってほしい。
観光	宿泊税のカード決済ができなくて結構面倒なので、一緒にできると良い。

滞在目的	宿泊税に関するご意見
観光	宿泊税って、子どもも取るのでしょうか？もし取るのでしたら、やめてもらいたい。
観光	ないならない方がいいです。
ビジネス	持続的に続けていくものが不透明に感じる。
ビジネス	どうしても現地で支払わないといけないのか。カード払いの際に払えないか。
ビジネス	主に食事とかプラスに使ってもらえれば。
ビジネス	透明であればOK。
ビジネス	透明性が担保されれば良いです。
ビジネス	税金でにぎやかにできれば。
ビジネス	あまり高くしないで。
ビジネス	できればない方がいいけれども…消費税もとっているの。
ビジネス	別で払うのが気になる（込みなら気にならない）。わかりやすければよいが、知らない人もいます。含まれているとOKだが、宿泊費＋税を払うのが…。
ビジネス	あまり実感がありません。
ビジネス	あっても良い。
ビジネス	しっかり使われるべきところに使ってほしい。
知人訪問	市民の人に使ってもらえれば良い。それに伴って観光客が増えれば。
その他	日本人は安めに。外国人は多めに。
その他	地域の観光に関することに使ってもらえればいいのではないかな。
その他	各自治体で税をとるのは訪日外国人が多いので理解できる。但し、京都市のケースなどを見ると、ホテル代等が値上がりし、私達はなかなか泊まれなくなった。
その他	世の中の流れとして導入賛成ではあるが、なるべく低く。
その他	時代の流れで仕方がないと思うが、あまり高い額は望まない。100円程度。
その他	導入には反対ではないが、あまり高いのは困るかも。入湯税も別で200円程度。
その他	熱海、伊東はわかるが、税はとらない方がいいと思う。富士五湖、箱根の通過場所（市は通過点）なのでやめてもらいたい。
その他	いい感じに使ってくれれば、よくなるのであれば払います。
その他	ない方がよいですけれど。
その他	リーズナブルな内容であればうれしいです。
その他	日本人と外国人の差を付けてほしい。宿泊施設等の環境整備や充実に活かしてくれれば。
その他	住民と観光客を分けた使い方をしてほしい。また、富士山の美化に力を入れて美しいものを守ってほしい。
その他	良い使い道にしていきたい。

滞在目的	宿泊税に関するご意見
その他	ない方がよい。
その他	外国人はたくさんあってほしい。
その他	ホテルには宿泊税は入らないですよね。どうでしょうか？
その他	増税反対

・インバウンド

滞在目的	宿泊税に関するご意見
観光	合理性のある範囲ならOK。
観光	インドでも認識されていることであり、実施は観光環境に役立てばいい。
観光	世界の各都市と比較して許容できる税と考える。
観光	正直、何に使われるのか不明です。明らかな計画、内容を示すこと。
観光	カリフォルニア州にはこの種の税はないが、訪日旅行者としては、日本では必要性を感じる。
観光	インバウンドの者としては、観光環境が良くなれば税は賛成。
観光	今までイタリア等、海外へ行き、宿泊税は理解している。海外は高い。導入には賛成だが、個人的には200円程度にしてほしい。
観光	この税で日本各地域が観光環境に取り組むことは大事。私達、訪日もスムーズに旅行できることに努力していただければうれしい。
観光	日本は色々なものに税がかかっているので、これ以上の一般市民の負担増は考えるべき。個人の負担は抑えるべき。住民に還元することが先だと思う。
観光	宿泊税は800円以下。Wi-Fi等の設備の改善。
観光	もらった分はきちんと観光客に還元してください。
観光	バスを増やしてほしい。
観光	他の都市がすでに都市税（宿泊税など）を導入しているのであれば、御殿場市も同様に観光税（宿泊税など）を導入するのが公平というものだろう。
観光	御殿場アウトレットには何度も行きました。もっと便利な交通手段と、美しい景色を楽しみたいです。
観光	税金なし・非課税。
観光	私は日本の責任感についてよく知っています。だからこそ、私たちはその税金が必ず有効に使われると確信しているのです。
観光	オーバーツーリズムを抑える設備整備するための宿泊税を徴収することに、御殿場市は値する。
その他	詳しい内容は不明ながら、外国人が日本に来てスムーズに観光できるためなら払ってもいい。
その他	世界中の流れからすると、日本でも導入はあり。導入する地域としない地域では、観光環境に差が出ないか？
その他	子どもの教育。

第4章 宿泊施設への調査

1. 調査の概要

(1) 調査対象

宿泊施設 98施設

(2) 回答方法

郵送配布、インターネット・郵送併用回収

(3) 実施時期

令和8年6月17日～令和8年7月5日

(4) 有効回収数／有効回収率

56件／57.1%

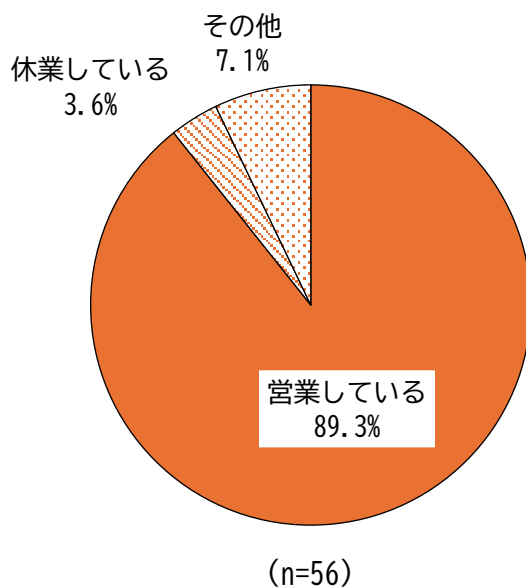
(5) 主な調査項目

- ・宿泊事業に関する基本情報について
- ・宿泊税制度に関するご意向について
- ・宿泊税制度に伴う準備や対応について

2. 集計結果

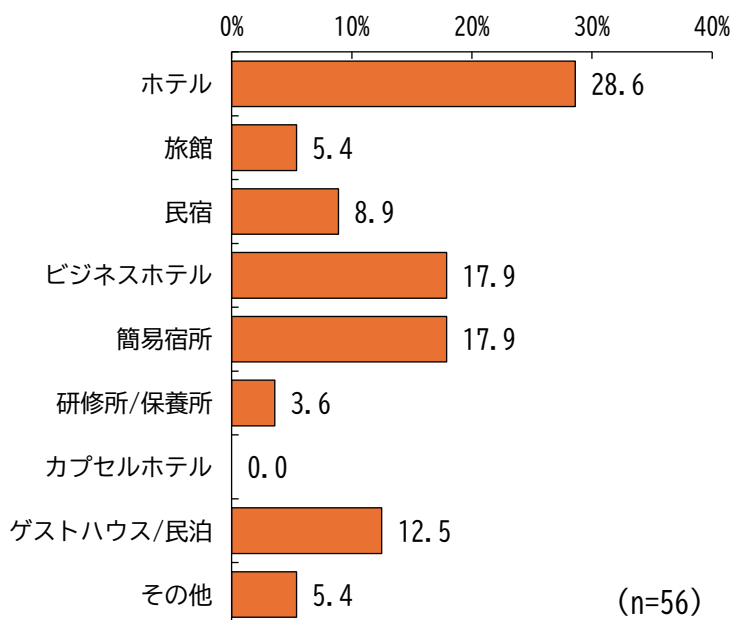
(1) 宿泊事業に関する基本情報について

Q 3 宿泊事業の営業状況について、次の中から該当するものを選択してください。



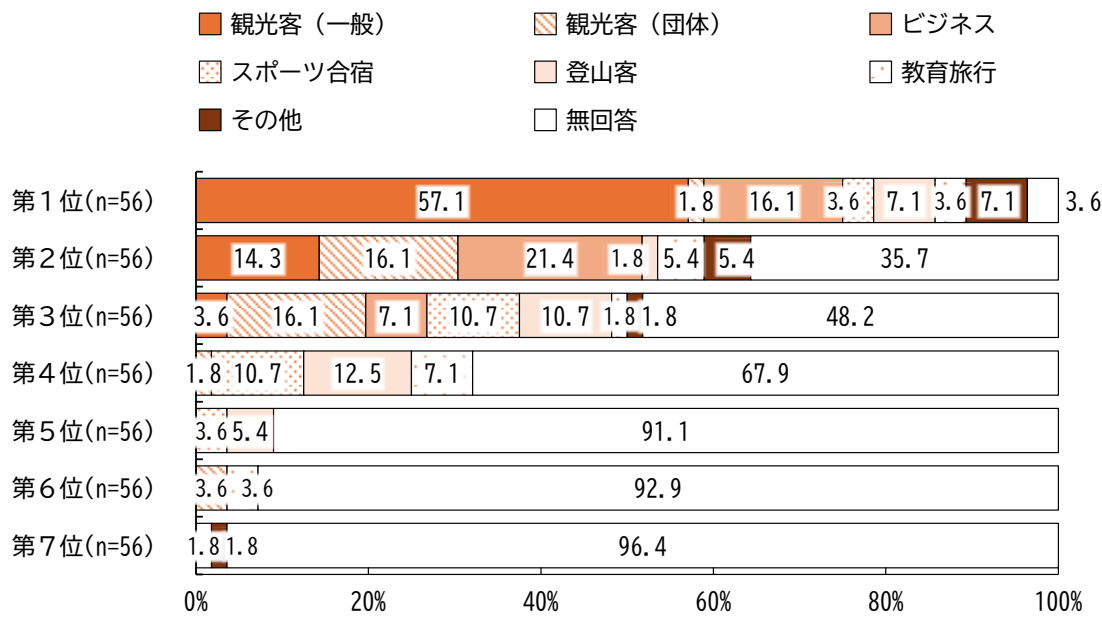
宿泊事業の営業状況は、「営業している」が89.3%と最も高く、次いで「その他」7.1%、「休業している」3.6%となっている。

Q 4 宿泊業としての営業形態（運営タイプ）について、次の中から該当するものを選択してください。



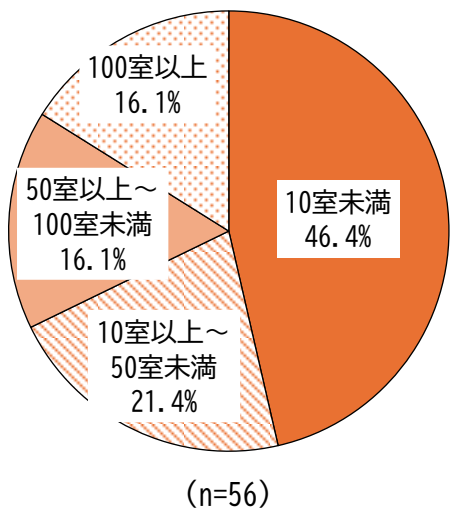
営業形態は、「ホテル」が28.6%と最も高く、次いで「ビジネスホテル」「簡易宿所」17.9%と続いている。

Q 5 貴宿泊施設の利用者属性（顧客タイプ）について、多いものから順番に番号をつけてください。分かる範囲で結構です。



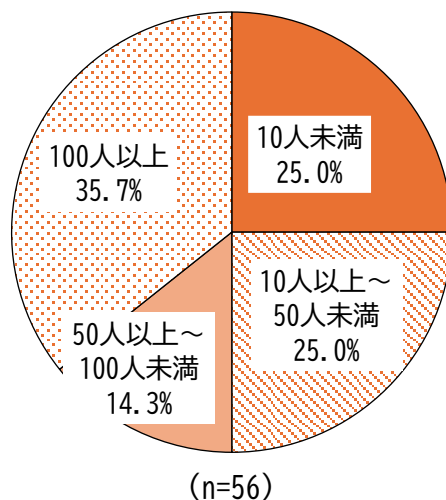
第1位は「観光客（一般）」、第2位は「ビジネス」、第3位は「観光客（団体）」が高くなっている。

Q 6 貴宿泊施設の客室数について、次の中から該当するものを選択してください。



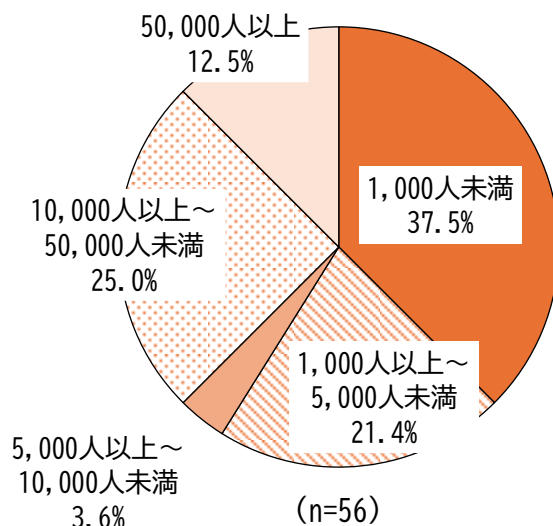
客室数は、「10室未満」が46.4%と最も高く、次いで「10室以上～50室未満」21.4%、「50室以上～100室未満」「100室以上」16.1%となっている。

Q 7 貴宿泊施設全体の収容人数について、次の中から該当するものを選択してください。



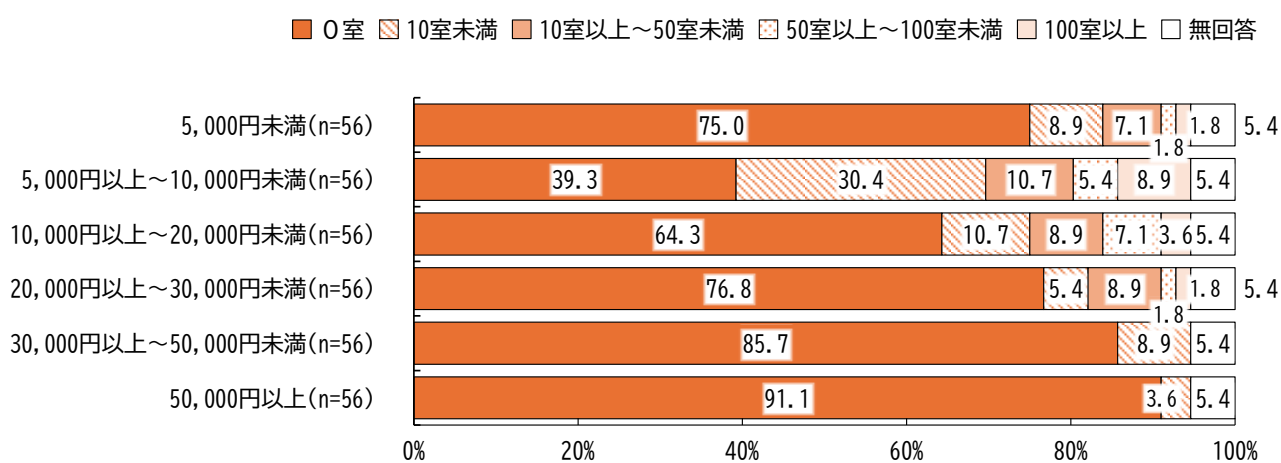
収容人数は、「100人以上」が35.7%と最も高く、次いで「10人未満」「10人以上～50人未満」25.0%、「50人以上～100人未満」14.3%となっている。

Q 8 1年間を通じた平均的な宿泊客数について、次の中から該当するものを選択してください。
(年間総宿泊人数)



年間総宿泊人数は、「1,000人未満」が37.5%と最も高く、次いで「10,000人以上～50,000人未満」25.0%、「1,000人以上～5,000人未満」21.4%と続いている。

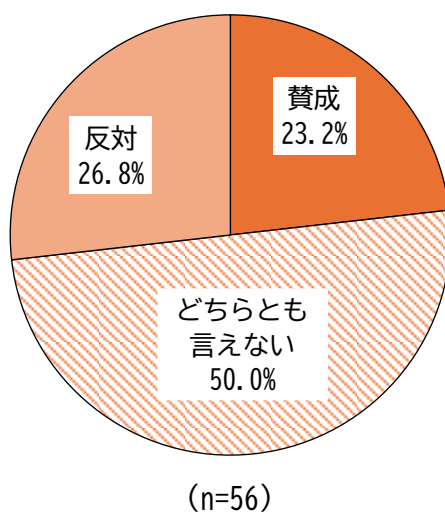
Q 9 貴宿泊施設の平均的な一人あたりの宿泊料金（食事代、入湯税、消費税、施設等利用サービス料は含みません）について、次に掲げる区分ごとに客室数を記入してください。



5,000円以上～10,000円未満の客室が多く、特に「10室未満」が高くなっている。

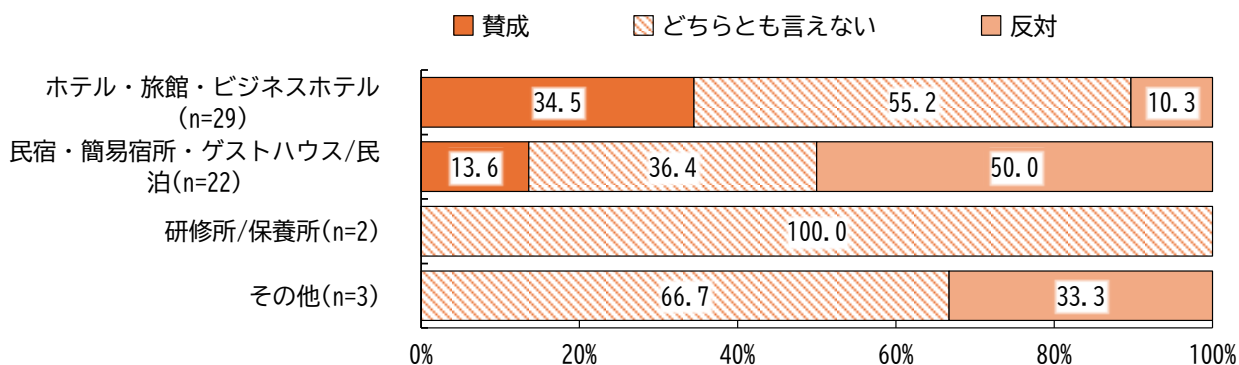
(2) 宿泊税制度に関するご意向について

Q10 新たな観光振興施策の財源として宿泊税を導入することへの賛否について、次の中から該当するものを選択してください。



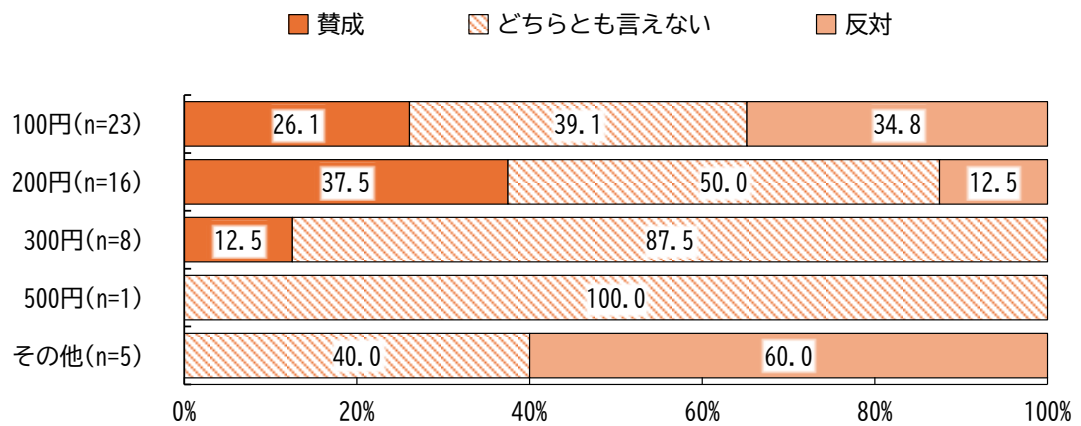
宿泊税の導入賛否は、「どちらとも言えない」が50.0%と最も高く、次いで「反対」26.8%、「賛成」23.2%となっている。

【営業形態別】



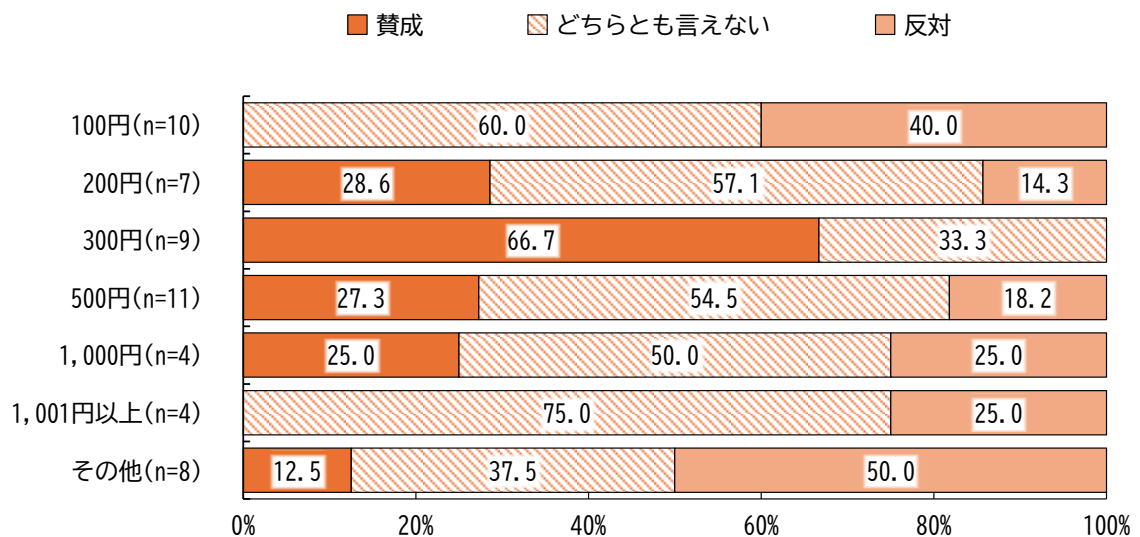
営業形態別でみると、民宿・簡易宿所・ゲストハウス/民泊は「反対」がホテル・旅館・ビジネスホテルと比べて高くなっている。

【妥当額別】



妥当額別でみると、金額が上がるほど「どちらとも言えない」が高くなっている。

【影響額別】



影響額別でみると、300円は「賛成」がほかの金額と比べて高くなっている。

●賛否の理由

・賛成

営業形態	理由
ホテル	御殿場市に観光に来たお客様をがっかりさせないこと。インバウンドの増加によって地元住民の方々に観光業が嫌われないこと。この先、近未来の観光に対して正しい在り方を研究するためにも自立した税の財源が必要となると考えます。
ホテル	現在、タクシーがつかまらない状況が慢性化しています。市内の交通の便を良くしていただきたい。
ホテル	観光インフラの整備：観光客の増加に伴う混雑対策や環境維持、多言語対応などの財源になる。 受益者負担の公平性：住民の税金に頼るだけでなく、観光の恩恵を受ける旅行者にも負担をしていただくという観点から。
ホテル	導入時の現場負担やシステムの改修、ゲストへの理解促進などを考慮すると安易に賛成とは言えないが、宿泊税が事業者へ適切に還元されることや御殿場全体がさらに魅力的なエリアになるような取り組みに使用されるのであれば賛成。
民宿	富士山を有する御殿場市の観光振興に重要な役割を果たすと思います。
ビジネスホテル	観光振興施策の財源として市全体で観光に積極的に取り組むことにより、ホテルだけでなくまち全体の魅力UPにつながるから。また、その税収を道路や公共交通、ごみ処理、観光案内などの整備等に充てることで環境やサービスの質を向上させることができる。他、自治体にとっては観光需要に連動した安定的な財源確保にもなるため、持続可能な観光地運営につながると考えられる。
ビジネスホテル	貴重な財源になるため。
簡易宿所	入出国時の税金と同様、移動するすべての人から受け取れるもので、観光に資する税源として有効活用できる税収であるから。
簡易宿所	御殿場市が観光地として国内外の観光客を受け入れるための財源確保の手段としては賛成。そしてオーバーツーリズムや交通機関が充実すれば良いと思います。その結果、市内や近隣のホテルも安定した運営に繋がれば良いと思います。

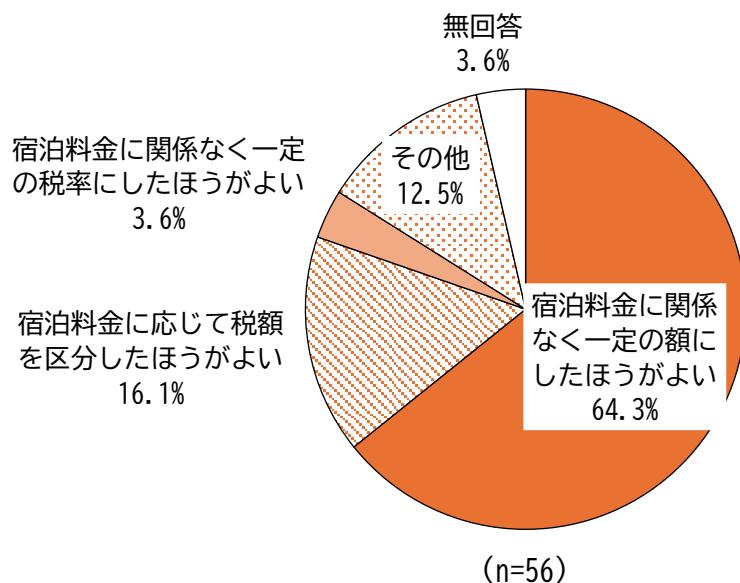
・どちらとも言えない

営業形態	理由
ホテル	宿泊税とは何かがわからないから。
ホテル	観光振興への期待がある一方で、旅行者のコスト負担増による影響も懸念され、賛否の判断が難しいため。
ホテル	財源を観光推進のために利用してもらえるのは魅力的だが、ホテルシステムの改修作業で大きな費用と労力がかかるため。
ホテル	お客様、御殿場市、相互関係。
ホテル	特にお客様への負担は変える予定がないため。
ホテル	お客様の反応がわからないので。
民宿	宿泊者にうまく理解してもらえるか心配。
民宿	定額制が賛成すること。
ビジネスホテル	今後の観光振興の財源として必要かと思いますが、現在、私共にお越しになられるお客様は仕事の方が多く、決して御殿場は観光地ではなく、近隣の市町村に現状頼っていると思われます。その近隣の市町村はまだ宿泊税の導入を検討している段階です。御殿場市としては宿泊につながる政策を先にすべきだと思います。御殿場は依然近隣への通過点です。富士登山も毎年他の登山口に比べて少なく、市税ではないものの、入山料を徴収しており、一般の方からしたら税金が多すぎると感じています。
ビジネスホテル	インバウンドのお客様も多く徴収が難しい。
ビジネスホテル	お客様の立場、御殿場の立場、相互関係を考えると。
ビジネスホテル	必要な財源であれば導入すべきかと思うため。
簡易宿所	年間を通じて営業していなく、2ヶ月だけになっているため、御殿場口は登山客が他の登山口より少ないので財源の足しになるか不明。
簡易宿所	どちらともいえない。全体的に高くなるのに違和感がある。
研修所/保養所	会社の福利厚生施設なので、お客様から宿泊税をいただくのは少し違うかと思います。
研修所/保養所	「観光振興施策の財源」とあるが、御殿場市の方向性が見えてこないのです。
ゲストハウス /民泊	観光施策の内容による。現在の宿泊者はアウトレットの顧客で観光施策は必要無いため。

・反対

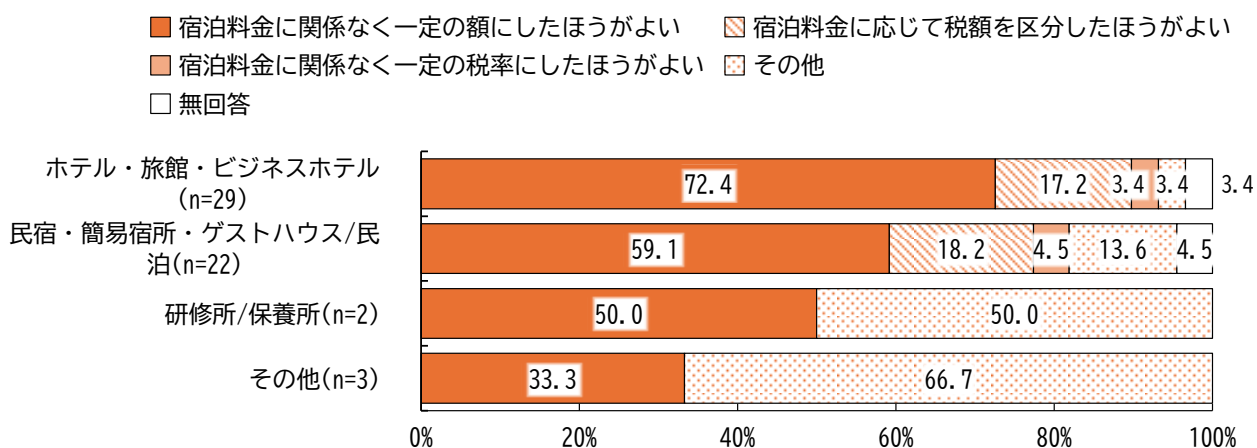
営業形態	理由
旅館	当方のような旅館で料金も安い宿での宿泊税は、客数の減少につながりかねないと考えます。非常に負担を感じるため反対します。
旅館	粗利益が減少してしまうため。
旅館	近隣市町村がまだ導入していないから。演習場があり演習騒音があり宿泊客から苦情がありました。乗馬大会では馬も驚くかもしれない。
民宿	不景気で悪い中でお客様の負担が増加して、旅行者減になる。
簡易宿所	当施設では観光目的で利用する方は少ないので。
簡易宿所	宿泊税の目的が明確になっておらず、理解ができていないため。
簡易宿所	客への負担がかかるだけで、集めたお金の用途が不透明かつ、無駄な用途にしか使われないため。
簡易宿所	お客様に負担がかかるだけのイメージで、施設側に余りメリットがないと思う。
簡易宿所	事務手続きが煩雑になり他の仕事に影響が出る。
ゲストハウス /民泊	民泊なので税金は必要ないので気軽に日本の家庭の味を楽しんでもらいたい。
ゲストハウス /民泊	御殿場市への来訪機会が減る。 富士登山客は入山税を導入前は多く訪れたが、導入後はほぼゼロになった。
ゲストハウス /民泊	宿泊税が加算されることで、価格重視の旅行者が他地域へ流れる可能性があるため。
ゲストハウス /民泊	コレをすれば観光客が増える見込みが客観的な調査などに基づいてあるから、コレくらいの予算が必要であるため税を取る、ということであれば賛成だが何をするかも決まっていない中で、お金だけ集めることは百害あって一利無し。何をするため必要かの具体策を示さない限り反対。
ゲストハウス /民泊	日本人からも宿泊税をとるのは反対。海外の観光客に対して適用すれば良い。

Q11 宿泊税を導入する場合、課税額について最も妥当だと感じる設定方法を次の中から選択してください。



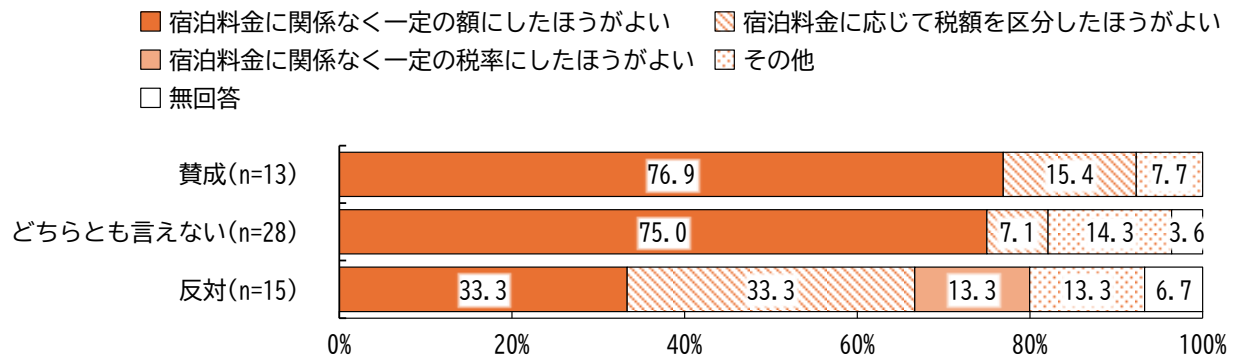
課税額の最も妥当だと感じる設定方法は、「宿泊料金に関係なく一定の額にしたほうがよい」が64.3%と最も高く、次いで「宿泊料金に応じて税額を区分したほうがよい」16.1%、「その他」12.5%、「宿泊料金に関係なく一定の税率にしたほうがよい」3.6%となっている。

【営業形態別】



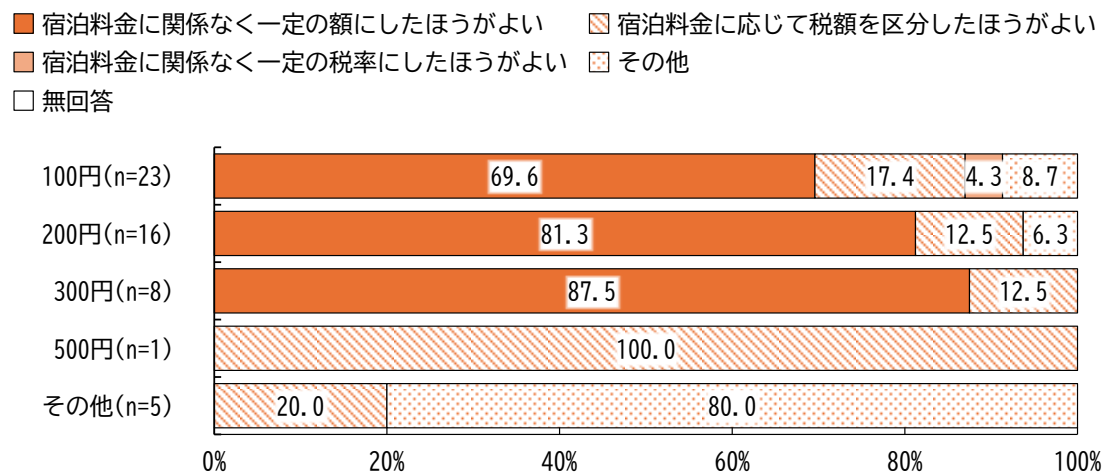
営業形態別でみると、ホテル・旅館・ビジネスホテルは「宿泊料金に関係なく一定の額にしたほうがよい」が民宿・簡易宿所・ゲストハウス/民泊と比べて高くなっている。

【導入賛否別】



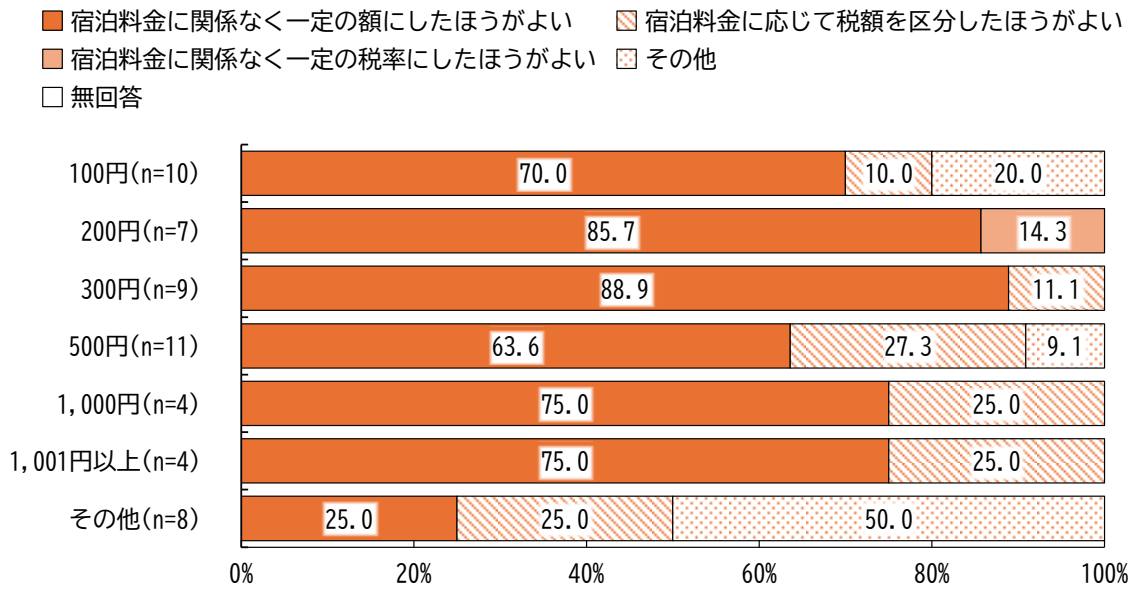
導入賛否別でみると、反対は「宿泊料金に応じて税額を区分したほうがよい」「宿泊料金に関係なく一定の税率にしたほうがよい」がほかと比べて高くなっている。

【妥当額別】



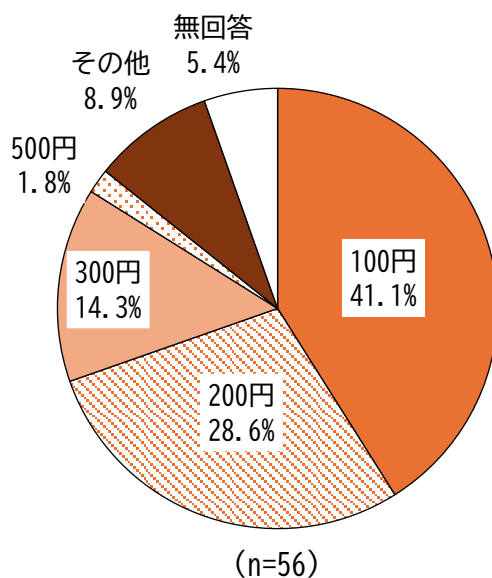
妥当額別でみると、金額が上がるほど「宿泊料金に関係なく一定の額にしたほうがよい」が高くなる傾向にある。

【影響額別】



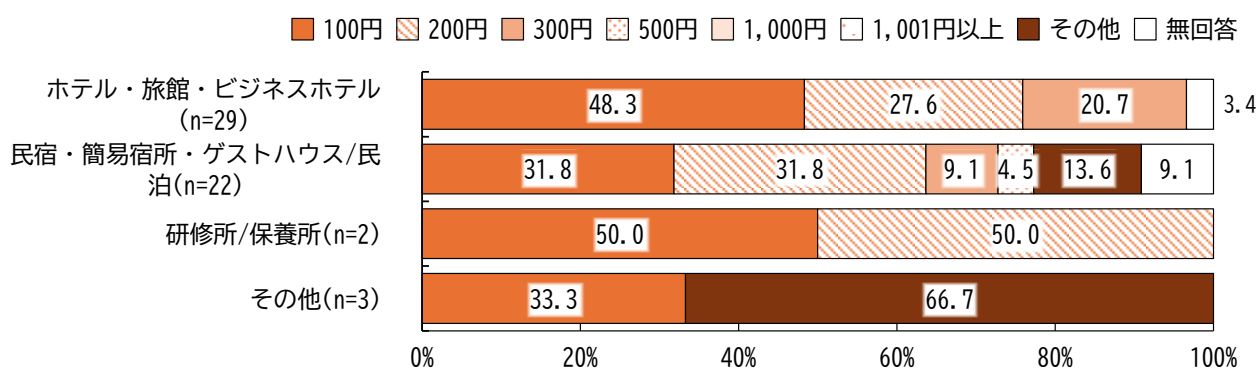
影響額別でみると、200円は「宿泊料金に関係なく一定の税率にしたほうがよい」がほかの金額と比べて高くなっている。

Q12 宿泊税を導入する場合、宿泊者が負担する宿泊税について、最も妥当だと感じる金額を次の中から選択してください。



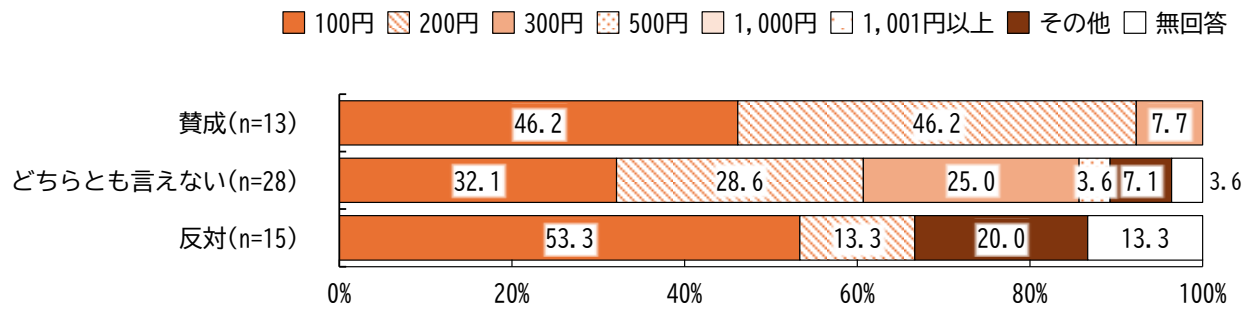
宿泊税の妥当額は、「100 円」が41.1%と最も高く、次いで「200 円」28.6%、「300 円」14.3%と続いている。

【営業形態別】



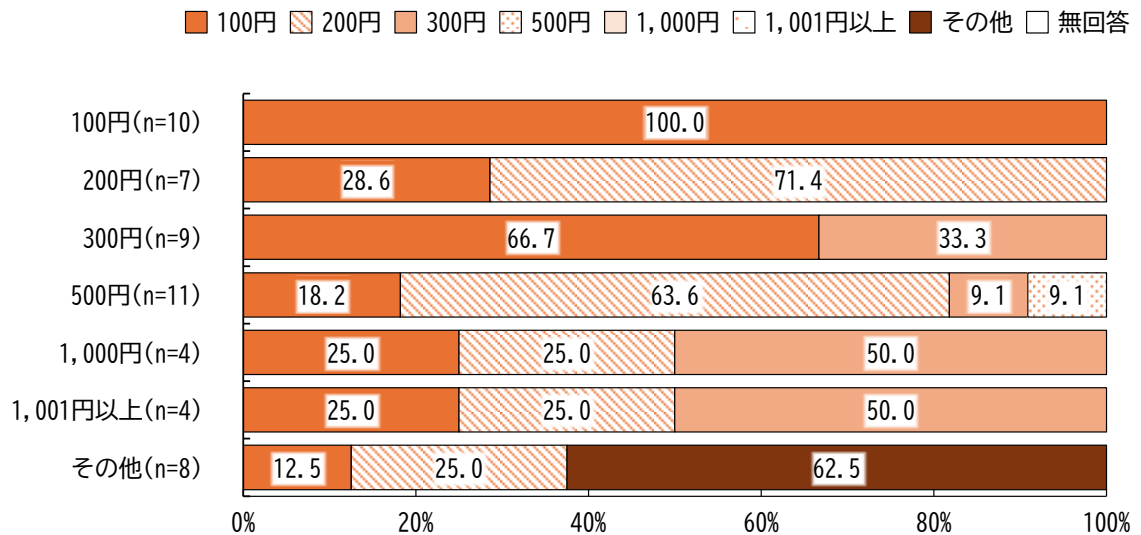
営業形態別でみると、ホテル・旅館・ビジネスホテルは「100円」「300円」が民宿・簡易宿所・ゲストハウス/民泊と比べて高くなっている。

【導入賛否別】



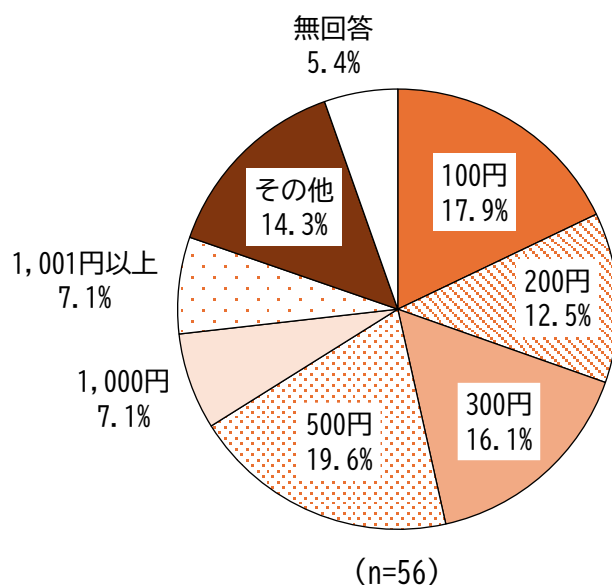
導入賛否別でみると、賛成は「200円」、反対は「100円」が高くなっている。

【影響額別】



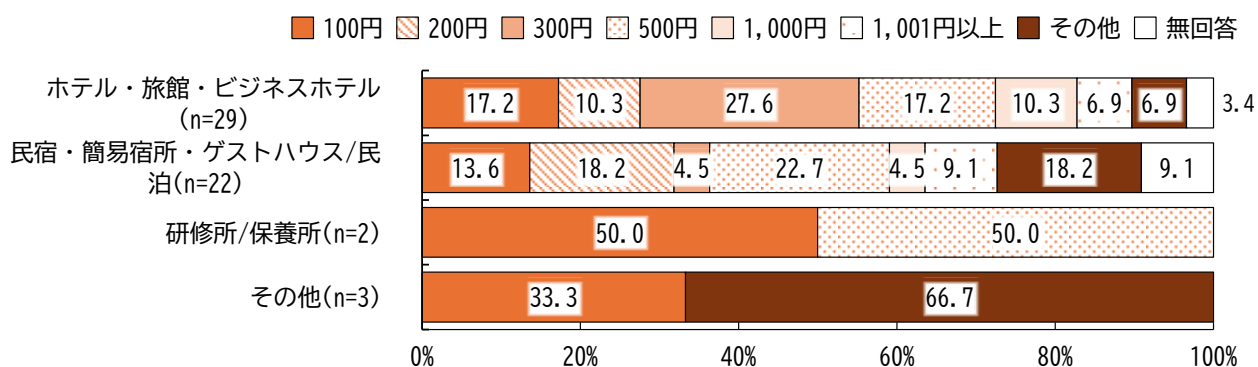
影響額別でみると、200円・500円は「200円」がほかの金額と比べて高くなっている。

Q13 宿泊客数に影響する宿泊税の金額について、最も当てはまる金額を次の中から選択してください。



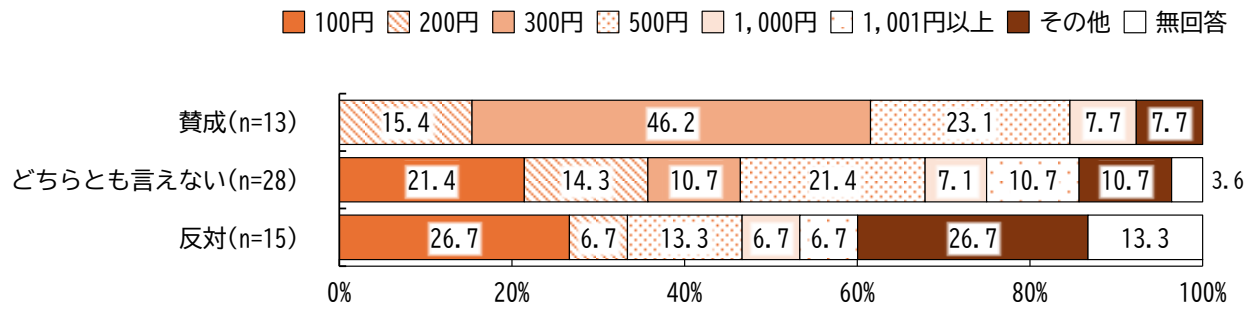
影響額は、「500 円」が19.6%と最も高く、次いで「100 円」17.9%、「300 円」16.1%と続いている。

【営業形態別】



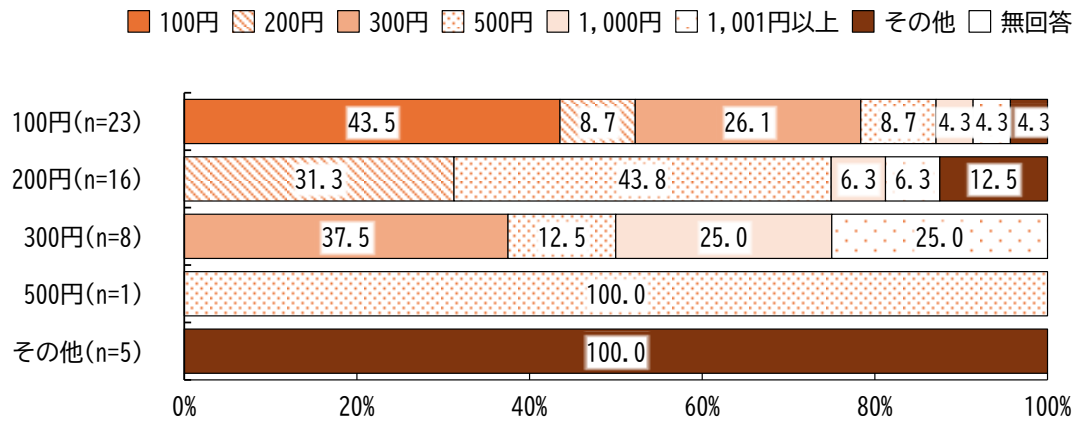
営業形態別でみると、ホテル・旅館・ビジネスホテルは「300円」、民宿・簡易宿所・ゲストハウス/民泊は「500円」が高くなっている。

【導入賛否別】



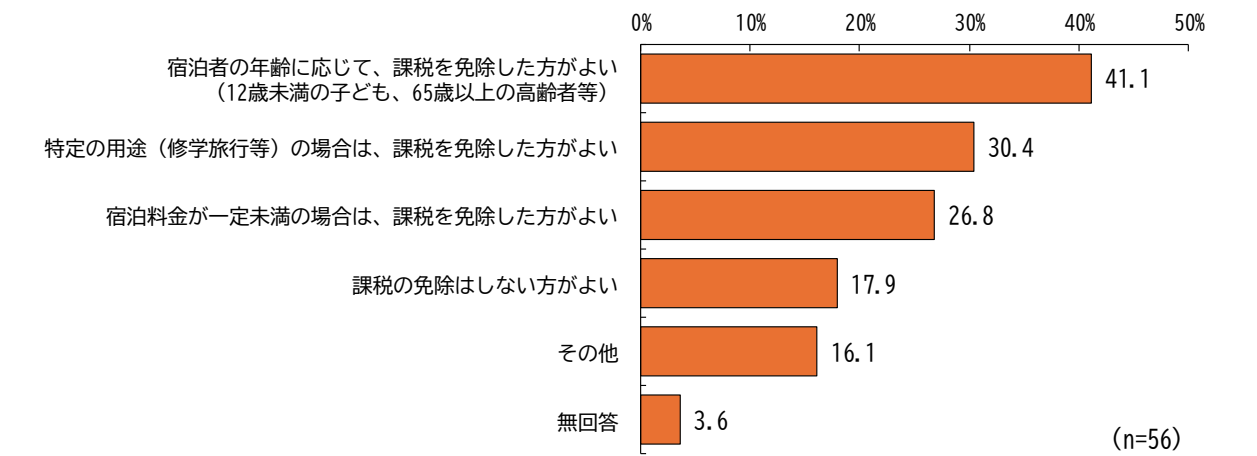
導入賛否別でみると、賛成は「300円」がほかと比べて高くなっている。

【妥当額別】



妥当額別でみると、金額が高くなるほど影響額も高くなる傾向にある。

Q14 既に宿泊税を導入している自治体の中には、宿泊料金が一定未満の場合や一定の年齢に満たない者等には、課税を免除する方法を採用しているところもあります。
 宿泊税を導入する場合、妥当だと感じる方策を次の中から選択してください。（複数選択可）



妥当策は、「宿泊者の年齢に応じて、課税を免除した方がよい（12歳未満の子ども、65歳以上の高齢者等）」が41.1%と最も高く、次いで「特定の用途（修学旅行等）の場合は、課税を免除した方がよい」30.4%、「宿泊料金が一定未満の場合は、課税を免除した方がよい」26.8%と続いている。

【営業形態別】

	調査数 (n)	宿泊者の年齢に応じて、課税を免除した方がよい (12歳未満の子ども、65歳以上の高齢者等)	特定の用途（修学旅行等）の場合は、課税を免除した方がよい	宿泊料金が一定未満の場合は、課税を免除した方がよい	課税の免除はしない方がよい	その他	無回答
ホテル・旅館・ビジネスホテル	29	44.8	37.9	31.0	24.1	3.4	-
民宿・簡易宿所・ゲストハウス/民泊	22	45.5	22.7	22.7	9.1	22.7	9.1
研修所/保養所	2	-	50.0	-	50.0	-	-
その他	3	-	-	33.3	-	100.0	-

営業形態別でみると、ホテル・旅館・ビジネスホテルは「特定の用途（修学旅行等）の場合は、課税を免除した方がよい」が民宿・簡易宿所・ゲストハウス/民泊と比べて高くなっている。

【導入賛否別】

	調査数 (n)	宿泊者の年齢に応じて、課税を免除した方がよい（12歳未満の子ども、65歳以上の高齢者等）	特定の用途（修学旅行等）の場合は、課税を免除した方がよい	宿泊料金が一定未満の場合は、課税を免除した方がよい	課税の免除はしない方がよい	その他	無回答
賛成	13	69.2	76.9	7.7	15.4	7.7	-
どちらとも言えない	28	32.1	21.4	21.4	21.4	17.9	-
反対	15	33.3	6.7	53.3	13.3	20.0	13.3

導入賛否別でみると、賛成は「宿泊者の年齢に応じて、課税を免除した方がよい（12歳未満の子ども、65歳以上の高齢者等）」「特定の用途（修学旅行等）の場合は、課税を免除した方がよい」、反対は「宿泊料金が一定未満の場合は、課税を免除した方がよい」が高くなっている。

【妥当額別】

	調査数 (n)	宿泊者の年齢に応じて、課税を免除した方がよい（12歳未満の子ども、65歳以上の高齢者等）	特定の用途（修学旅行等）の場合は、課税を免除した方がよい	宿泊料金が一定未満の場合は、課税を免除した方がよい	課税の免除はしない方がよい	その他	無回答
100円	23	56.5	43.5	39.1	8.7	8.7	-
200円	16	43.8	18.8	18.8	37.5	6.3	-
300円	8	25.0	25.0	12.5	25.0	25.0	-
500円	1	-	100.0	-	-	-	-
その他	5	20.0	20.0	20.0	-	80.0	-

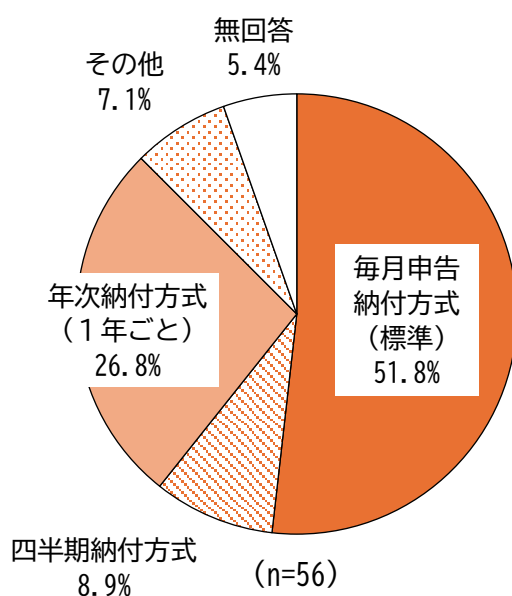
妥当額別でみると、金額が上がるほど「宿泊者の年齢に応じて、課税を免除した方がよい（12歳未満の子ども、65歳以上の高齢者等）」「宿泊料金が一定未満の場合は、課税を免除した方がよい」が低くなっている。

【影響額別】

	調査数 (n)	宿泊者の年齢に応じて、課税を免除した方がよい（12歳未満の子ども、65歳以上の高齢者等）	特定の用途（修学旅行等）の場合は、課税を免除した方がよい	宿泊料金が一定未満の場合は、課税を免除した方がよい	課税の免除はしない方がよい	その他	無回答
100円	10	20.0	30.0	50.0	10.0	20.0	-
200円	7	42.9	28.6	14.3	28.6	-	-
300円	9	66.7	66.7	-	22.2	-	-
500円	11	36.4	18.2	18.2	36.4	9.1	-
1,000円	4	100.0	25.0	50.0	-	-	-
1,001円以上	4	25.0	-	25.0	25.0	50.0	-
その他	8	37.5	37.5	37.5	-	50.0	-

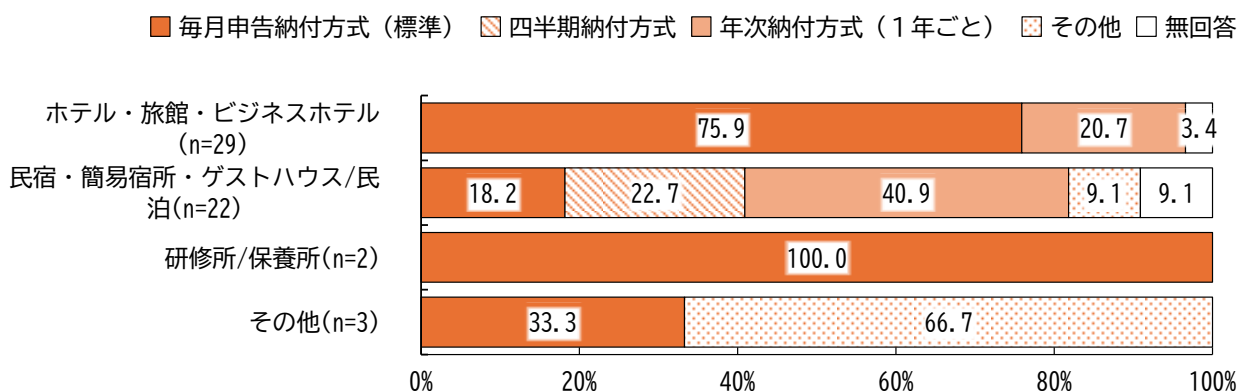
影響額別でみると、300円は「特定の用途（修学旅行等）の場合は、課税を免除した方がよい」がほかの金額と比べて高くなっている。

Q15 宿泊税を導入する場合、宿泊税の納付方法について、貴宿泊施設の現在の営業実態を踏まえて最も妥当だと感じる方法を次の中から選択してください。



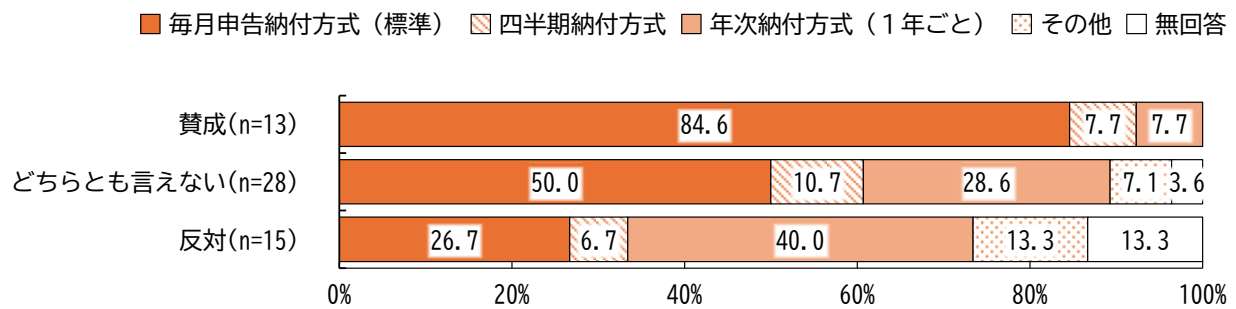
宿泊税の納付方法は、「毎月申告納付方式（標準）」が51.8%と最も高く、次いで「年次納付方式（1年ごと）」26.8%、「四半期納付方式」8.9%、「その他」7.1%となっている。

【営業形態別】



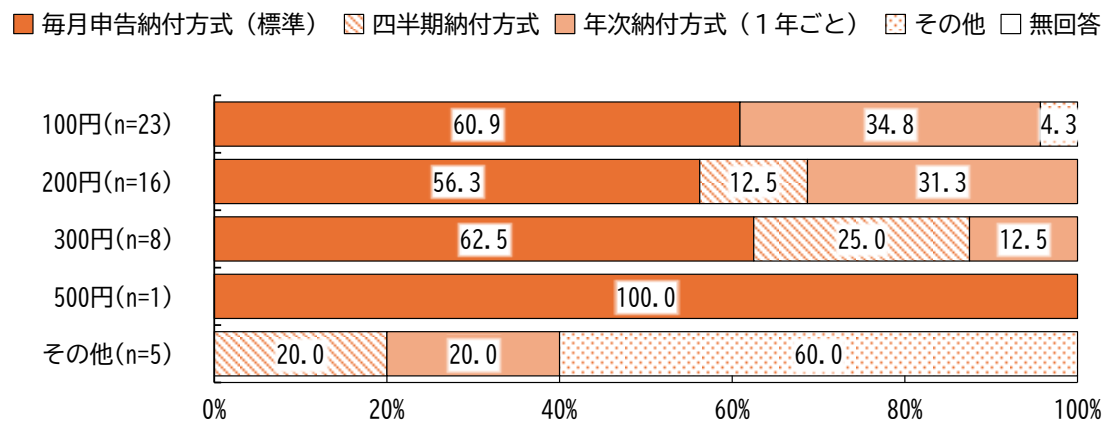
営業形態別でみると、ホテル・旅館・ビジネスホテルは「毎月申告納付方式（標準）」、民宿・簡易宿所・ゲストハウス/民泊は「四半期納付方式」「年次納付方式（1年ごと）」が高くなっている。

【導入賛否別】



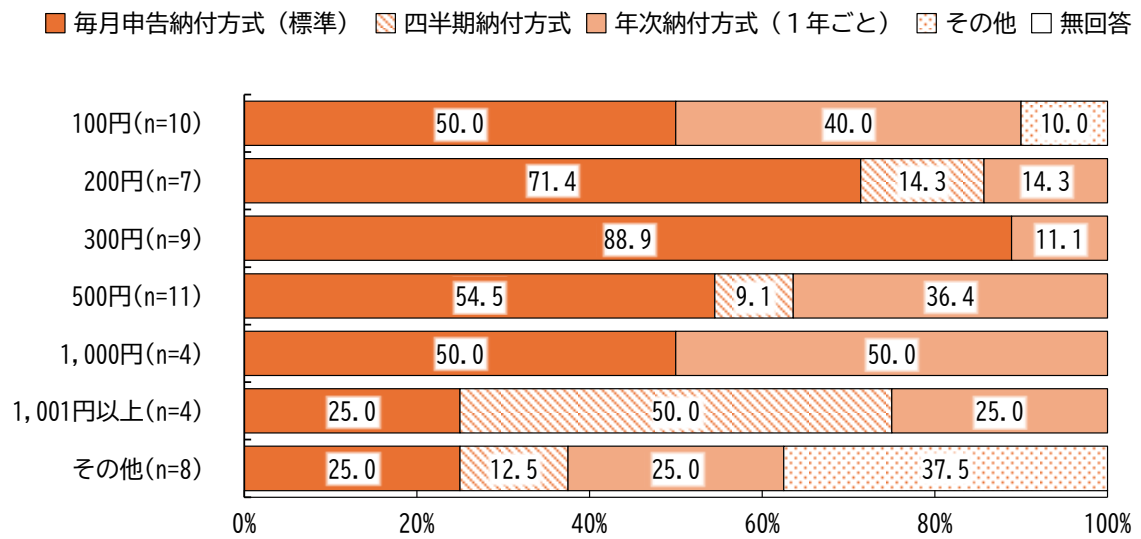
導入賛否別でみると、賛成は「毎月申告納付方式（標準）」がほかと比べて高くなっている。

【妥当額別】



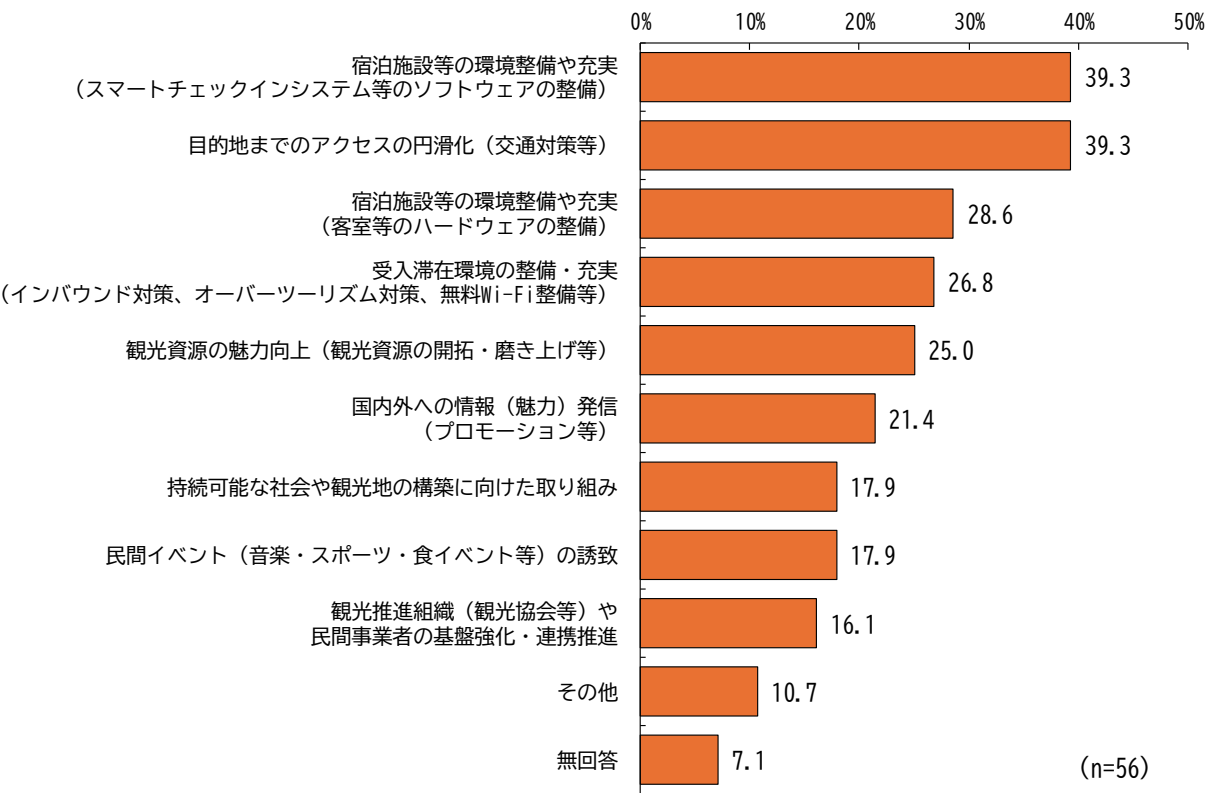
妥当額別でみると、金額が上がるほど「年次納付方式（1年ごと）」が低くなっている。

【影響額別】



影響額別でみると、200円・300円は「毎月申告納付方式（標準）」がほかの金額と比べて高くなっている。

Q16 宿泊税を導入する場合、使途として望ましいと感じる活用方法を次の中から選択してください。（複数選択可）



望ましい活用方法は、「宿泊施設等の環境整備や充実 (スマートチェックインシステム等のソフトウェアの整備)」「目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)」が39.3%と高く、次いで「宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)」28.6%と続いている。

【営業形態別】

	調査数 (n)	宿泊施設等の環境整備や充実 (スマートチェックインシステム 等のソフトウェアの整備)	目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	受入滞在環境の整備・充実 (インバウンド対策、無料Wi-Fi 整備等)	観光資源の魅力向上 (観光資源の 開拓・磨き上げ等)	国内外への情報 (魅力) 発信 (プロモーション等)	持続可能な社会や観光地の構築に 向けた取り組み	民間イベント (音楽・スポーツ・ 食イベント等) の誘致	観光推進組織 (観光協会等) や 民間事業者の基盤強化・連携推進	その他	無回答
ホテル・旅館・ビジネスホテル	29	58.6	62.1	44.8	27.6	27.6	27.6	20.7	27.6	17.2	-	-
民宿・簡易宿所・ゲストハウス/民泊	22	18.2	18.2	13.6	27.3	27.3	18.2	13.6	9.1	18.2	18.2	13.6
研修所/保養所	2	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-
その他	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3

営業形態別でみると、ホテル・旅館・ビジネスホテルは「宿泊施設等の環境整備や充実 (スマートチェックインシステム等のソフトウェアの整備)」「目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)」が高くなっている。

【導入賛否別】

	調査数 (n)	宿泊施設等の環境整備や充実 (スマートチェックインシステム 等のソフトウェアの整備)	目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	受入滞在環境の整備・充実 (インバウンド対策、オーバー ツーリズム対策、無料Wi-Fi 整備等)	観光資源の魅力向上(観光資源の 開拓・磨き上げ等)	国内外への情報(魅力)発信 (プロモーション等)	持続可能な社会や観光地の構築に 向けた取り組み	民間イベント(音楽・スポーツ・ 食イベント等)の誘致	観光推進組織(観光協会等)や 民間事業者の基盤強化・連携推進	その他	無回答
賛成	13	53.8	76.9	61.5	38.5	30.8	38.5	15.4	7.7	53.8	7.7	-
どちらとも言えない	28	42.9	39.3	21.4	25.0	25.0	25.0	14.3	28.6	3.6	7.1	3.6
反対	15	20.0	6.7	13.3	20.0	20.0	-	26.7	6.7	6.7	20.0	20.0

導入賛否別でみると、賛成は全体的に高くなっている。反対は「持続可能な社会や観光地の構築に向けた取り組み」がほかと比べて高くなっている。

【妥当額別】

	調査数 (n)	宿泊施設等の環境整備や充実 (スマートチェックインシステム 等のソフトウェアの整備)	目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	受入滞在環境の整備・充実 (インバウンド対策、オーバー ツーリズム対策、無料Wi-Fi 整備等)	観光資源の魅力向上(観光資源の 開拓・磨き上げ等)	国内外への情報(魅力)発信 (プロモーション等)	持続可能な社会や観光地の構築に 向けた取り組み	民間イベント(音楽・スポーツ・ 食イベント等)の誘致	観光推進組織(観光協会等)や 民間事業者の基盤強化・連携推進	その他	無回答
100円	23	47.8	43.5	30.4	21.7	26.1	13.0	21.7	21.7	4.3	4.3	4.3
200円	16	37.5	25.0	37.5	31.3	43.8	25.0	31.3	6.3	37.5	6.3	6.3
300円	8	62.5	87.5	25.0	50.0	-	50.0	-	25.0	12.5	-	-
500円	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
その他	5	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	80.0	-

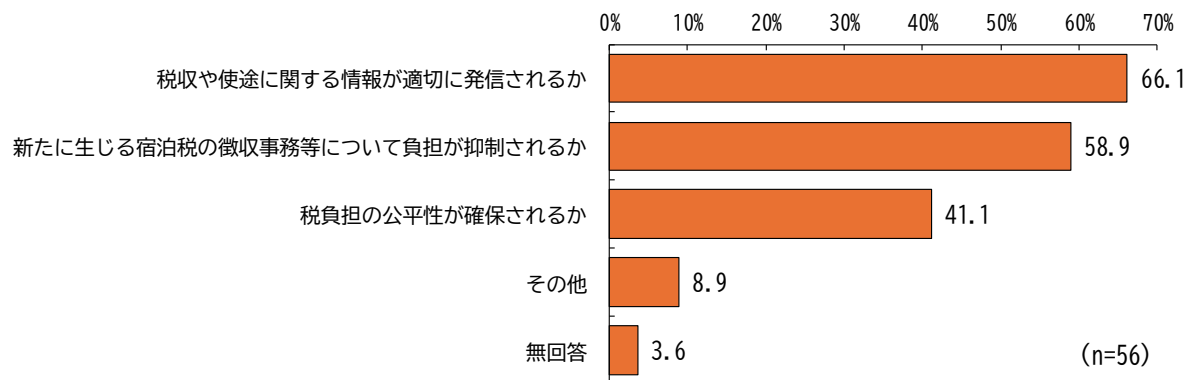
妥当額別でみると、金額が上がるほど「受入滞在環境の整備・充実(インバウンド対策、オーバーツーリズム対策、無料Wi-Fi整備等)」「国内外への情報(魅力)発信(プロモーション等)」が高くなっている。

【影響額別】

	調査数 (n)	宿泊施設等の環境整備や充実 (スマートエックインシステム 等のソフトウェアの整備)	目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)	宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)	受入滞在環境の整備・充実 (インバウンド対策、オーバー ツーリズム対策、無料Wi-Fi 整備等)	観光資源の魅力向上(観光資源の 開拓・磨き上げ等)	国内外への情報(魅力)発信 (プロモーション等)	持続可能な社会や観光地の構築に 向けた取り組み	民間イベント(音楽・スポーツ・ 食イベント等)の誘致	観光推進組織(観光協会等)や 民間事業者の基盤強化・連携推進	その他	無回答
100円	10	20.0	40.0	-	40.0	40.0	20.0	20.0	30.0	10.0	10.0	10.0
200円	7	42.9	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3	-	-
300円	9	88.9	88.9	55.6	11.1	-	11.1	-	22.2	11.1	-	-
500円	11	18.2	18.2	9.1	27.3	45.5	18.2	36.4	9.1	27.3	9.1	9.1
1,000円	4	100.0	75.0	100.0	75.0	-	25.0	25.0	-	25.0	-	-
1,001円以上	4	50.0	75.0	25.0	50.0	-	50.0	25.0	-	-	-	-
その他	8	12.5	-	25.0	-	25.0	25.0	12.5	12.5	25.0	50.0	-

影響額別でみると、金額が上がるほど「民間イベント（音楽・スポーツ・食イベント等）の誘致」が低くなっている。

Q17 宿泊税を導入するにあたって、課題と感じていることを次の中から選択してください。
(複数選択可)



宿泊税導入の課題は、「税金や使途に関する情報が適切に発信されるか」が66.1%と最も高く、次いで「新たに生じる宿泊税の徴収事務等について負担が抑制されるか」58.9%、「税負担の公平性が確保されるか」41.1%、「その他」8.9%となっている。

【営業形態別】

	調査数 (n)	税金や使途に関する情報が適切に発信されるか	新たに生じる宿泊税の徴収事務等について負担が抑制されるか	税負担の公平性が確保されるか	その他	無回答
ホテル・旅館・ビジネスホテル	29	79.3	65.5	41.4	-	3.4
民宿・簡易宿所・ゲストハウス/民泊	22	50.0	54.5	45.5	9.1	4.5
研修所/保養所	2	100.0	100.0	50.0	50.0	-
その他	3	33.3	-	-	66.7	-

営業形態別でみると、ホテル・旅館・ビジネスホテルは「税金や使途に関する情報が適切に発信されるか」が民宿・簡易宿所・ゲストハウス/民泊と比べて高くなっている。

【導入賛否別】

	調査数 (n)	税収や使途に関する情報 が適切に発信されるか	新たに生じる宿泊税の徴 収事務等について負担が 抑制されるか	税負担の公平性が確保さ れるか	その他	無回答
賛成	13	92.3	84.6	61.5	-	-
どちらとも言えない	28	60.7	53.6	32.1	10.7	3.6
反対	15	53.3	46.7	40.0	13.3	6.7

導入賛否別でみると、賛成は全体的にほかと比べて高くなっている。

【妥当額別】

	調査数 (n)	税収や使途に関する情報 が適切に発信されるか	新たに生じる宿泊税の徴 収事務等について負担が 抑制されるか	税負担の公平性が確保さ れるか	その他	無回答
100円	23	78.3	65.2	56.5	4.3	-
200円	16	81.3	68.8	37.5	-	-
300円	8	50.0	75.0	12.5	-	-
500円	1	100.0	100.0	100.0	-	-
その他	5	-	-	20.0	80.0	-

妥当額別でみると、金額が上がるほど「新たに生じる宿泊税の徴収事務等について負担が抑制されるか」が高く、「税負担の公平性が確保されるか」が低くなっている。

【影響額別】

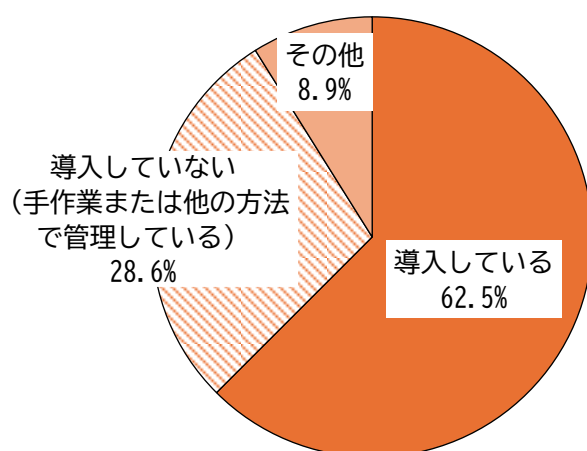
	調査数 (n)	税収や使途に関する情報 が適切に発信されるか	新たに生じる宿泊税の徴 収事務等について負担が 抑制されるか	税負担の公平性が確保さ れるか	その他	無回答
100円	10	80.0	40.0	40.0	10.0	-
200円	7	42.9	71.4	42.9	-	-
300円	9	77.8	66.7	66.7	-	-
500円	11	90.9	72.7	27.3	-	-
1,000円	4	75.0	100.0	75.0	-	-
1,001円以上	4	50.0	100.0	50.0	-	-
その他	8	37.5	25.0	12.5	50.0	-

影響額別でみると、300円・1,000円は「税負担の公平性が確保されるか」がほかの金額と比べて高くなっている。

(3) 宿泊税制度に伴う準備や対応について

Q18 貴宿泊施設では予約や精算等を管理するシステムを導入していますか。

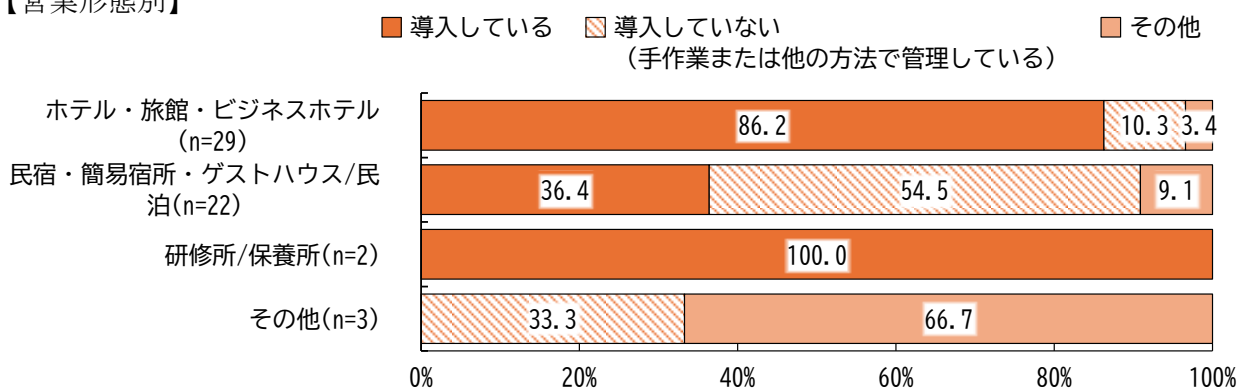
次の中から該当するものを選択してください。



(n=56)

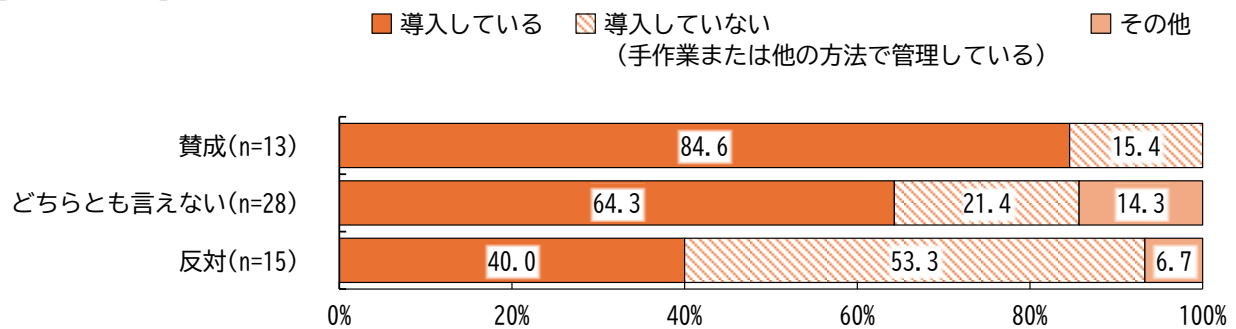
予約や精算等を管理するシステムを導入しているかは、「導入している」が62.5%と最も高く、次いで「導入していない（手作業または他の方法で管理している）」28.6%、「その他」8.9%となっている。

【営業形態別】



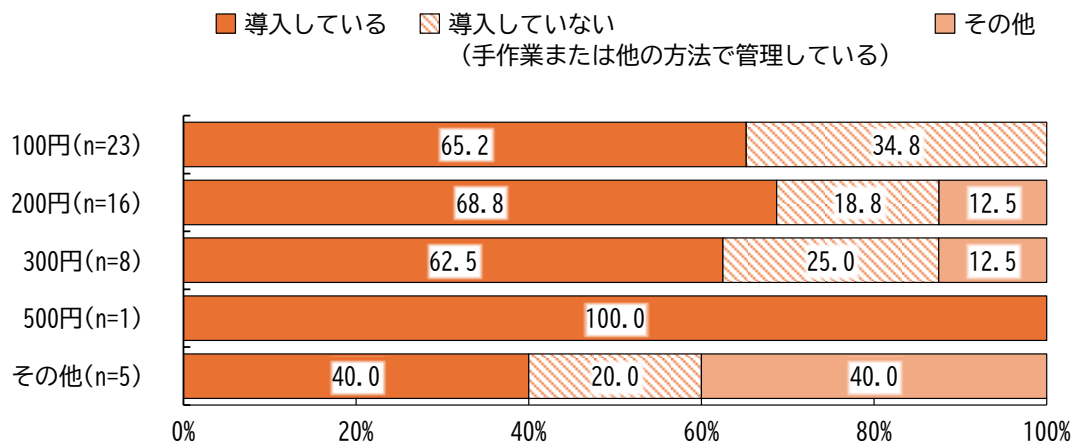
営業形態別でみると、ホテル・旅館・ビジネスホテルは「導入している」、民宿・簡易宿所・ゲストハウス/民泊は「導入していない（手作業または他の方法で管理している）」が高くなっている。

【導入賛否別】



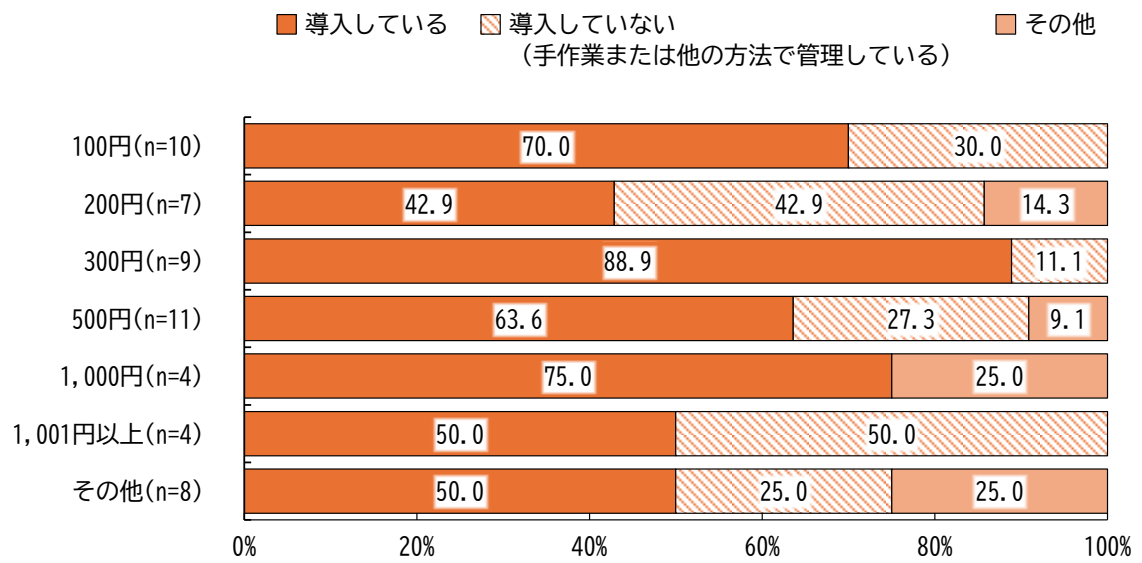
導入賛否別でみると、反対は「導入していない（手作業または他の方法で管理している）」がほかと比べて高くなっている。

【妥当額別】



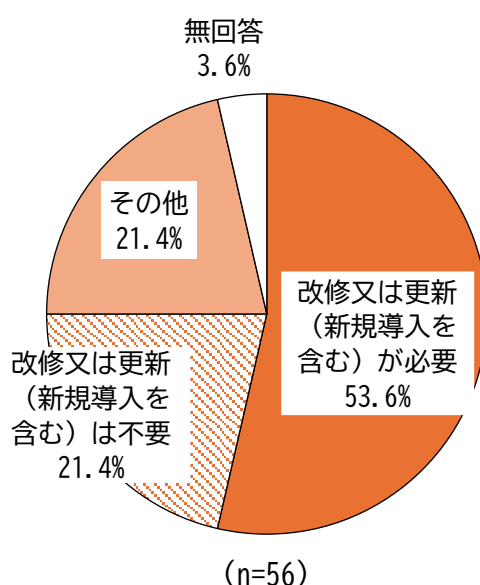
妥当額別でみると、100円は「導入していない（手作業または他の方法で管理している）」がほかの金額と比べて高くなっている。

【影響額別】



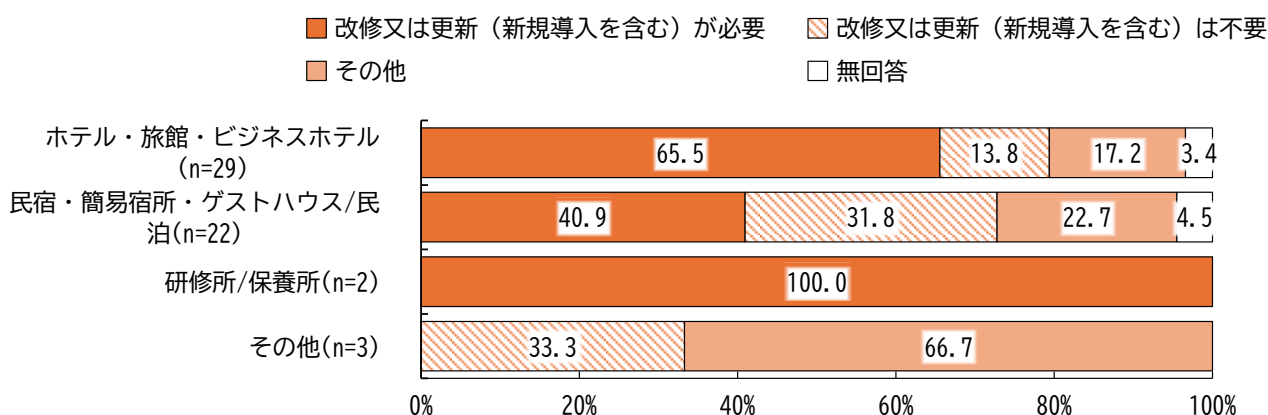
影響額別でみると、300円は「導入している」がほかの金額と比べて高くなっている。

Q19 宿泊税が導入された場合、既存の予約や精算等を管理するシステムの改修等が必要ですか。
次の中から該当するものを選択してください。



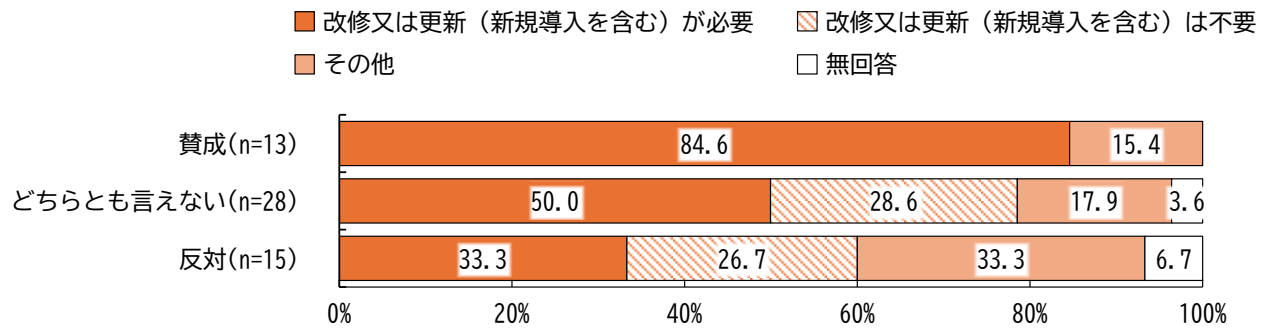
既存の予約や精算等を管理するシステムの改修等が必要かは、「改修又は更新（新規導入を含む）が必要」が53.6%と最も高く、次いで「改修又は更新（新規導入を含む）は不要」「その他」21.4%となっている。

【営業形態別】



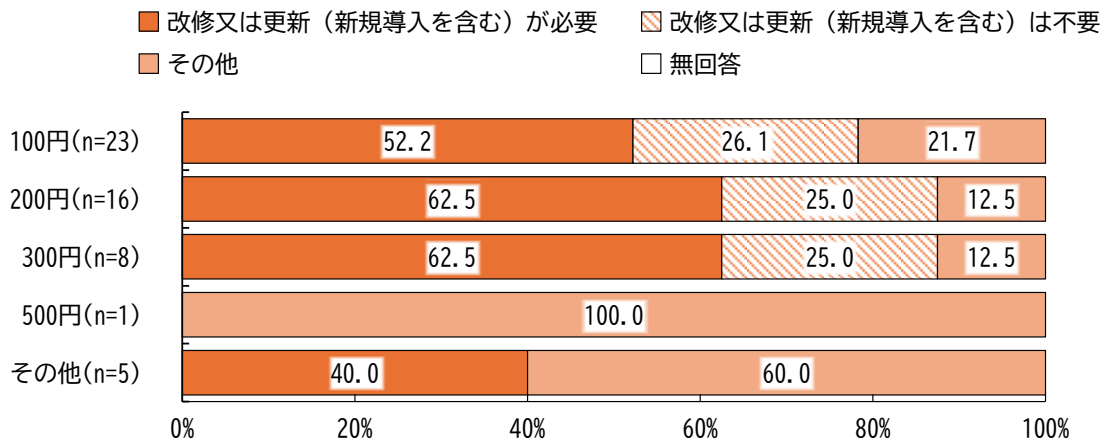
営業形態別でみると、ホテル・旅館・ビジネスホテルは「改修又は更新（新規導入を含む）が必要」が民宿・簡易宿所・ゲストハウス/民泊と比べて高くなっている。

【導入賛否別】



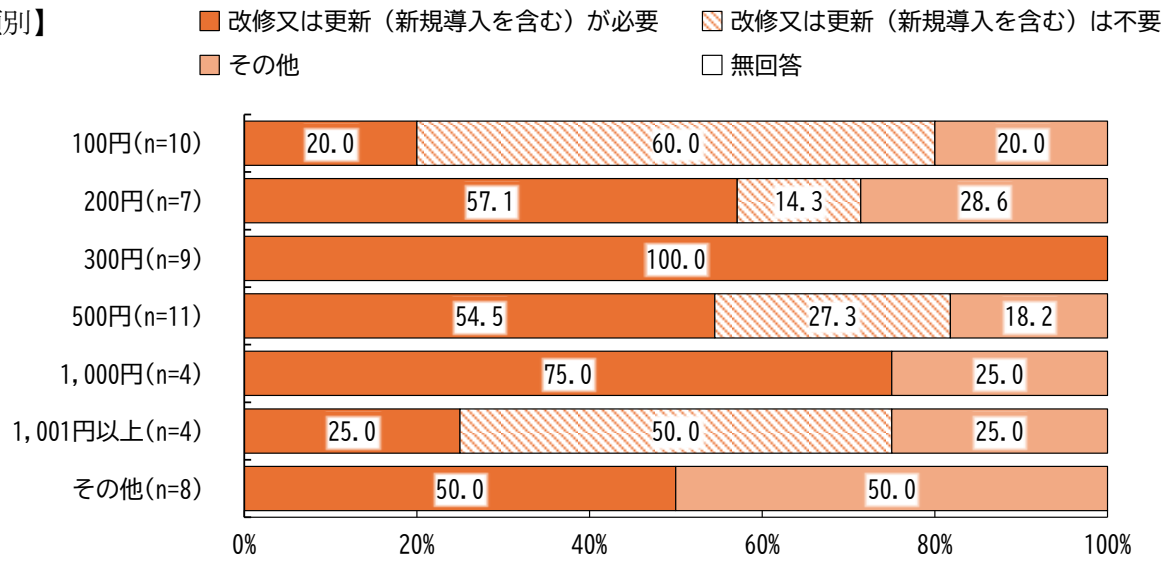
導入賛否別でみると、賛成は「改修又は更新（新規導入を含む）が必要」がほかと比べて高くなっている。

【妥当額別】



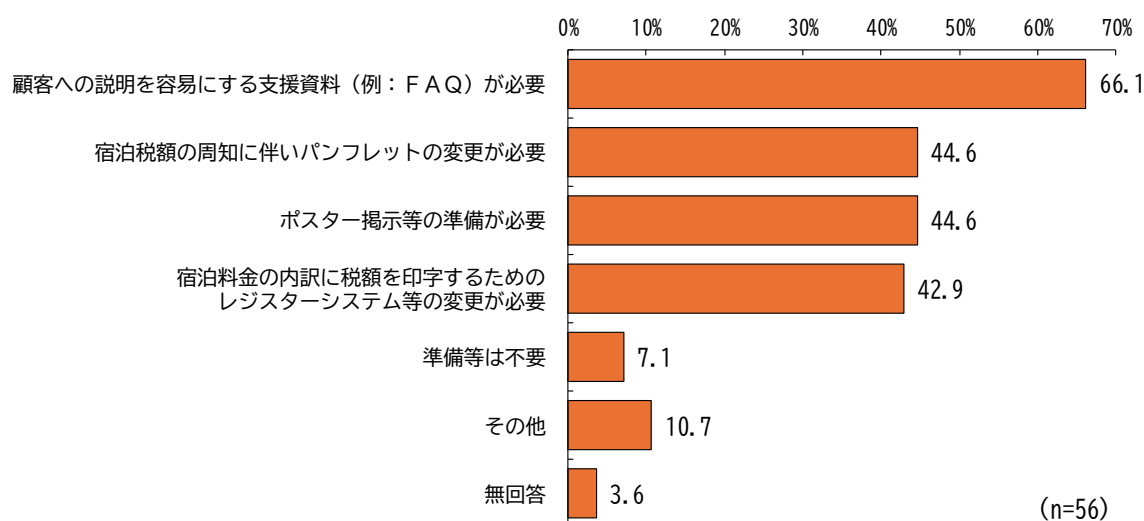
妥当額別でみると、100円は「改修又は更新（新規導入を含む）は必要」がほかの金額と比べて低くなっている。

【影響額別】



影響額別でみると、300円は「改修又は更新（新規導入を含む）が必要」がほかの金額と比べて高くなっている。

Q20 システムの改修のほか宣伝資料に関する準備や変更等に関する影響について、必要と感じていることを次の中から選択してください。（複数選択可）



宣伝資料に関する準備や変更等に関する影響について、必要と感じていることは、「顧客への説明を容易にする支援資料（例：FAQ）が必要」が66.1%と最も高く、次いで「宿泊税額の周知に伴いパンフレットの変更が必要」「ポスター掲示等の準備が必要」44.6%、「宿泊料金の内訳に税額を印字するためのレジスターシステム等の変更が必要」42.9%と続いている。

【営業形態別】

	調査数 (n)	顧客への説明を容易にする支援資料（例：FAQ）が必要	宿泊税額の周知に伴いパンフレットの変更が必要	ポスター掲示等の準備が必要	宿泊料金の内訳に税額を印字するためのレジスターシステム等の変更が必要	準備等は不要	その他	無回答
ホテル・旅館・ビジネスホテル	29	75.9	62.1	69.0	62.1	-	6.9	3.4
民宿・簡易宿所・ゲストハウス/民泊	22	68.2	31.8	18.2	18.2	13.6	9.1	4.5
研修所/保養所	2	-	-	50.0	100.0	-	-	-
その他	3	-	-	-	-	33.3	66.7	-

営業形態別でみると、ホテル・旅館・ビジネスホテルは全体的に民宿・簡易宿所・ゲストハウス/民泊と比べて高くなっている。

【導入賛否別】

	調査数 (n)	顧客への説明を容易にする支援資料(例：FAQ)が必要	宿泊税額の周知に伴いパンフ レットの変更が必要	ポスター掲示等の準備が必要	宿泊料金の内訳に税額を印字 するためのレジスターステ ム等の変更が必要	準備等は不要	その他	無回答
賛成	13	84.6	61.5	61.5	69.2	-	15.4	-
どちらとも言えない	28	64.3	39.3	42.9	42.9	3.6	10.7	3.6
反対	15	53.3	40.0	33.3	20.0	20.0	6.7	6.7

導入賛否別でみると、賛成は全体的にほかと比べて高くなっている。

【妥当額別】

	調査数 (n)	顧客への説明を容易にする支援資料(例：FAQ)が必要	宿泊税額の周知に伴いパンフ レットの変更が必要	ポスター掲示等の準備が必要	宿泊料金の内訳に税額を印字 するためのレジスターステ ム等の変更が必要	準備等は不要	その他	無回答
100円	23	69.6	47.8	43.5	47.8	8.7	4.3	-
200円	16	62.5	43.8	50.0	43.8	12.5	12.5	-
300円	8	100.0	50.0	62.5	50.0	-	-	-
500円	1	100.0	-	-	-	-	-	-
その他	5	20.0	40.0	20.0	20.0	-	60.0	-

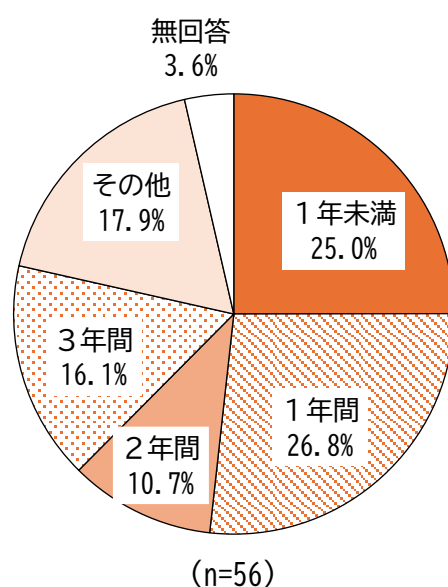
妥当額別でみると、金額が上がるほど「ポスター掲示等の準備が必要」が高くなる傾向にある。

【影響額別】

	調査数 (n)	顧客への説明を容易にする支援資料（例：FAQ）が必要	宿泊税額の周知に伴いパンフレットの変更が必要	ポスター掲示等の準備が必要	宿泊料金の内訳に税額を印字するためのレジスターステーム等の変更が必要	準備等は不要	その他	無回答
100円	10	50.0	20.0	30.0	30.0	20.0	10.0	-
200円	7	71.4	42.9	28.6	42.9	14.3	-	-
300円	9	100.0	88.9	77.8	66.7	-	-	-
500円	11	63.6	36.4	36.4	45.5	9.1	9.1	-
1,000円	4	100.0	25.0	100.0	50.0	-	-	-
1,001円以上	4	75.0	50.0	25.0	25.0	-	-	-
その他	8	37.5	50.0	37.5	37.5	-	50.0	-

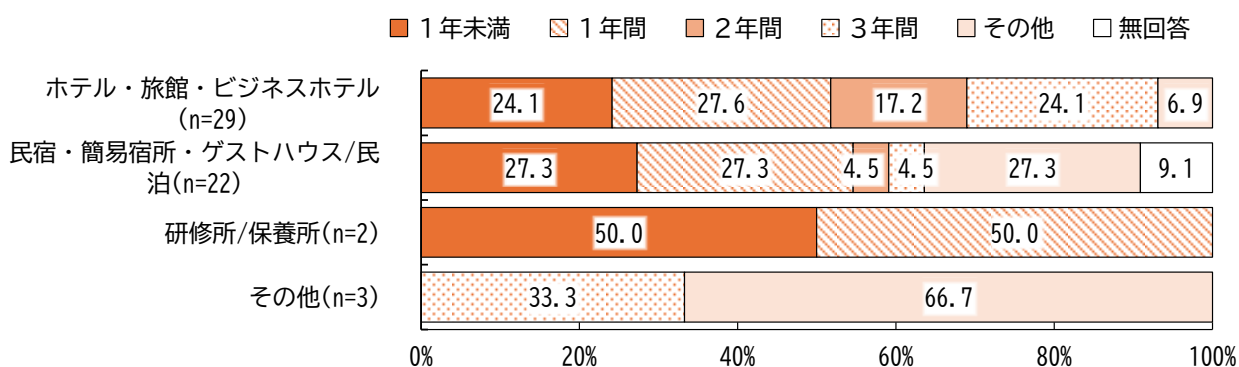
影響額別でみると、300円は「宿泊税額の周知に伴いパンフレットの変更が必要」がほかの金額と比べて高くなっている。

Q21 宿泊税導入に伴う準備期間、周知期間として最も当てはまるものを次の中から選択してください。



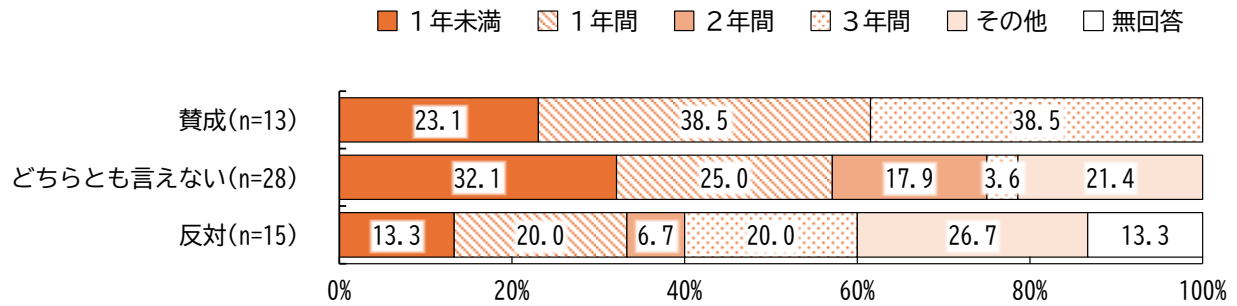
宿泊税導入に伴う準備期間、周知期間は、「1年間」が26.8%と最も高く、次いで「1年未満」25.0%、「その他」17.9%と続いている。

【営業形態別】



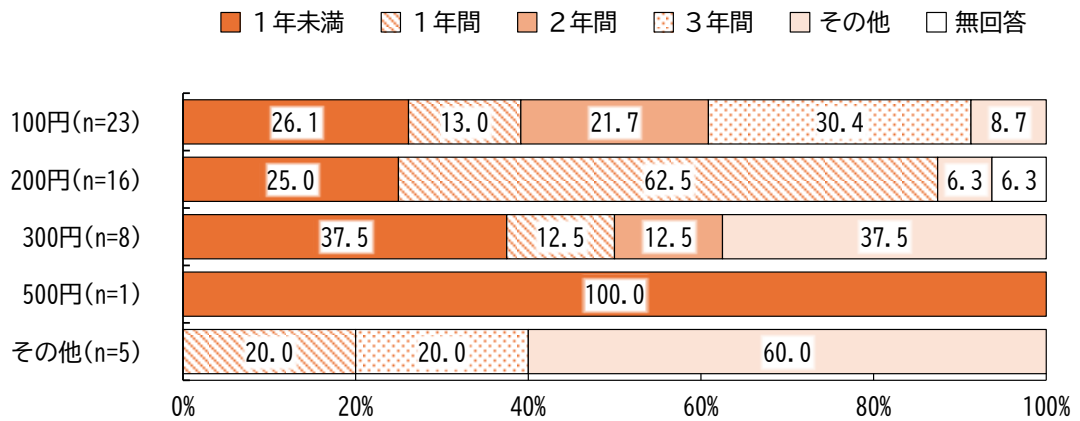
営業形態別でみると、ホテル・旅館・ビジネスホテルは「2年間」「3年間」が民宿・簡易宿所・ゲストハウス/民泊と比べて高くなっている。

【導入賛否別】



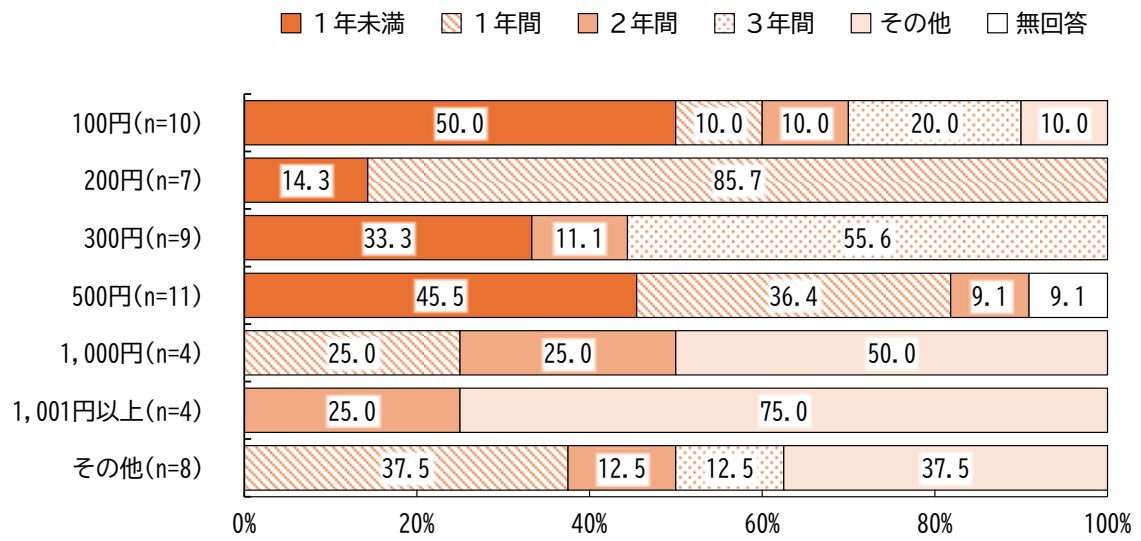
導入賛否別でみると、賛成は「3年間」がほかと比べて高くなっている。

【妥当額別】



妥当額別でみると、100円は「3年間」、200円は「1年間」が高くなっている。

【影響額別】



影響額別でみると、300円は「3年間」がほかの金額と比べて高くなっている。

(4) 宿泊税制度に関するご意見について

Q22 宿泊税導入に向けた市の取り組みに対するご意見やご要望をご自由にお書きください。

営業形態	宿泊税導入に向けた市の取り組みに対するご意見やご要望
ホテル	御殿場市の持っている観光ポテンシャルはおそらく静岡県でナンバーワンだと思います。熱海はインバウンドが少ない…。今後の伸びしろはすばらしいものがある。残念ながら方向性に統一感がなく住民の方の関心も薄いことから、それぞれの施設は意見を表に出さない傾向があると思う。宿泊税の導入によって将来の御殿場市のあるべき観光について研究が進む。
ホテル	システム改修費用を工面いただきたい。
ホテル	・定率制ではなく定額制を希望 ・教育旅行は除外を希望 ・現場負担を減らすために事前決済を導入しているが、決済額に対して手数料が発生する。 宿泊税だけ現地決済とした場合に清算件数が増加し人で不足に拍車がかかる。 OTAやカード会社への手数料などの補助をしていただきたい。 ・弊社では年間スポーツ団体を7万人以上受入れしておりほとんどが学生年代である。 裾野市にある弊社施設があり、同じ大会・料金案内の大会に出場しても、御殿場に宿泊すると宿泊税が発生し、裾野に泊まると宿泊税が発生しないといった現象が想定される。 このあたりの減免措置などを考慮していただきたい。 ・システム改修に多額の費用が発生すると見込んでいる。そのあたりの補助をお願いしたい。 ・宿泊税の使用の透明性の担保や目に見える形での宿泊事業者への還元を希望。 ・宿泊税の使用用途の公開や効果測定などを納得できる形で公表していただきたい。 ・宿泊税の周知期間を十分にとることやゲストからの問い合わせなどのFAQ、パンフレットなどの作成をお願いしたい。 ・利用者にとっては実質的な値上げとなり競争力の低下につながる恐れがある。 ・キャンセル時の返金の際の税の取り扱い方法などを明確化してほしい。 ・すでに2年後、3年後の予約を受けているがその場合の対応を明確化してほしい。
旅館	宿泊税で宿泊施設に何を提供できるか先に提示してほしい。 宿泊施設の過当競争は始まっています。第二東名が東京まで開通すれば、ホテルの開業はますます増えますし御殿場はただ通過するだけの町で、箱根や山中湖や忍野にインバウンドは流れています。
民宿	期待しています。

営業形態	宿泊税導入に向けた市の取り組みに対するご意見やご要望
民宿	税導入の理由が不明確。導入後、何が変わるのか、市のメリット？ホテルのメリット？がわからない。やった場合、やらなかった場合の比較表を作成して説明資料が必要！
ビジネスホテル	御殿場市は観光地ではなく、観光地へ行くための通過点である。アウトレット施設も観光でなく販売店の集まりであります。まずは、観光客が来ていただけるようにしてから宿泊税の検討をされてはどうでしょうか？近隣の観光地でさえまだ導入をしておりません。大勢の方がまちへお越しになられるようになってからかと思います。
ビジネスホテル	観光振興や地域整備の財源確保という観点から一定の意義がある一方で、宿泊事業者の事務負担増や観光客の負担感の増加といった課題にも十分配慮する必要があります。導入する場合は、税の使途を明確にし、観光環境の向上に確実に還元される仕組みをすると共に、事業者への支援など、実務面での負担軽減策を併せて講じることが望まれます。
簡易宿所	税というと多少気になる場所であるので、御殿場市らしさを出して工夫したネーミングにできないか。
簡易宿所	取るよりあるものを有効に使いましょう。 視察名目で旅行に行くのはやめましょう。
簡易宿所	①導入初期の一定期間、宿泊客や事業者からの問い合わせに一括して対応する「市専用の電話相談窓口（コールセンター）」を設置し、現場に負担が集中しないバックアップ体制を整えて欲しい。 ②宿泊税の導入にともない追加での事務手配が必要となるため徴収事務の手数料をいただきたい。（振込手数料なども含む） ③当施設は、観光でのご利用のお客様は非常に少なく、学校団体の学びの活動でご利用が多くあります。事務的な手続きが煩雑になりますが、例えば学校団体は宿泊税の対象にならないなどの分類が可能でしょうか？特に公立の学校は、1人に付き数百円の値上げが学校の予算確保に苦慮されているようです。
簡易宿所	税金の使い道を明確にしてほしい。 事業所にも補助金等検討してほしい。
研修所/保養所	宿泊税対象者数は申告するのですが、その数の正確性を検証することができのでしょうか。
研修所/保養所	集めた税金が、めぐりめぐって観光産業や地域社会にプラスになって戻ってくるといい好循環にしてください。
ゲストハウス /民泊	外国人2～3名のグループを月に数回または0回の時もある。地域振興交流会様からの連絡でこちらの受け入れ日が空いていれば受け入れOKの返事をしているので、直接的にあまり関係性を感じていません。
ゲストハウス /民泊	使用用途が決まっていけないものに、他がやっているというだけで課税するという考えがおかしい。また、これから富士山の恵み産業パークを作る予定なのに、税の導入による回避要素を検討するのはいかがなものかと思う。

営業形態	宿泊税導入に向けた市の取り組みに対するご意見やご要望
ゲストハウス /民泊	現状御殿場市が観光客誘致を成功させているとは思えず、税金を徴収するに当たっての市の施策を先に確認したい。
ゲストハウス /民泊	最低限のインフラ整備以外は不要。市民が暮らしやすければ、観光客も過ごしやすい。
ゲストハウス /民泊	インバウンドの方に対して宿泊税をもらい図書館等の施設が駅周辺から離れてるので、子供や学生が駅周辺で勉強したり休める場所を、企業と提携して今ある小さい規模でなく広い場所を確保して欲しいです。
その他	減税を望みます。

(5) その他のご意見について

Q23 宿泊税に限らず、現在現場で課題とされていること、お客様からご意見をいただくことについて、具体例をお聞かせください。

営業形態	その他のご意見
ホテル	欧米の方から夜、出掛けるところを聞かれ、あまりの閉店の早さに驚いていた。寂しい町だねと言われ、その通りだと思う。長野と仙台は東京から同じ所要時間でも宿泊客は仙台の方が格段に多い。御殿場の宿泊を増やすためにはまさに魅力がなければと思う。
ホテル	前述でも記入しましたが、2次交通の充実。
ホテル	公共交通機関を利用してお越しになるお客様は、まだまだ不便と感じておるようです。週末タクシーが捕まらない、電車のアクセスが良くないと言ったご意見をいただきます。
旅館	宿泊客からたびたび演習場騒音について質問されます、雷ですかと、演習は土日関係なく行われています。防音工事は営業施設は対象外でしたので、古くから営業している木造旅館ではうるさいです。
民宿	せっかくのアンケートですが、規模が小さすぎて答えにならないことをお許しください。
民宿	金曜日・土曜日の交通渋滞の発生にお客様からクレーム。アウトレット客と一般客の区別レーンをできないか？インター出口を整理で改善可能！出口の左側はアウトレット寄りと箱根寄りを分ければスムーズになる。駅前にレストランが少ない問題。駐車場スペースが少ない。時間より混雑する6～9時に集中する。
ビジネスホテル	宿泊のお客様から観光するのにどこへ行けばよいですかとの質問に、歩いていく観光場所が少ない。駅周辺は人が少ないため、昼の食事をするところさえ少ない。
ビジネスホテル	富士登山の後（下山後）、他府県に移動する際、浴場のみ使用したいとのご意見がかなりあります。5合目もしくは駅周辺に浴場又は、シャワーブースがあると良い（特にインバウンドの方々）と思います。
ビジネスホテル	現在、現場では人手不足の深刻化や光熱費・食材費の高騰、OTA併存による手数料負担などが主な課題となっており、業務の効率化と収益確保の両立が求められている。一方、ゲストからは清掃品質や客室環境、Wi-Fiなど基本的な快適性への要望に加え、フロント、レストランのスタッフ対応のバラつきといった点について意見が多く寄せられている。
ビジネスホテル	アクセスの円滑化。
簡易宿所	初めて観光協会に参加しましたが、会長、副会長さんが観光系の事業者ではないことに驚きました。組織が形骸化でなければ良いですが。駅前学園祭、しゅがミト、アークラ等、学生さんも含めて活躍されていました。すばらしいことなのですが、おそらくマネタイズができていないと思います。クラウドファンディング等、地域の企業さんにもスポンサーのバックアップを行政と二人三脚して、ボランティア精神だけに依存しない立派な人材に学生さんになってくれると思います。末は、アコチル運営に進むことも可能ではないでしょうか。

営業形態	その他のご意見
簡易宿所	外国人が増えているので、多種多様の言語に対応できる方策はないものか。
簡易宿所	アンケートに空欄が多くすみません。現在、当施設は支払方法も現金か振込の2択です。新たなシステム導入は困難であり、アンケートもお答えしかねる状況です。
簡易宿所	入山料について、子供料金、リピーター料金等の設定をした方が良いと思う。 開山時期を全登山口で統一すべきだと思う。
簡易宿所	ライドシェアドライバーの取り組みもあると思いますが、お客様からは、御殿場駅でタクシーがつかまらない、滞在中、タクシーを呼べない、予約ができないという声があります。
簡易宿所	周辺に飲食店が少ないとお客様に言われる。
研修所/保養所	人手不足が慢性化していて、売り止めをせざるを得ない状況がある。
ゲストハウス /民泊	色々な国の人達との交流、会話など楽しく時間を過ごすことができ、幸せに感じています。
ゲストハウス /民泊	民泊新法から宿泊業法への切り替えが他の市より、手順が簡単ではない。 熱海は外国観光客受入環境整備事業補助金を出しているところもある。 観光ハブ都市を目指すのであれば、まずはそのようなことを検討して欲しい。
ゲストハウス /民泊	現状御殿場市が観光客誘致を成功させているとは思えず、観光客誘致を積極的に実施している様にも見えない状況で、アウトレットと富士山以外の観光の目玉を考えて欲しい。
その他	まだ開業のめどが立っていないため、未定・不明が多く、すみません。よろしくお願い致します。
その他	民泊許可を今春いただいておりますが、まだ改築等が進んでおらず、営業予定が未定のためお答えもわからないことが多く、すみません。

第5章 調査結果の概要

1. 調査の目的

本市の新たな観光振興財源検討の基礎資料とするため、市内の宿泊施設、宿泊者及び観光客（ともにインバウンドを含む）に対して、「御殿場市新たな観光振興財源検討に伴うアンケート調査」を実施する。

2. 調査方法・調査対象・回収数

①宿泊者及び観光客へのインターネット調査

調査対象：本市に3年以内に宿泊または観光で訪れたことのある人

回収数：1,000件（うちインバウンド：100件）

②宿泊者への調査（聞き取り調査）

調査対象：市内の宿泊施設7施設*に宿泊した人

回収数：650件（うちインバウンド：165件）

③宿泊施設への調査（郵送配布、インターネット・郵送併用回収）

調査対象：宿泊施設 98施設

回収数：56件

回収率：57.1%

*：ホテル時之栖、ホテルルートイン新御殿場インター、マースガーデンウッド御殿場、ホテルクラッド、レンブラントプレミアム富士御殿場、東横INN御殿場駅前、国際青少年センターYMCA東山荘

3. 実施期間

①国内旅行者：令和8年6月22日～令和8年6月23日

インバウンド：令和8年6月23日～令和8年6月25日

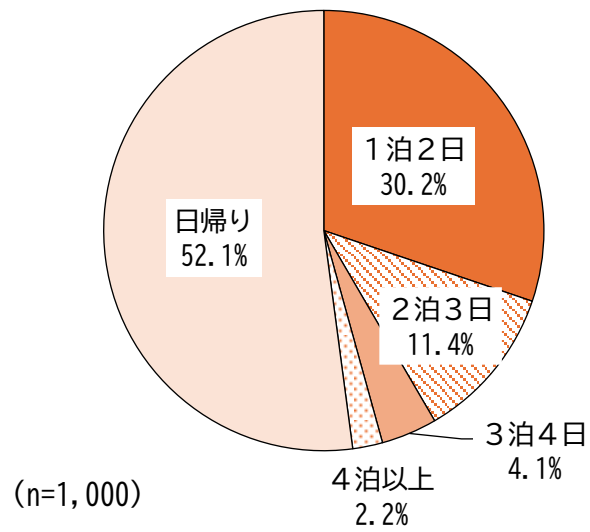
②令和8年6月18日～令和8年7月10日

③令和8年6月17日～令和8年7月5日

第6章 調査結果の整理と制度設計の方向性

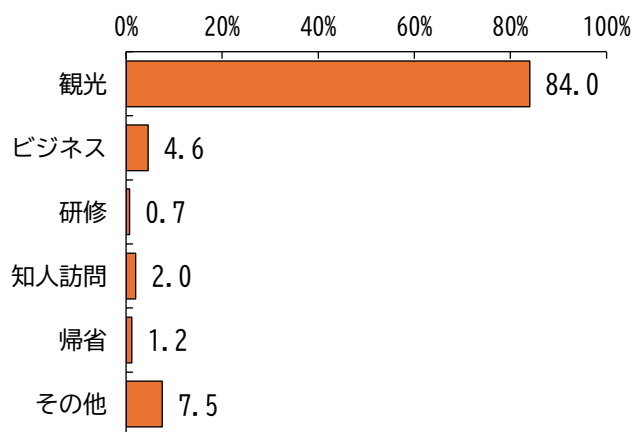
1. インターネット調査

【滞在日数】



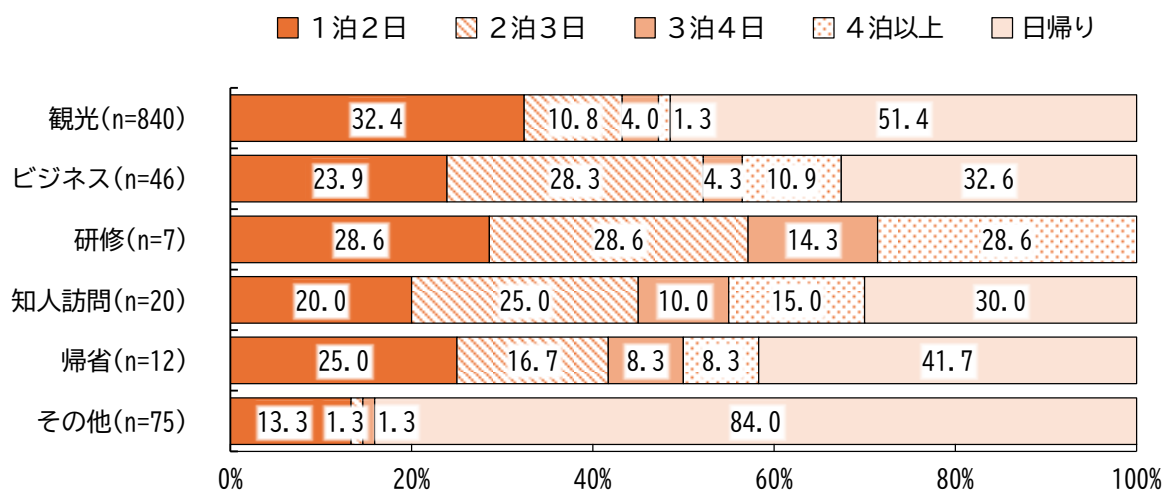
本市における滞在日数は「日帰り」が過半数となっており、宿泊される方で最も多いのは「1泊2日」の30.2%となっている。

【滞在目的】



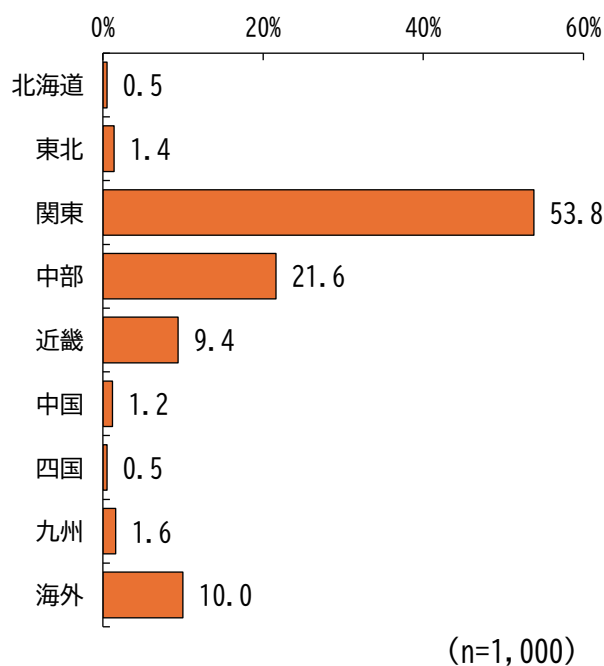
(n=1,000)

【滞在目的別・滞在日数】

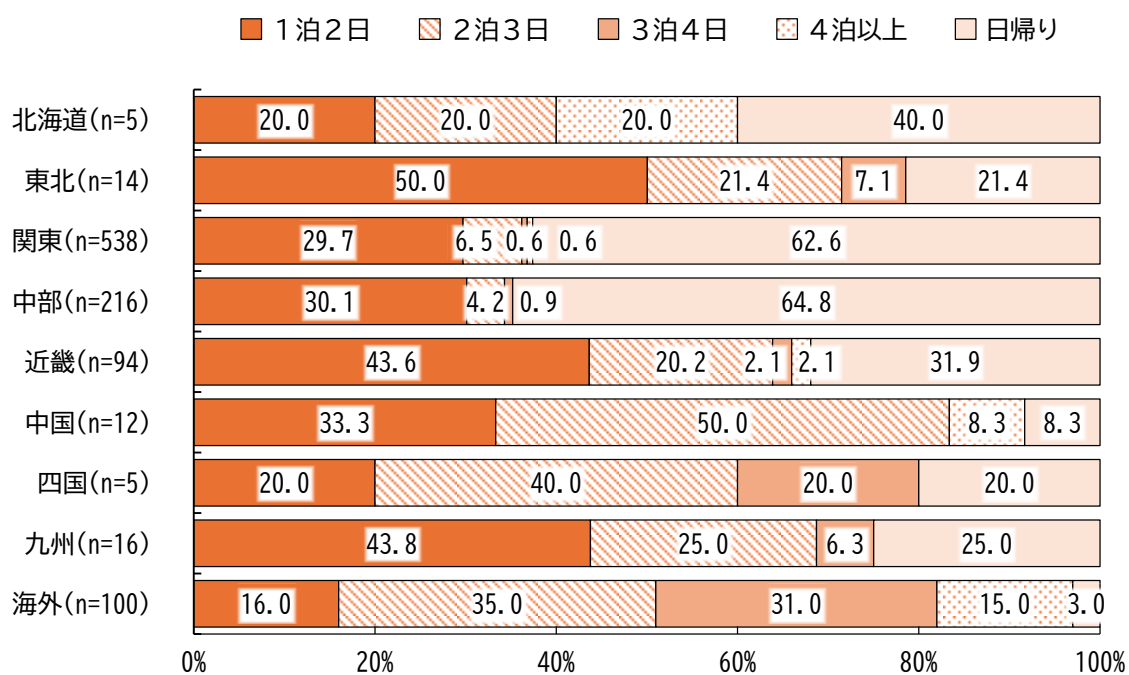


本市での滞在目的は「観光」が84.0%と最も多く、『観光』目的の来訪者の51.4%が「日帰り」と回答していることから、全回答者の4割が「日帰り」での来訪となっている。

【居住地】



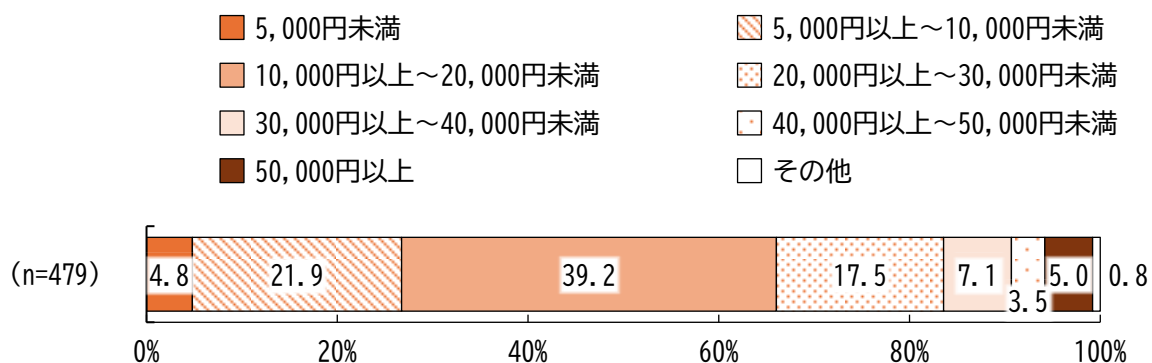
【居住地別・滞在日数】



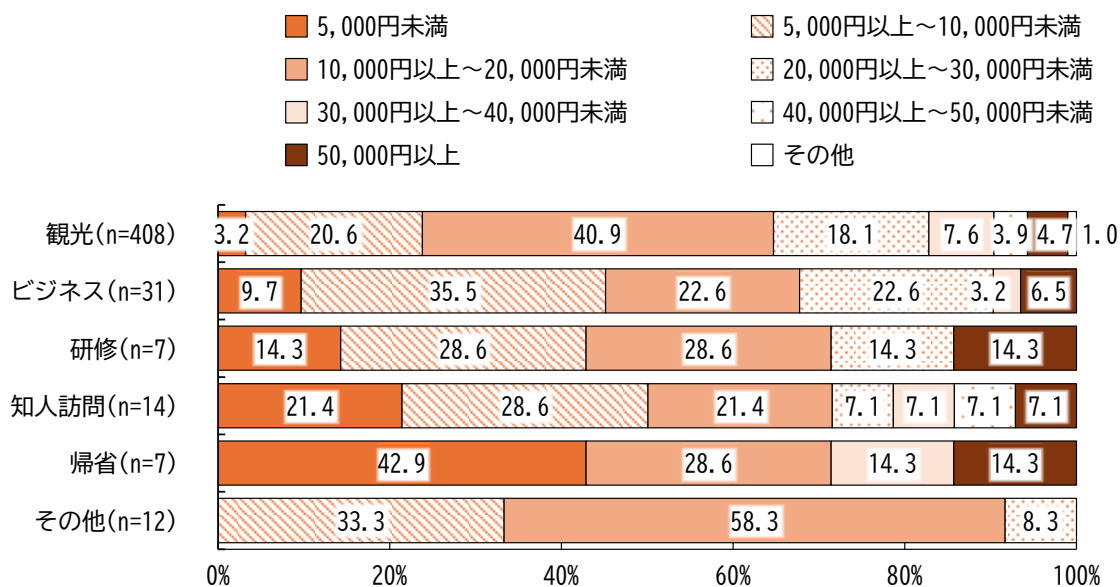
回答者の居住地は「関東」が53.8%、「中部」が21.6%となっており、全体の約75%が近郊からの来訪者となっている。

居住地別にみると、『関東』『中部』の来訪者の6割以上が「日帰り」となっている。

【1人1泊あたりの宿泊費】



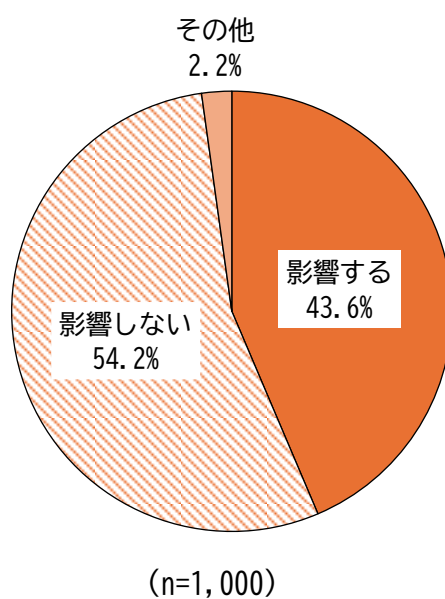
【滞在目的別・1人1泊あたりの宿泊費】



宿泊者の1人1泊あたりの宿泊費は「10,000円以上～20,000円未満」が39.2%、「5,000円以上～10,000円未満」が21.9%と、この2つの価格帯がボリュームゾーンとなっている。

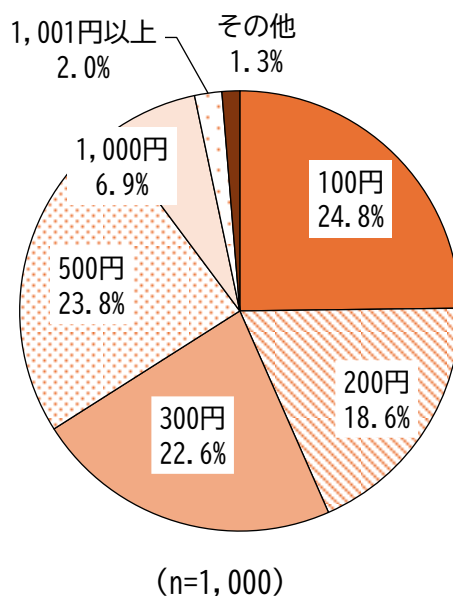
滞在目的別にみると、滞在目的で多い『観光』『ビジネス』でもこの価格帯が多くなっている。

【宿泊税が導入された場合、宿泊先の選定に影響するかどうか】

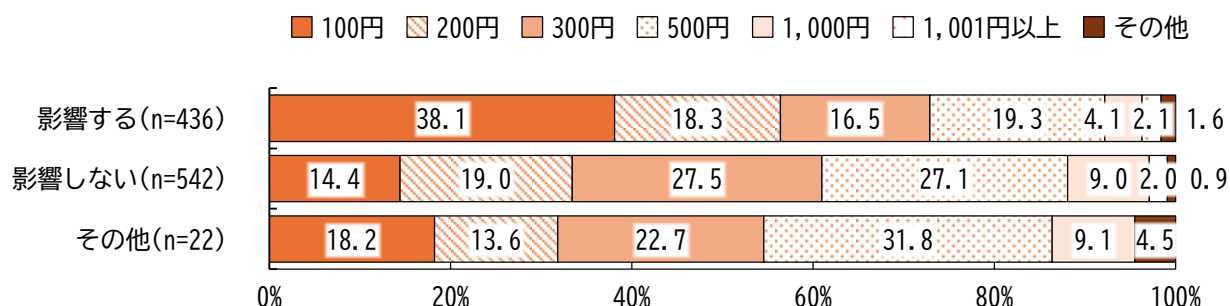


宿泊税が導入された場合、宿泊先の選定に影響するかどうかについては、「影響する」43.6%、「影響しない」54.2%となっている。

【支払っても良いと思える1泊あたりの宿泊税の上限額】



【宿泊先選定への影響度別・支払っても良いと思える1泊あたりの宿泊税の上限額】



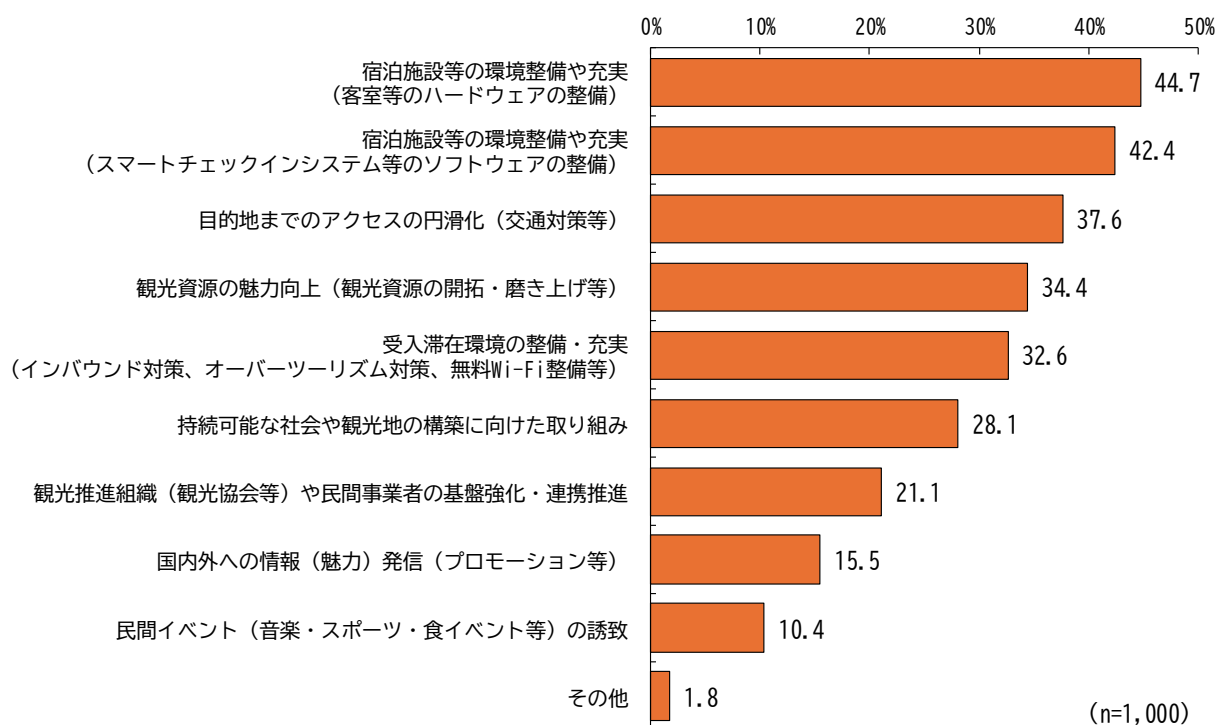
支払っても良いと思える1泊あたりの宿泊税の上限額については、「100円」が24.8%で最も多く、「500円」が23.8%、「300円」が22.6%、「200円」が18.6%が続いている。全体では“300円以下”が66.0%となっている。

宿泊先の選定に『影響する』と回答した人では、「100円」が38.1%で最も多く、「500円」が19.3%、「200円」が18.3%、「300円」が16.5%が続いている。全体では“300円以下”が72.9%となっている。

一方、『影響しない』と回答した人では、「300円」が27.5%で最も多く、「500円」が27.1%、「200円」が19.0%、「100円」が14.4%が続いている。全体では“300円以下”が60.9%となっている。

“500円以下”と範囲を広げると、『影響する』(92.2%)『影響しない』(88.0%)ともに9割前後となり大きな差はみられない。

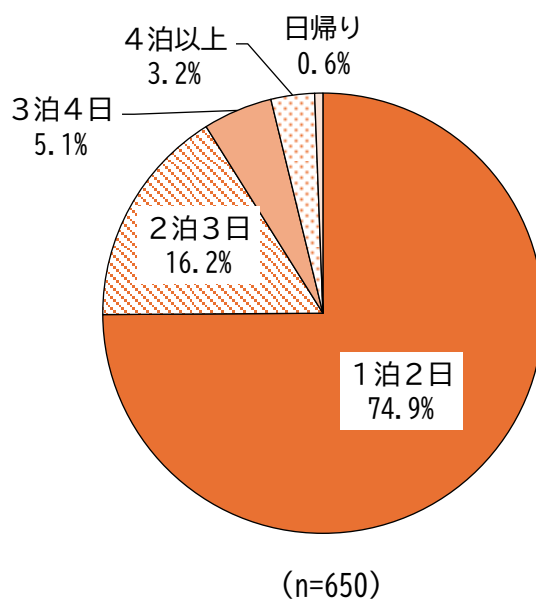
【望ましい宿泊税の使い道】



望ましい宿泊税の使い道については、「宿泊施設等の環境整備や充実（客室等のハードウェアの整備）」「宿泊施設等の環境整備や充実（スマートチェックインシステム等のソフトウェアの整備）」がそれぞれ4割を超えている。ついで、「目的地までのアクセスの円滑化（交通対策等）」が37.6%で3番目となっている。

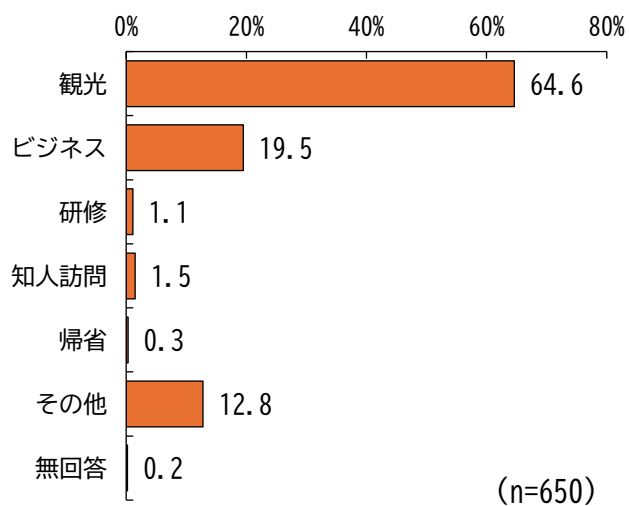
2. 宿泊者調査

【滞在日数】

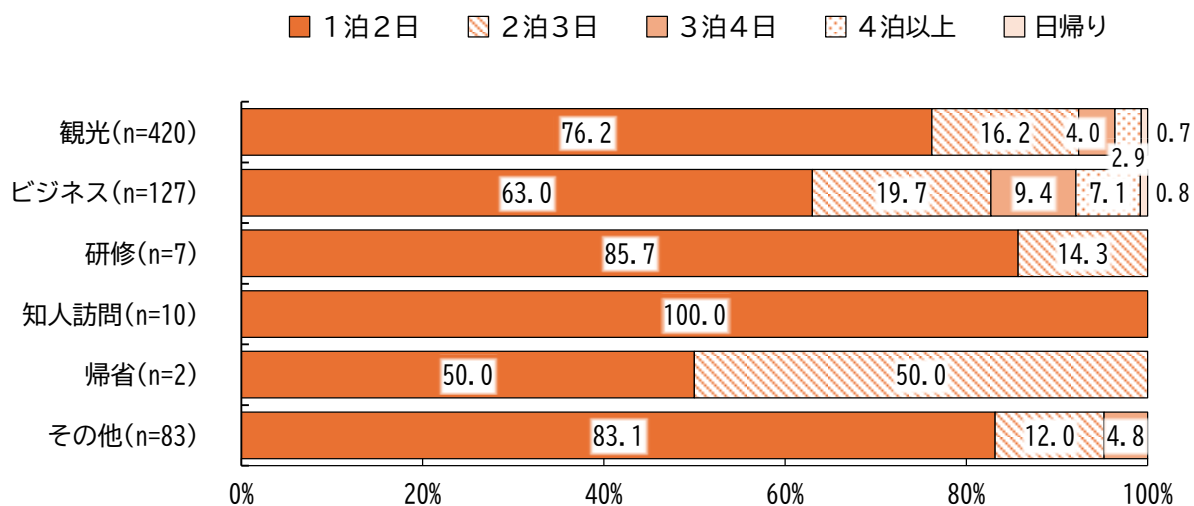


本市における滞在日数はインバウンドを含め「1泊2日」が74.9%、「2泊3日」が16.2%となっている。

【滞在目的】

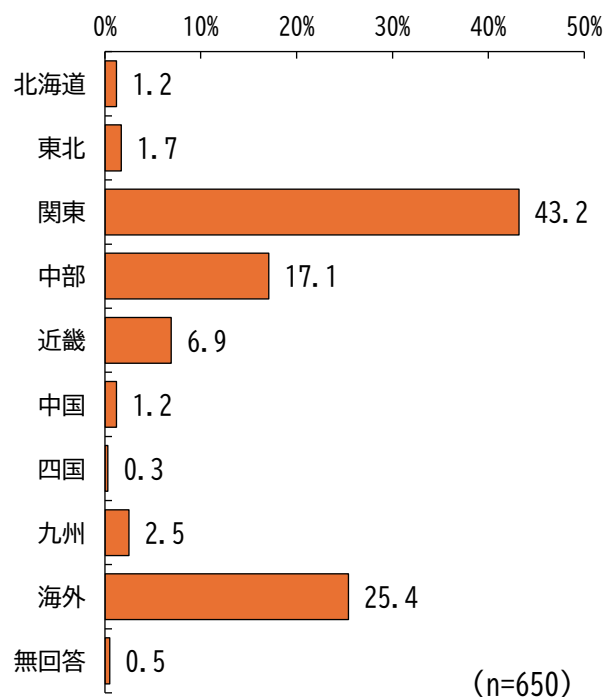


【滞在目的別・滞在日数】

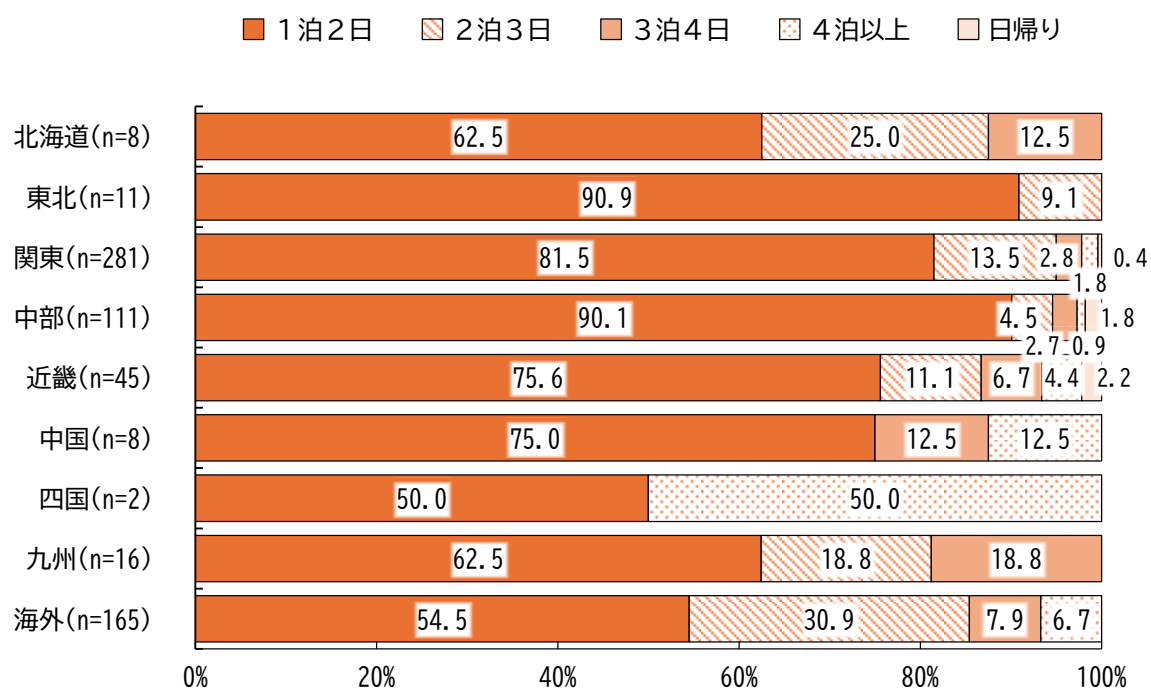


本市での滞在目的は「観光」が64.6%と最も多く、『観光』目的の来訪者の76.2%が「1泊2日」と回答していることから、全回答者の約半数が「1泊2日」での来訪となっている。

【居住地】

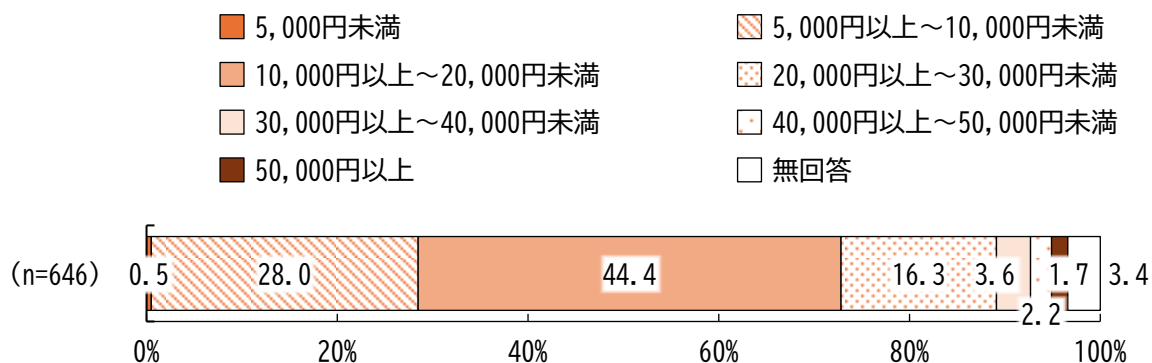


【居住地別・滞在日数】

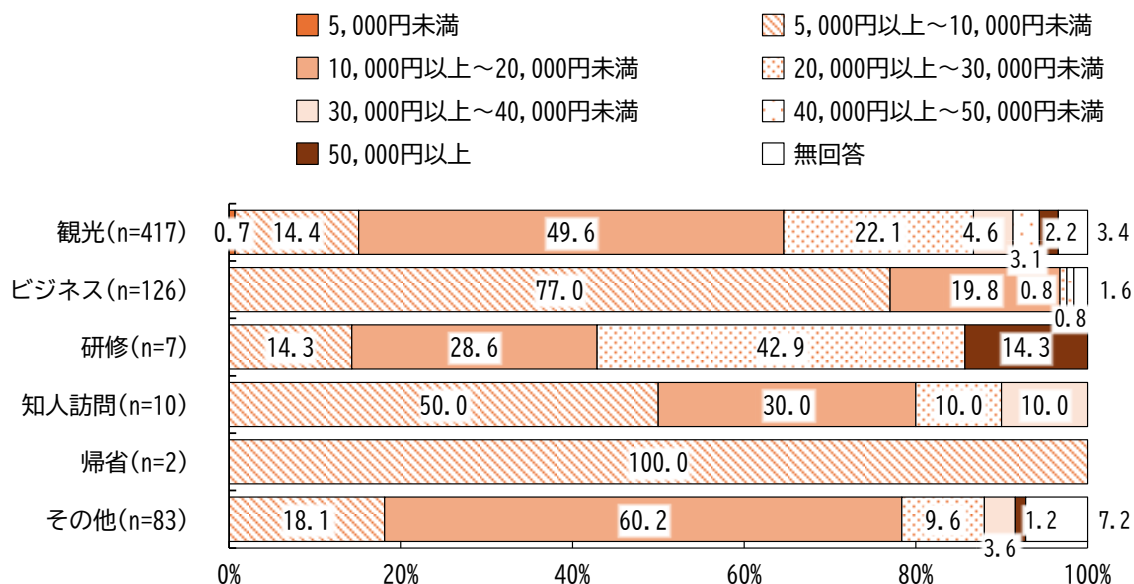


回答者の居住地は「関東」が43.2%、「中部」が17.1%となっており、日本人来訪者の約6割が近郊からの来訪者となっており、『関東』『中部』の来訪者も8割以上が「1泊2日」となっている。

【1人1泊あたりの宿泊費】



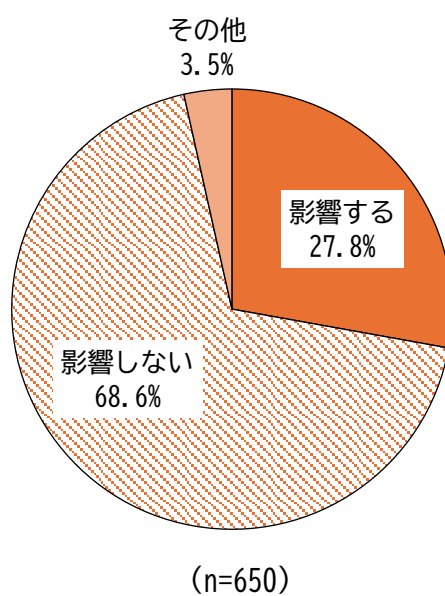
【滞在目的別・1人1泊あたりの宿泊費】



宿泊者の1人1泊あたりの宿泊費は「10,000円以上～20,000円未満」が44.4%、「5,000円以上～10,000円未満」が28.0%と、この2つの価格帯がボリュームゾーンとなっている。

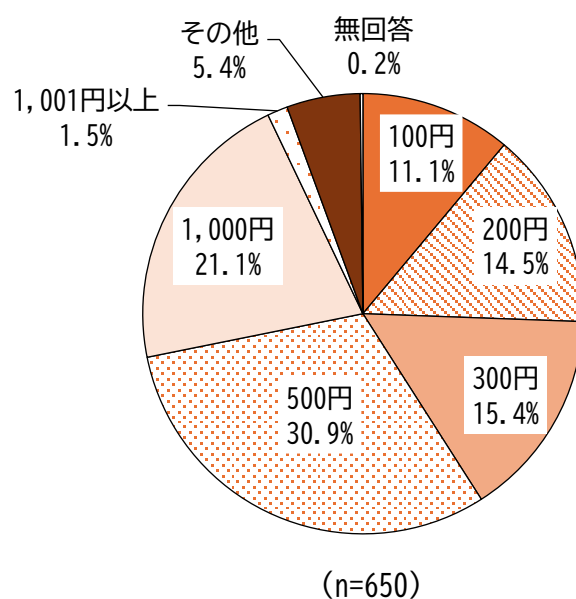
滞在目的で多い『観光』では「10,000円以上～20,000円未満」、「ビジネス」では「5,000円以上～10,000円未満」が多くなっている。

【宿泊税が導入された場合、宿泊先の選定に影響するかどうか】

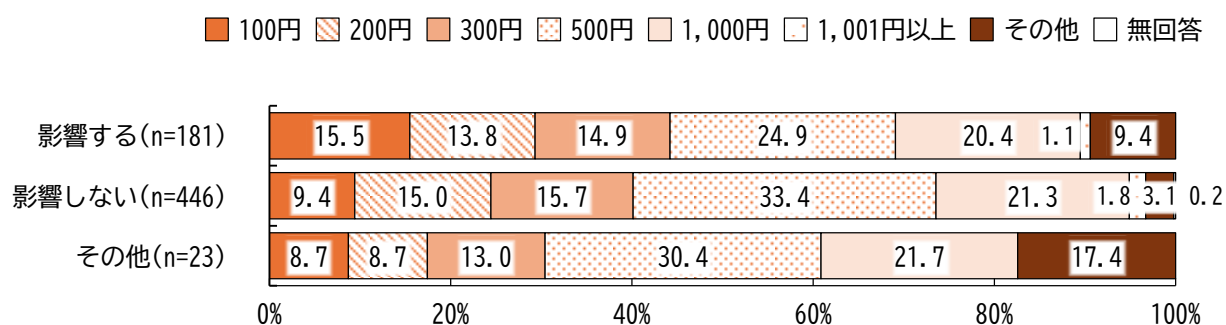


宿泊税が導入された場合、宿泊先の選定に影響するかどうかについては、「影響する」27.8%、「影響しない」68.6%となっている。

【支払っても良いと思える1泊あたりの宿泊税の上限額】



【宿泊先選定への影響度別・支払っても良いと思える1泊あたりの宿泊税の上限額】

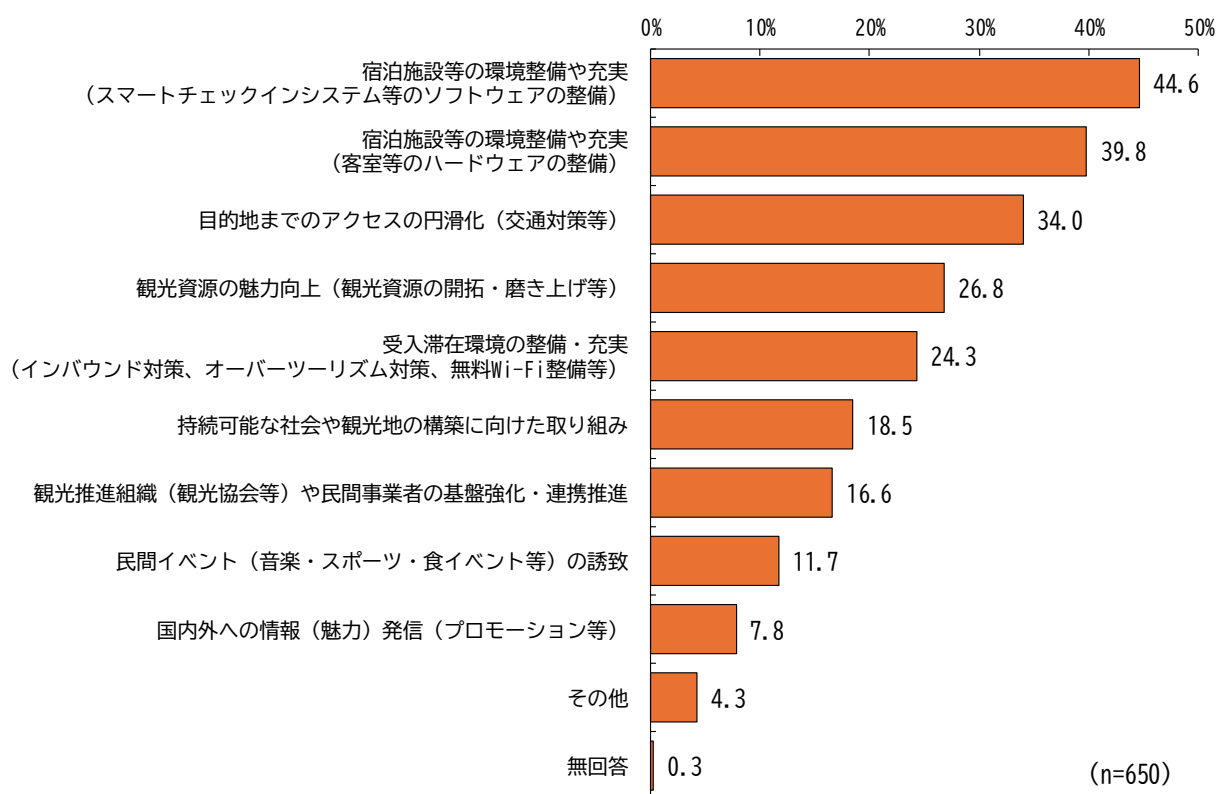


支払っても良いと思える1泊あたりの宿泊税の上限額については、「500円」が30.9%で最も多く、「1,000円」が21.1%、「300円」が15.4%、「200円」が14.5%、「100円」が11.1%が続いている。「500円～1,000円」で52.0%となっている一方で、「300円以下」が41.0%となっている。

宿泊先の選定に『影響する』と回答した人では、「500円」が24.9%で最も多く、「1,000円」が20.4%、「100円」が15.5%、「300円」が14.9%、「200円」が13.8%が続いている。全体では「300円以下」が44.2%、「500円以上1,000円以下」では45.3%となっている。

一方、『影響しない』と回答した人では、「500円」が33.4%で最も多く、「1,000円」が21.3%、「300円」が15.7%、「200円」が15.0%、「100円」が9.4%が続いている。全体では「300円以下」が40.1%、「500円以上1,000円以下」では54.7%となっている。

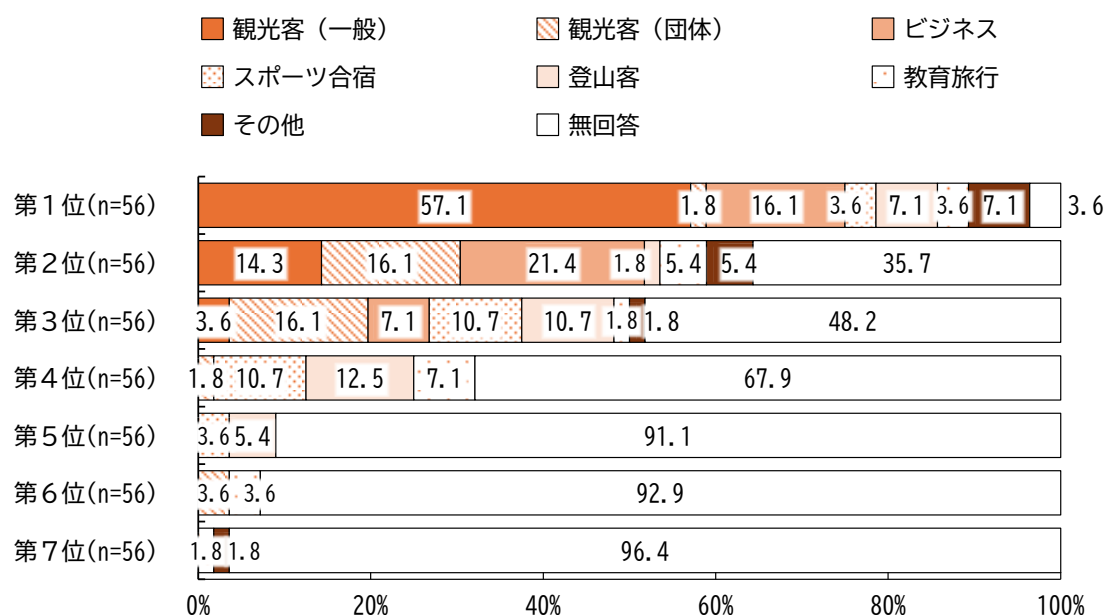
【望ましい宿泊税の使い道】



望ましい宿泊税の使い道については、「宿泊施設等の環境整備や充実 (スマートチェックインシステム等のソフトウェアの整備)」が44.6%で最も多く、「宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)」が39.8%、「目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)」が34.0%と続いている。これらが上位3項目であることはインターネット調査と同様の結果となっている。

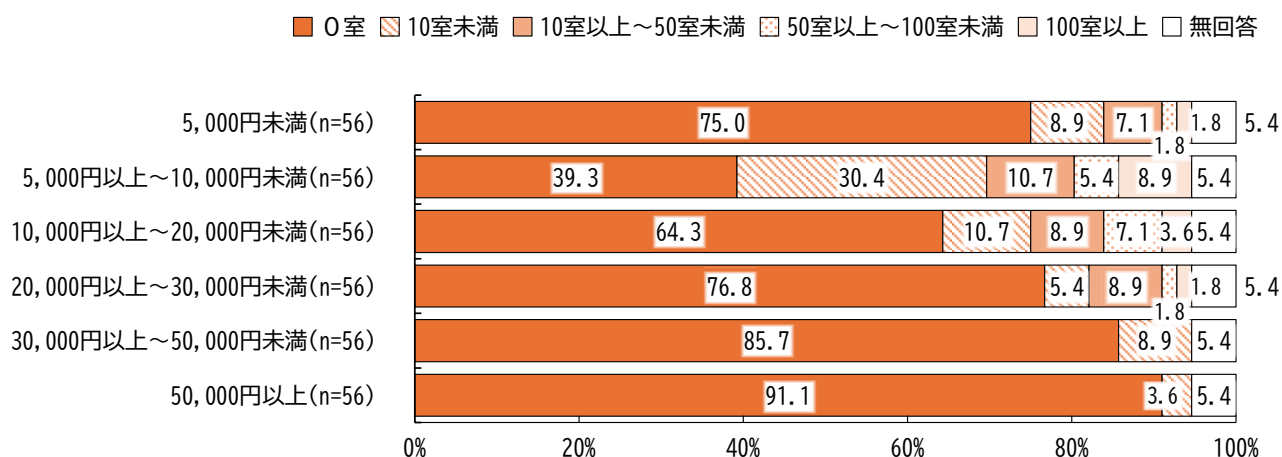
3. 宿泊事業者調査

【利用者属性】



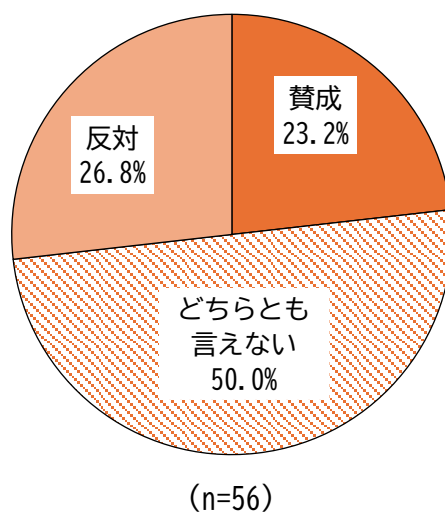
各施設における利用者属性については、「観光客（一般）」「ビジネス」が多くなっている。

【平均的な一人あたりの宿泊料金】

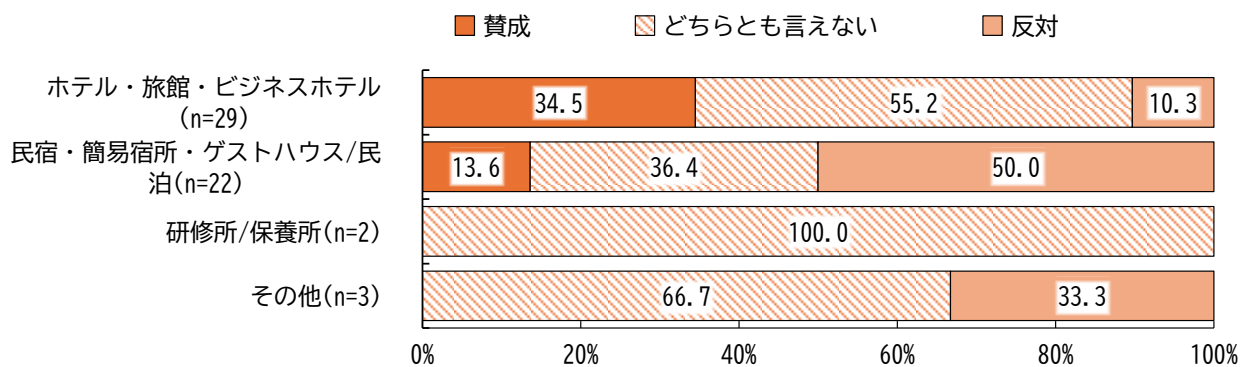


平均的な一人あたりの宿泊料金については、「5,000円以上～10,000円未満」「10,000円以上～20,000円未満」の価格帯が多くなっている。

【宿泊税導入の賛否】



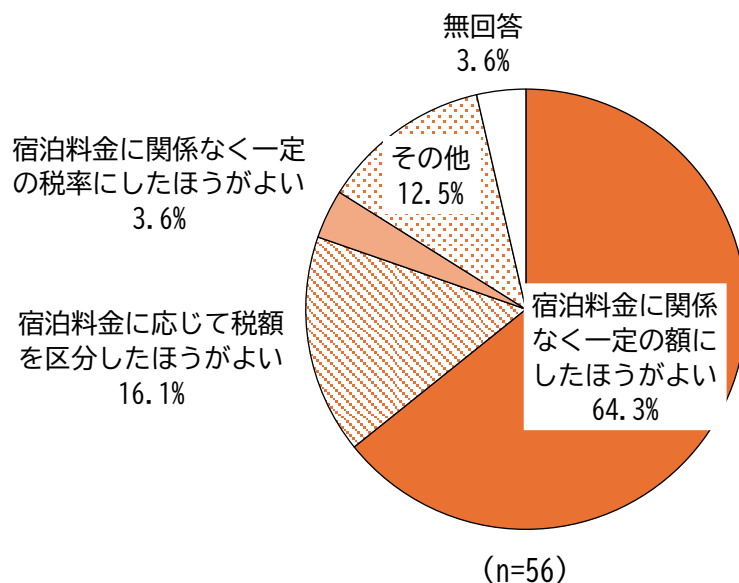
【営業形態別・宿泊税導入の賛否】



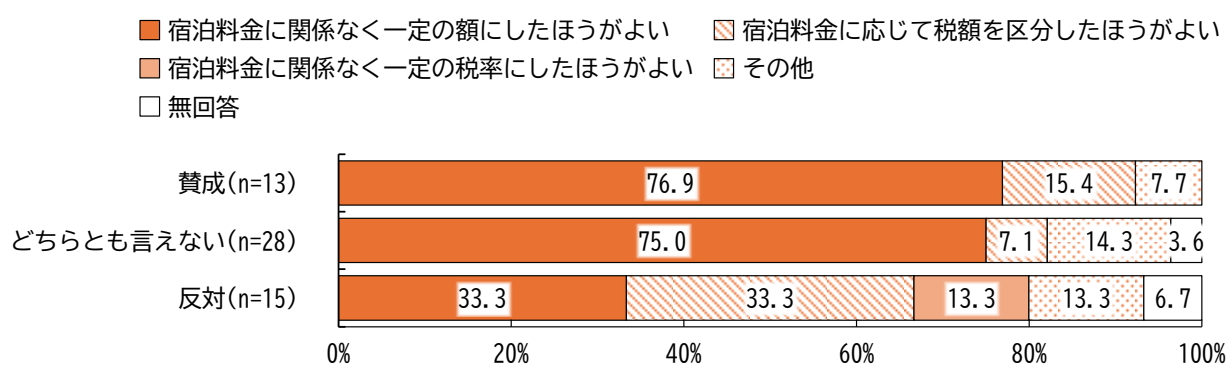
宿泊税導入の賛否については、「賛成」23.2%、「反対」26.8%、「どちらとも言えない」50.0%となっている。

営業形態別にみると『民宿・簡易宿所・ゲストハウス/民泊』での「反対」が多くなっている。

【課税額の設定方法】



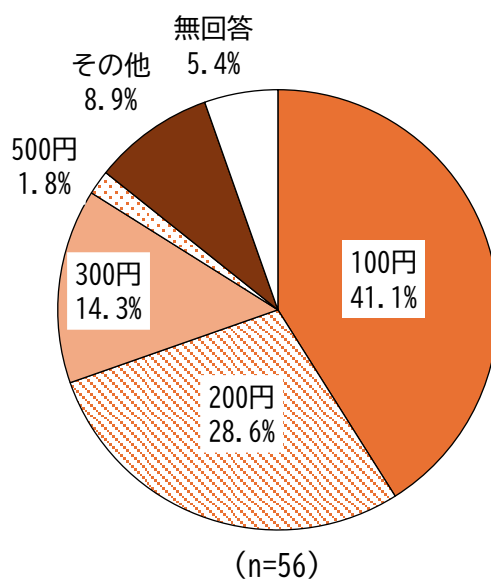
【導入賛否別・課税額の設定方法】



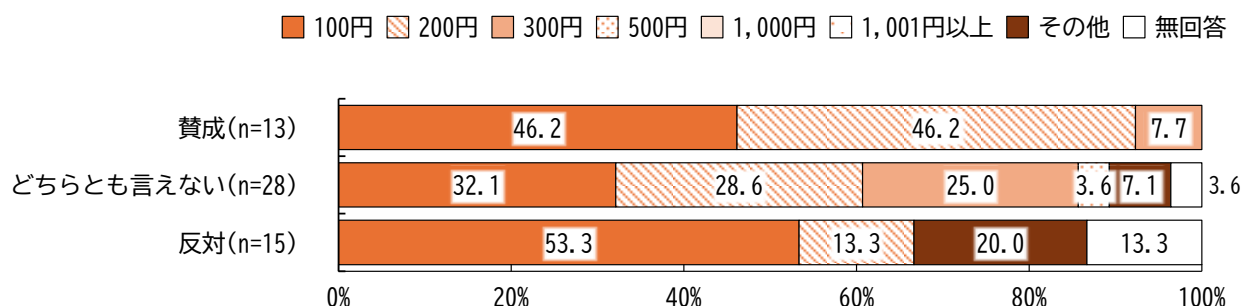
課税額の設定方法については、「宿泊料金に関係なく一定の額にした方がよい」（＝定額制）が64.3%、「宿泊料金に応じて税額を区分した方がよい」（＝段階制）が16.1%、「宿泊料金に関係なく一定の税率にしたほうがよい」（＝定率制）が3.6%となっている。

導入賛否別にみると『賛成』『どちらとも言えない』派は「定額制」が75%前後となっているが、『反対』派は意見が分かれている。

【宿泊者が負担する妥当な宿泊税の金額】



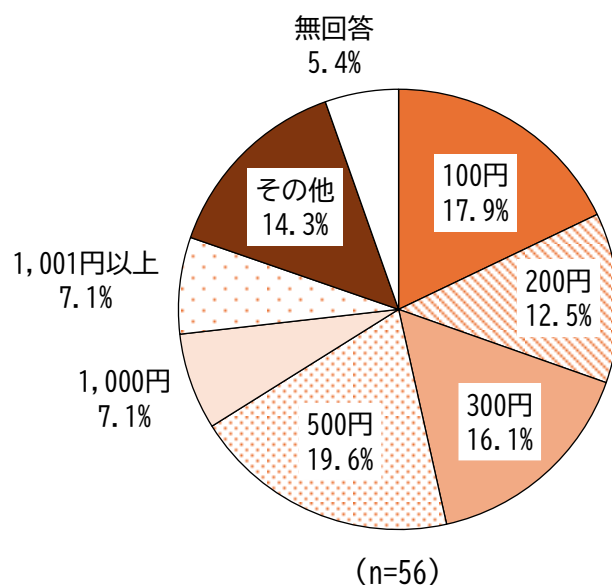
【導入賛否別・宿泊者が負担する妥当な宿泊税の金額】



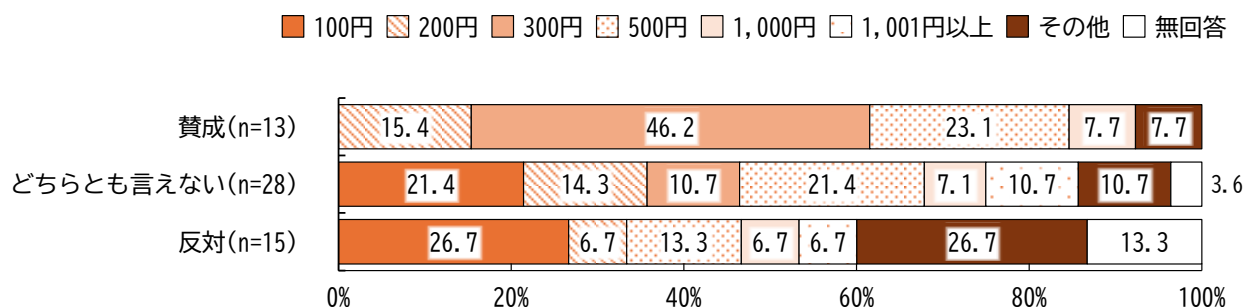
宿泊者が負担する妥当な宿泊税の金額については、「100円」41.1%、「200円」28.6%、「300円」14.3%となっており、全体では“300円以下”が全体の8割以上となっている。

導入賛否別にみると、『賛成』では「100円」「200円」がそれぞれ46.2%、「300円」7.7%となっており、全体では“300円以下”が100%となっている。一方、『反対』では「100円」53.3%、「200円」13.3%となっており、全体では“200円以下”が66.6%となっている。また、『どちらとも言えない』では「100円」32.1%、「200円」28.6%、「300円」25.0%となっており、全体では“300円以下”が85.7%となっている。

【宿泊客数に影響すると考えられる宿泊税の金額】



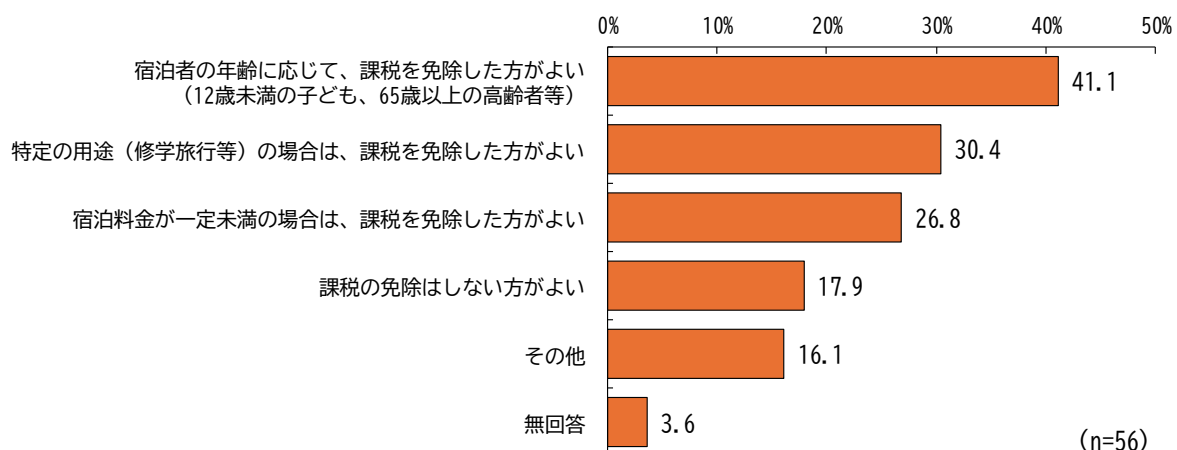
【導入賛否別・宿泊客数に影響すると考えられる宿泊税の金額】



宿泊客数に影響すると考えられる宿泊税の金額については、「500円」19.6%、「100円」17.9%、「300円」16.1%、「200円」12.5%となっており、全体では“500円以下”66.1%、“300円以下”46.5%となっている。

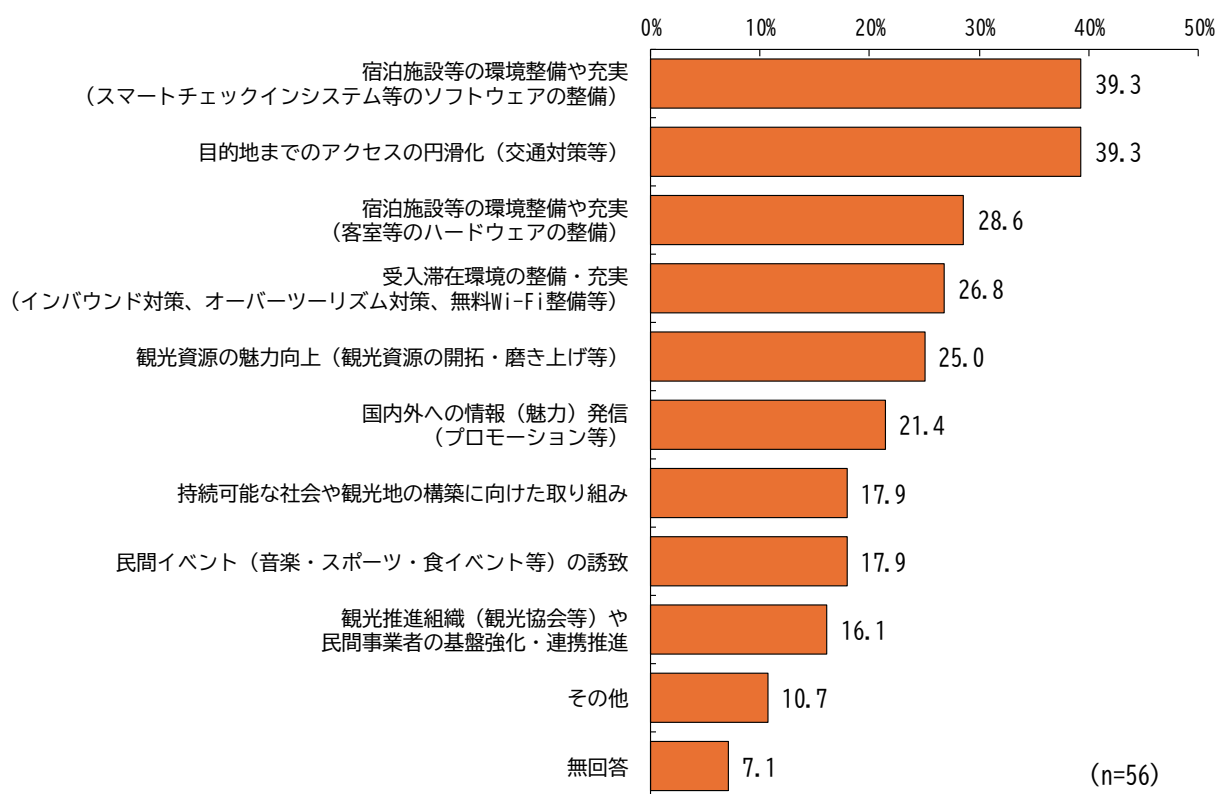
導入賛否別にみると、『賛成』では「300円」46.2%、「500円」23.1%、「200円」15.4%となっており、全体では“300円以下”が61.6%となっている。一方、『反対』では「100円」26.7%、「500円」13.3%、「200円」「1,000円」がそれぞれ6.7%となっており、全体では“300円以下”が33.4%となっている。また、『どちらとも言えない』では「100円」「500円」がそれぞれ21.4%、「200円」14.3%、「300円」10.7%となっており、全体では“300円以下”が46.4%となっている。

【課税の免除方法】



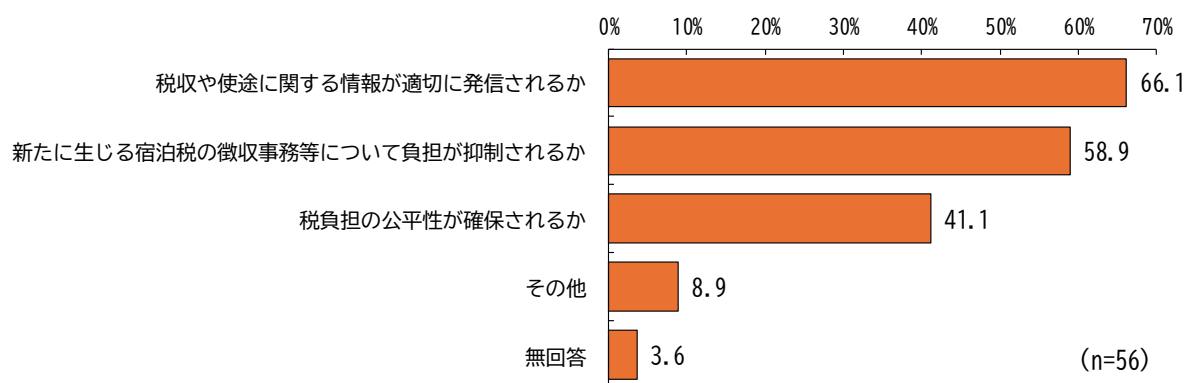
課税の免除方法については、「宿泊者の年齢に応じて、課税を免除した方がよい（12歳未満の子ども、65歳以上の高齢者等）」が41.1%で最も多く、「特定の用途（修学旅行等）の場合は、課税を免除した方がよい」30.4%、「宿泊料金が一定未満の場合は、課税を免除した方がよい」26.8%と続いている。一方で、「課税の免除はしない方がよい」が17.9%と免税点を設けない方がよいと回答した宿泊事業者も一定数いる。

【望ましい宿泊税の使い道】



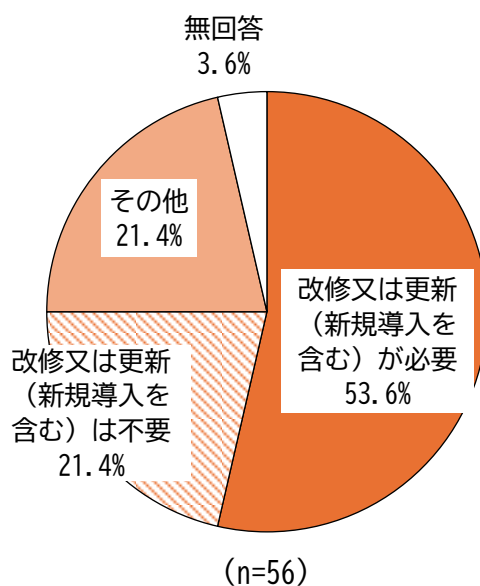
望ましい宿泊税の使い道については、「宿泊施設等の環境整備や充実 (スマートチェックインシステム等のソフトウェアの整備)」「目的地までのアクセスの円滑化 (交通対策等)」がそれぞれ 39.3% で最も多くなっている。ついで、「宿泊施設等の環境整備や充実 (客室等のハードウェアの整備)」が 28.6% となっており、インターネット調査・宿泊者の調査結果と上位 3 項目は共通している。

【宿泊税導入にあたって課題と感じていること】



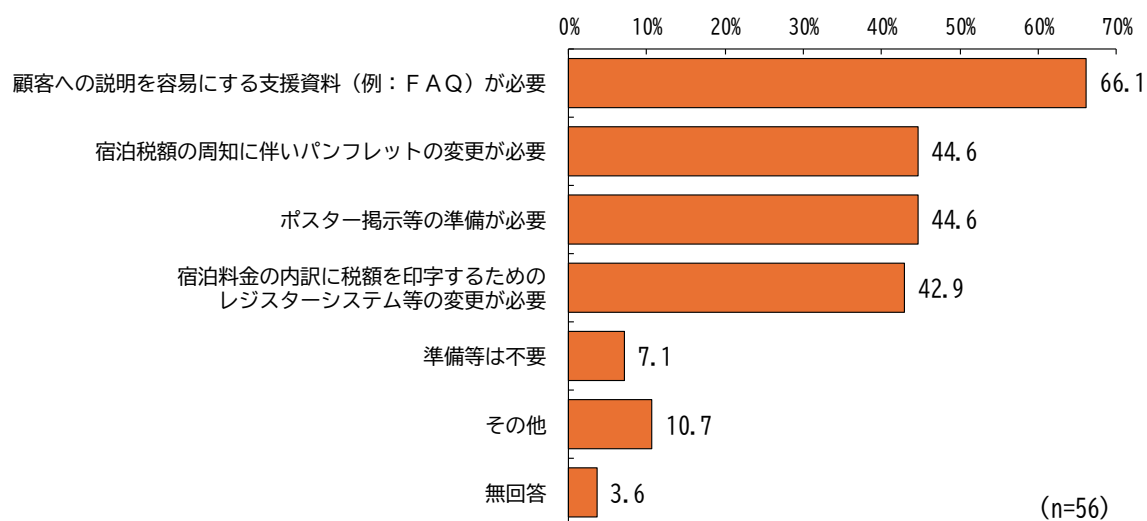
宿泊税導入にあたって課題と感じていることは、「税込収や使途に関する情報が適切に発信されるか」66.1%、「新たに生じる宿泊税の徴収事務等について負担が抑制されるか」58.9%、「税負担の公平性が確保されるか」41.1%となっている。

【宿泊税が導入された場合の管理システム改修等の必要性】



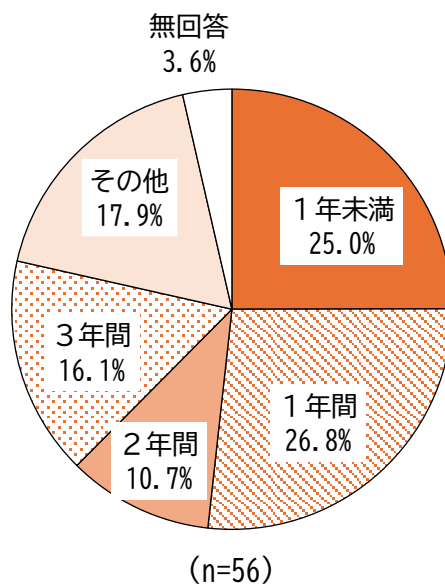
宿泊税が導入された場合の管理システム改修等の必要性については、「改修又は更新（新規導入を含む）が必要」が53.6%、「改修又は更新（新規導入を含む）は不要」が21.4%となっている。

【システム改修のほかに必要と感じていること】



システム改修のほかに必要と感じていることについては、「顧客への説明を容易にする支援資料（例：FAQ）が必要」が66.1%となっている。

【宿泊税導入に伴う準備期間・周知期間】



宿泊税導入に伴う準備期間・周知期間については、「1年間」26.8%、「1年未満」25.0%、「3年間」16.1%、「2年間」10.7%となっている。全体で“1年間”との回答は過半数となっているが、“1年以上”との回答も26.8%となっており、慎重に検討する必要がある。

第7章 まとめ

本市の状況は以下のように整理される。

1. 宿泊事業者の意見

調査結果では、定額制64.3%、段階制16.1%、定率制3.6%となっており、現場では定額制の支持率が圧倒的である。

2. 宿泊者が支払っても良いと思える上限額

インターネット調査では「100円」24.8%が最多で、「500円」が23.8%、「300円」が22.6%、「200円」が18.6%で続いており、全体では“300円以下”が66.0%となっている。

宿泊者調査では「500円」30.9%が最多で、「1,000円」が21.1%、「300円」が15.4%、「200円」が14.5%、「100円」が11.1%で続いており、全体では“500円～1,000円”が52.0%、“300円以下”が41.0%となっている。

宿泊税が導入された場合の宿泊先の選定に『影響する』と回答した人では「100円」が、『影響しない』と回答した人では「300円」「500円」が最多価格帯となっている。

2つの調査結果から、実際に泊まっている人は意外と高くても受け入れる傾向はあるものの、安いに越したことはないと考えている層も一定数おり、全体としては300円までは上限額として比較的受容性が高いといえる。

3. 宿泊事業者が考える妥当な金額／宿泊客数に影響すると考える金額

妥当な課税額については、「100円」41.1%が最多で、「200円」28.6%、「300円」14.3%という結果から、“300円以下”で8割超となっている。

一方、宿泊客数に影響すると考える課税額については、「500円」19.6%、「100円」17.9%、「300円」16.1%、「200円」12.5%となっており、全体では“300円以下”46.5%となっている。

妥当な課税額は100円が最多で、300円までは妥当と考えている宿泊事業者が多く、宿泊者調査における上限額と似た傾向がみられる。

また、300円までは宿泊客数に影響しないと半数ほどは考えており、宿泊者調査における宿泊先選定の影響別の回答金額と近い傾向にある。

4. 宿泊者層

インターネット調査結果では、来訪目的に関わらず「日帰り客」が過半数を占めている現状がある。また、宿泊者調査では、滞在日数は「1泊2日」が最多となっている。

5. 宿泊料金帯

本市の宿泊料金は「5,000～10,000円」「10,000円～20,000円」が最多価格帯であることから、段階制でも定額制でも設計できる価格帯と考えられる。しかし、最多価格帯を考慮すると、京都市や東京都のような高価格帯向け段階制を採る理由は弱いと考えられる。

6. 宿泊税の使途

宿泊者・宿泊事業者ともに、宿泊税の使途が概ね一致し、受入環境の整備や交通対策など、自分たちが効果を実感できる施策に活用することを期待していることから、金額の多寡よりも使途が宿泊税導入の賛否に影響する可能性が高いことがうかがえる。

以上のことを勘案すると、宿泊者及び宿泊事業者ともに300円までは許容できる課税額と考える回答が多くなっている。宿泊者では高めの金額でも許容できる層が一定数いるものの、低額が望ましいと考える層もいる。一方、宿泊事業者では100円または200円を支持する割合が高い結果となっている。

また、全国の導入自治体においても、温泉地や地方観光地では100円から300円程度の定額制を採用する事例が多く見られることから、本市においても、この価格帯を基本として制度設計を検討することが考えられる。

制度設計の方向性（案）

案	課税額	特徴	留意点
1	100円定額	理解を得やすく導入しやすい 将来見直しもしやすい	財源としてはやや弱い
2	200円定額	調査結果との整合性高い バランスが良い	事業者との合意形成が必要
3	300円定額	安定した財源が確保	事業者の理解が課題

以上の調査結果及び全国の導入事例を踏まえると、本市においては100円から300円程度の定額制を基本として制度設計を検討することが考えられる。

一方で、最終的な税額や制度内容については、必要となる財源規模、税収の使途、宿泊事業者との協議結果などを踏まえ、総合的に判断することが望ましい。

1. 宿泊者及び観光客への調査

1

御殿場市新たな観光振興財源検討に伴うアンケート

本アンケートは、新たな観光振興施策の財源として、現在全国の多くの自治体で導入されている宿泊税について、本市における導入検討の参考資料とすることを目的に行うものです。

来訪者様の実態や課題に感じていること等について正確に把握するため、できる限りすべての設問への回答にご協力をお願い申し上げます。

Q1 性別を教えてください。

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

Q2 年代を教えてください。

1. ～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳
4. 50～59歳	5. 60～69歳	6. 70歳以上

Q3 お住まいの市区町村（インバウンドの方の場合は国籍）を教えてください。

お住まい（ ）市 区 町 村	国籍（ ）
-------------------	----------

Q4 本市への来訪回数を教えてください。

1. 初めて	2. 2回	3. 3回
4. 4回	5. 5～9回	6. 10回以上

Q5 本市での滞在目的を教えてください。

1. 観光	2. ビジネス
3. 研修	4. 知人訪問
5. 帰省	6. その他（ ）

Q6 本市での滞在日数を教えてください。

1. 1泊2日	2. 2泊3日
3. 3泊4日	4. 4泊以上
5. 日帰り → Q8にお進みください	

Q7 本市での1人1泊あたりの宿泊費を教えてください。

1. 5,000円未満	2. 5,000円以上～10,000円未満
3. 10,000円以上～20,000円未満	4. 20,000円以上～30,000円未満
5. 30,000円以上～40,000円未満	6. 40,000円以上～50,000円未満
7. 50,000円以上	

Q8 宿泊税について知っていますか。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、詳細を知らない
3. 知らない

※宿泊税とは、観光資源の魅力を高め、観光客の皆様の受入れ環境の整備をする等、観光振興を図る事業に利用する目的をもって、宿泊者の方に負担していただく税金です。

Q9 宿泊税が導入された場合、宿泊先の選定に影響しますか。

1. 影響する
2. 影響しない
3. その他 ()

Q10 支払っても良いと思える1泊あたりの宿泊税の上限額を教えてください。

1. 100円
2. 200円
3. 300円
4. 500円
5. 1,000円
6. 1,001円以上
7. その他 ()

Q11 宿泊税の使い道として望ましいものを選んでください。(複数回答可)

1. 宿泊施設等の環境整備や充実（スマートチェックインシステム等のソフトウェアの整備）
2. 宿泊施設等の環境整備や充実（客室等のハードウェアの整備）
3. 国内外への情報（魅力）発信（プロモーション等）
4. 観光推進組織（観光協会等）や民間事業者の基盤強化・連携推進
5. 目的地までのアクセスの円滑化（交通対策等）
6. 持続可能な社会や観光地の構築に向けた取り組み
7. 観光資源の魅力向上（観光資源の開拓・磨き上げ等）
8. 受入滞在環境の整備・充実（インバウンド対策、オーバーツーリズム対策、無料Wi-Fi整備等）
9. 民間イベント（音楽・スポーツ・食イベント等）の誘致
10. その他 ()

Q12 宿泊税に関するご意見等があれば、ご記入ください。

ご回答ありがとうございました。今後の制度設計の参考にさせていただきます。

2. 宿泊施設への調査

御殿場市新たな観光振興財源検討に伴うアンケート

本アンケートは、新たな観光振興施策の財源として、現在全国の多くの自治体で導入されている宿泊税について、本市における導入検討の参考資料とすることを目的に行うものです。

宿泊事業者様の営業実態や課題に感じていること等について正確に把握するため、できる限りすべての設問への回答にご協力をお願い申し上げます。

(お手数ですが、本アンケートは宿泊施設ごとに回答してください。)

回答期限：令和8年7月5日（日）までに投函してください。

回答方法：同封の返信用封筒または専用の回答フォームへの入力

問合せ先：株式会社サーベイリサーチセンター静岡事務所（委託業者）

電話：054-251-3661

御殿場市役所 企画戦略部 観光交流課（発注者）

電話：0550-82-4622

〈回答フォームへの入力はこちら〉

URL：<https://logoform.jp/form/W7uE/I54383I>

※二次元バーコード →



宿泊事業に関する基本情報について

Q1 貴宿泊施設の名称を記入してください。

Q2 貴宿泊施設の所在地を記入してください。

Q3 宿泊事業の営業状況について、次の中から該当するものを選択してください。

1. 営業している

2. 休業している

3. 廃業している

4. その他（

）

Q4 宿泊業としての営業形態（運営タイプ）について、次の中から該当するものを選択してください。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. ホテル | 2. 旅館 |
| 3. 民宿 | 4. ビジネスホテル |
| 5. 簡易宿所 | 6. 研修所/保養所 |
| 7. カプセルホテル | 8. ゲストハウス/民泊 |
| 9. その他（ ） | |

Q5 貴宿泊施設の利用者属性（顧客タイプ）について、多いものから順番に番号をつけてください。
分かる範囲で結構です。

利用者	順位
1. 観光客（一般）	番目
2. 観光客（団体）	番目
3. ビジネス	番目
4. スポーツ合宿	番目
5. 登山客	番目
6. 教育旅行	番目
7. その他（ ）	番目

Q6 貴宿泊施設の客室数について、次の中から該当するものを選択してください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 10室未満 | 2. 10室以上～50室未満 |
| 3. 50室以上～100室未満 | 4. 100室以上 |

Q7 貴宿泊施設全体の収容人数について、次の中から該当するものを選択してください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 10人未満 | 2. 10人以上～50人未満 |
| 3. 50人以上～100人未満 | 4. 100人以上 |

Q8 1年間を通じた平均的な宿泊客数について、次の中から該当するものを選択してください。
（年間総宿泊人数）

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 1,000人未満 | 2. 1,000人以上～5,000人未満 |
| 3. 5,000人以上～10,000人未満 | 4. 10,000人以上～50,000人未満 |
| 5. 50,000人以上 | |

Q9 貴宿泊施設の平均的な一人あたりの宿泊料金（食事代、入湯税、消費税、施設等利用サービス料は含みません）について、次に掲げる区分ごとに客室数を記入してください。

宿泊料金の区分（一人あたり）	客室数
1. 5,000円未満	室
2. 5,000円以上～10,000円未満	室
3. 10,000円以上～20,000円未満	室
4. 20,000円以上～30,000円未満	室
5. 30,000円以上～50,000円未満	室
6. 50,000円以上	室

※Ⅰ室利用単位で宿泊料金を設定している場合については、当該客室の定員で除した料金とします。

宿泊税制度に関するご意向について

Q10 新たな観光振興施策の財源として宿泊税を導入することへの賛否について、次の中から該当するものを選択してください。

1. 賛成 2. どちらとも言えない 3. 反対

上記を選択した理由

Q11 宿泊税を導入する場合、課税額について最も妥当だと感じる設定方法を次の中から選択してください。

1. 宿泊料金に関係なく一定の額にしたほうがよい（参考：事例A）
2. 宿泊料金に応じて税額を区分したほうがよい（参考：事例B）
3. 宿泊料金に関係なく一定の税率にしたほうがよい（参考：事例C）
4. その他（ ）

〈参考〉

事例	導入自治体	宿泊税額
事例A	静岡県熱海市	定額制：1人1泊一律200円
事例B	神奈川県湯河原町	段階的定額制：1人1泊の宿泊料金が①5万円未満＝300円 ②5万円以上＝500円
事例C	北海道倶知安町	定率制：1人1泊一律宿泊料金の3%

Q12 宿泊税を導入する場合、宿泊者が負担する宿泊税について、最も妥当だと感じる金額を次の中から選択してください。

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1. 100円 | 2. 200円 | 3. 300円 |
| 4. 500円 | 5. 1,000円 | 6. 1,001円以上 |
| 7. その他（ ） | | |

Q13 宿泊客数に影響する宿泊税の金額について、最も当てはまる金額を次の中から選択してください。

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1. 100円 | 2. 200円 | 3. 300円 |
| 4. 500円 | 5. 1,000円 | 6. 1,001円以上 |
| 7. その他（ ） | | |

Q14 既に宿泊税を導入している自治体の中には、宿泊料金が一定未満の場合や一定の年齢に満たない者等には、課税を免除する方法を採用しているところもあります。

宿泊税を導入する場合、妥当だと感じる方策を次の中から選択してください。（複数選択可）

1. 課税の免除はしない方がよい
2. 宿泊料金が一定未満の場合は、課税を免除した方がよい
3. 宿泊者の年齢に応じて、課税を免除した方がよい（12歳未満の子ども、65歳以上の高齢者等）
4. 特定の用途（修学旅行等）の場合は、課税を免除した方がよい
5. その他（ ）

Q15 宿泊税を導入する場合、宿泊税の納付方法について、貴宿泊施設の現在の営業実態を踏まえて最も妥当だと感じる方法を次の中から選択してください。

1. 毎月申告納付方式（標準）
2. 四半期納付方式
3. 年次納付方式（1年ごと）
4. その他（ ）

Q16 宿泊税を導入する場合、使途として望ましいと感じる活用方法を次の中から選択してください。（複数選択可）

1. 宿泊施設等の環境整備や充実（スマートチェックインシステム等のソフトウェアの整備）
2. 宿泊施設等の環境整備や充実（客室等のハードウェアの整備）
3. 国内外への情報（魅力）発信（プロモーション等）
4. 観光推進組織（観光協会等）や民間事業者の基盤強化・連携推進
5. 目的地までのアクセスの円滑化（交通対策等）
6. 持続可能な社会や観光地の構築に向けた取り組み
7. 観光資源の魅力向上（観光資源の開拓・磨き上げ等）
8. 受入滞在環境の整備・充実（インバウンド対策、オーバーツーリズム対策、無料Wi-Fi整備等）
9. 民間イベント（音楽・スポーツ・食イベント等）の誘致
10. その他（ ）

Q17 宿泊税を導入するにあたって、課題と感じていることを次の中から選択してください。
(複数選択可)

1. 税収や使途に関する情報が適切に発信されるか
2. 税負担の公平性が確保されるか
3. 新たに生じる宿泊税の徴収事務等について負担が抑制されるか
4. その他 ()

宿泊税制度に伴う準備や対応について

Q18 貴宿泊施設では予約や精算等を管理するシステムを導入していますか。
次の中から該当するものを選択してください。

1. 導入している
2. 導入していない(手作業または他の方法で管理している)
3. その他 ()

Q19 宿泊税が導入された場合、既存の予約や精算等を管理するシステムの改修等が必要ですか。
次の中から該当するものを選択してください。

1. 改修又は更新(新規導入を含む)が必要
→ 必要な概算費用 () 円・必要な改修期間 () ヶ月
2. 改修又は更新(新規導入を含む)は不要
3. その他 ()

Q20 システムの改修のほか宣伝資料に関する準備や変更等に関する影響について、必要と感じていることを次の中から選択してください。(複数選択可)

1. 準備等は不要
2. 宿泊税額の周知に伴いパンフレットの変更が必要
3. ポスター掲示等の準備が必要
4. 宿泊料金の内訳に税額を印字するためのレジスターシステム等の変更が必要
5. 顧客への説明を容易にする支援資料(例:FAQ)が必要
6. その他 ()

Q21 宿泊税導入に伴う準備期間、周知期間として最も当てはまるものを次の中から選択してください。

1. 1年未満

2. 1年間

3. 2年間

4. 3年間

5. その他（

）

宿泊税制度に関するご意見について

Q22 宿泊税制度導入に向けた市の取り組みに対するご意見やご要望をご自由にお書きください。

その他のご意見について

Q23 宿泊税に限らず、現在現場で課題とされていること、お客様からご意見をいただくことについて、具体例をお聞かせください。

ご回答ありがとうございました。今後の制度設計の参考にさせていただきます。